

照 査 者	設 計 者

令 和 7 年 度
寿 橋 線 寿 橋 A 2 橋 台 工 事 設 計 書

工 事 番 号	R07-A004	施 工 年 度	令和 7 年度
工 事 名 称	寿橋線寿橋A2橋台工事		
工 事 場 所	鶴岡市寿 地内		
施 工 主		工事概要 橋梁下部工（A2橋台） N=1基 基礎杭工 (PHC杭) N=4本 橋台 N=1基 護岸工 A=38㎡ 仮設工 一式	
設 計 区 分			
路 線 名			
工 事 期 間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
工 事 日 数	日		
部 課 名			
積 算 単 価	令和 7 年 7 月単価		
合 計 額			
工 事 価 格			
消費 税 相 当 額			

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
河川・道路構造物工事						
橋梁下部工		式	1			
作業土工		式	1			
床掘	礫質土	m ³	170			第 1号単価表
基面整正		m ²	20			第 2号単価表
埋戻し	W1≥4m, W2<1m	m ³	140			第 3号単価表
土砂等運搬	礫質土 L=8.8km DID有	m ³	20			第 4号単価表
基礎杭工		式	1			
既製コンクリート杭打工	PHC杭（強化杭）φ800 L=4.0m	本	4			第 5号単価表
杭頭補強	φ800	箇所	4			第 7号単価表
躯体工	A2橋台	式	1			
均しコンクリート型枠	無筋構造物	m ²	1			第 10号単価表
躯体型枠	鉄筋構造物	m ²	44			第 11号単価表

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
横変位拘束構造型枠	鉄筋構造物	m ²	4			第 12号単価表
円筒型枠	φ175	m	1			第 13号単価表
鉄筋工 加工・組立	SD345 D13	t	0.32			第 14号単価表
鉄筋工 加工・組立	SD345 D16～D25	t	1.36			第 16号単価表
均しコンクリート	人力打設 18-8-40	m ³	2			第 18号単価表
躯体コンクリート	ポンプ車打設 24-8-25	m ³	37			第 19号単価表
横変位拘束構造	ポンプ車打設 24-8-25	m ³	1			第 20号単価表
足場工 枠組足場	手すり先行型 h ≤ 30m, t=1200	掛m ²	35			第 21号単価表
支保工 くさび結合支保工	くさび結合支保工 h ≤ 30m, 40 kN < f ≤ 80 kN	空m ³	1			第 23号単価表
目地材	瀝青質板 (エラストイト) t=20mm	m ²	22			第 25号単価表
コンクリート塗装	CC-B	m ²	20			第 26号単価表
護岸工		式	1			

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
張ブロック工		式	1			
コンクリートブロック張	控35 c m	m ²	38			第 27号単価表
目地材	瀝青繊維質 t=10mm	m ²	2			第 28号単価表
積ブロック工		式	1			
コンクリートブロック積工 屋間	150kg/個未満 制約無, 裏込 Co施工する, 空積でない	m ²	8			第 29号単価表
裏込碎石	RC-40	m ³	4			第 30号単価表
目地材	瀝青繊維質 t=10mm	m ²	2			第 31号単価表
吸出防止材	t=10mm	m ²	8			第 32号単価表
天端コンクリート	18-8-40高炉	m	4			第 33号単価表
基礎コンクリート	18-8-40高炉	m	4			第 34号単価表
張コンクリート	18-8-40高炉 t=10cm	m ²	2			第 35号単価表
嵩上コンクリート	18-8-40高炉	m ³	1			第 36号単価表
嵩上コンクリート型枠	小型構造物	m ²	4			第 37号単価表

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
道路工		式	1			
道路土工		式	1			
路床盛土	山砂(CBR $\geq$ 12) W2.5m以上 4.0m未満	m ³	25			第 38号単価表
舗装工		式	1			
下層路盤	RC-40 t=17cm	m ²	25			第 39号単価表
上層路盤	M-40 t=15cm 1.4m以上3.0 m以下	m ²	25			第 40号単価表
表層工	再生密粒度As(20) 1.4m以 上3.0m以下	m ²	25			第 41号単価表
撤去工		式	1			
構造物取壊し工		式	1			
構造物とりこわし工	コンクリートブロック張 鉄筋構造物	m ³	8			第 42号単価表
構造物とりこわし工	コンクリートブロック積 無筋構造物	m ³	6			第 44号単価表
はつり工	既設天端コンクリート t=10cm	m ³	0.3			第 46号単価表
舗装取壊し工		式	1			

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	11			
舗装版破碎	アスファルト	m ²	25			
建設廃棄物処理工		式	1			
殻運搬処理	鉄筋コンクリート	m ³	8			第 48号単価表
殻運搬処理	無筋コンクリート	m ³	6			第 49号単価表
殻運搬処理	アスファルト	m ³	1			第 50号単価表
泥水運搬費（殻運搬準用）	L = 27. 2 k m	m ³	1			第 51号単価表
汚泥水処理	強力吸引車	m ³	30			第 52号単価表
仮設工		式	1			
作業ヤード工		式	1			
盛土工	流用土	m ³	590			第 53号単価表
流用土運搬	仮置場～現場 L=0. 7km	m ³	600			第 54号単価表
大型土のう	設置	袋	128			第 55号単価表

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
大型土のう運搬	仮置場～現場 L=0.7km	袋	180			第 57号単価表
盛土撤去	掘削工（大型土のう含む）	m ³	780			第 59号単価表
残土運搬	L=8.8km	m ³	780			第 60号単価表
廃プラ処分	大型土のう袋 L=10.9km	t	0.5			第 61号単価表
敷鉄板	設置・撤去 作業ヤード	m ²	198			第 62号単価表
敷鉄板 損料（60日）	22×1524×6096mm	枚	22			第 64号単価表
水替工		式	1			
ポンプ設置・撤去		箇所	1			第 66号単価表
ポンプ運転		式	1			第 68号単価表
交通管理工		式	1			
交通誘導警備員B		人				
直接工事費計						
共通仮設費計						

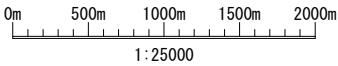
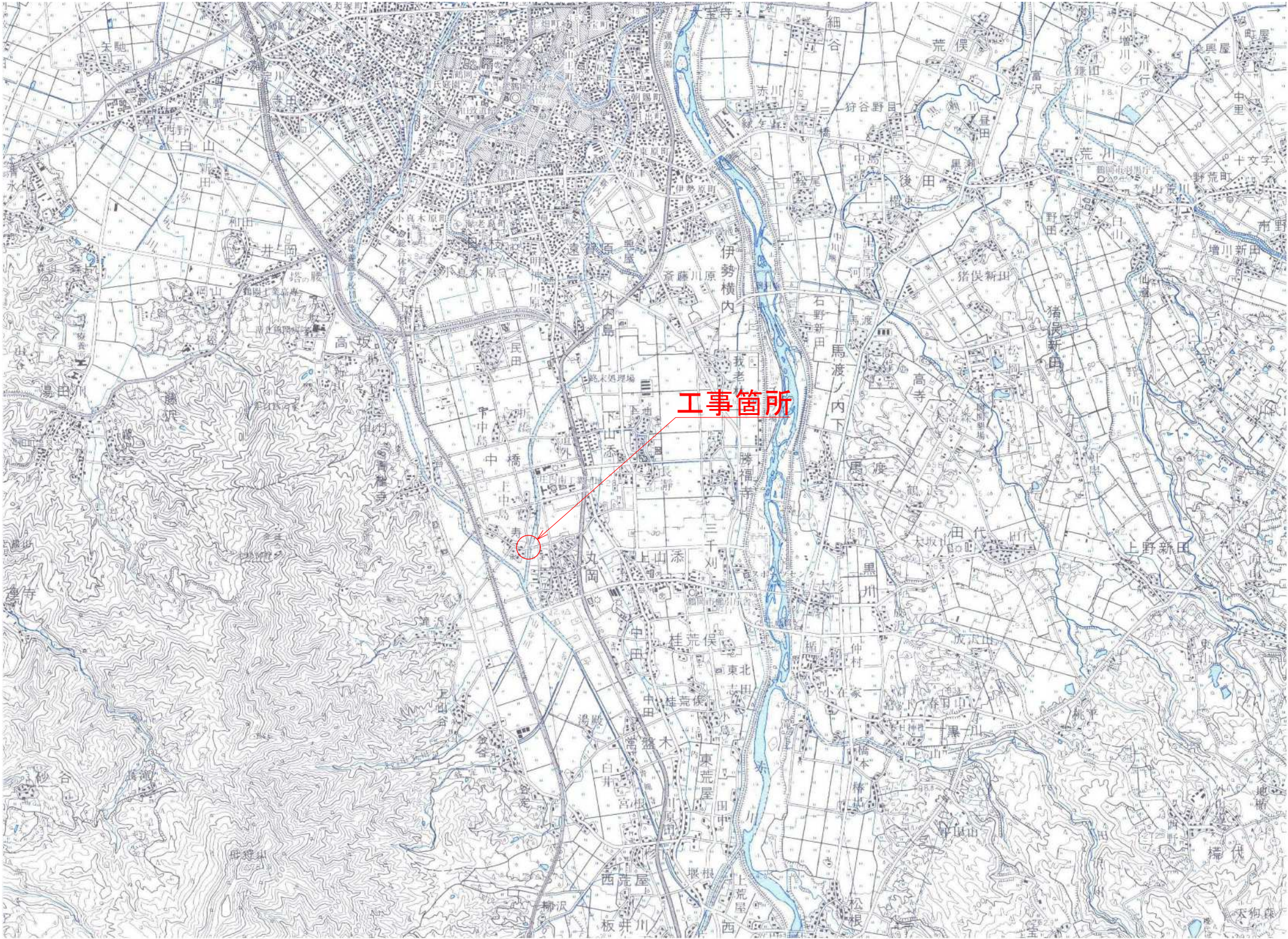
本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運搬費		式	1			
仮設材運搬		式	1			
敷鉄板	1. 6 0 4 t /枚 N=22枚	t	35.3			第 70号単価表
重建設機械分解・組立運搬	三点支持式杭打機	式	1			
重建設機械分解・組立運搬	三点支持式杭打機 才一ガ 出力55 k w	回	1			第 72号単価表
技術管理費		式	1			
試験費		式	1			
溶出試験	六価クロム 産業廃棄物に 含まれる金属等の検定方法	検体	2			
共通仮設費		式	1			
現場環境改善費		式	1			
純工事費						
現場管理費		式	1			
工事原価						

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格						
消費税相当額						
合計額						

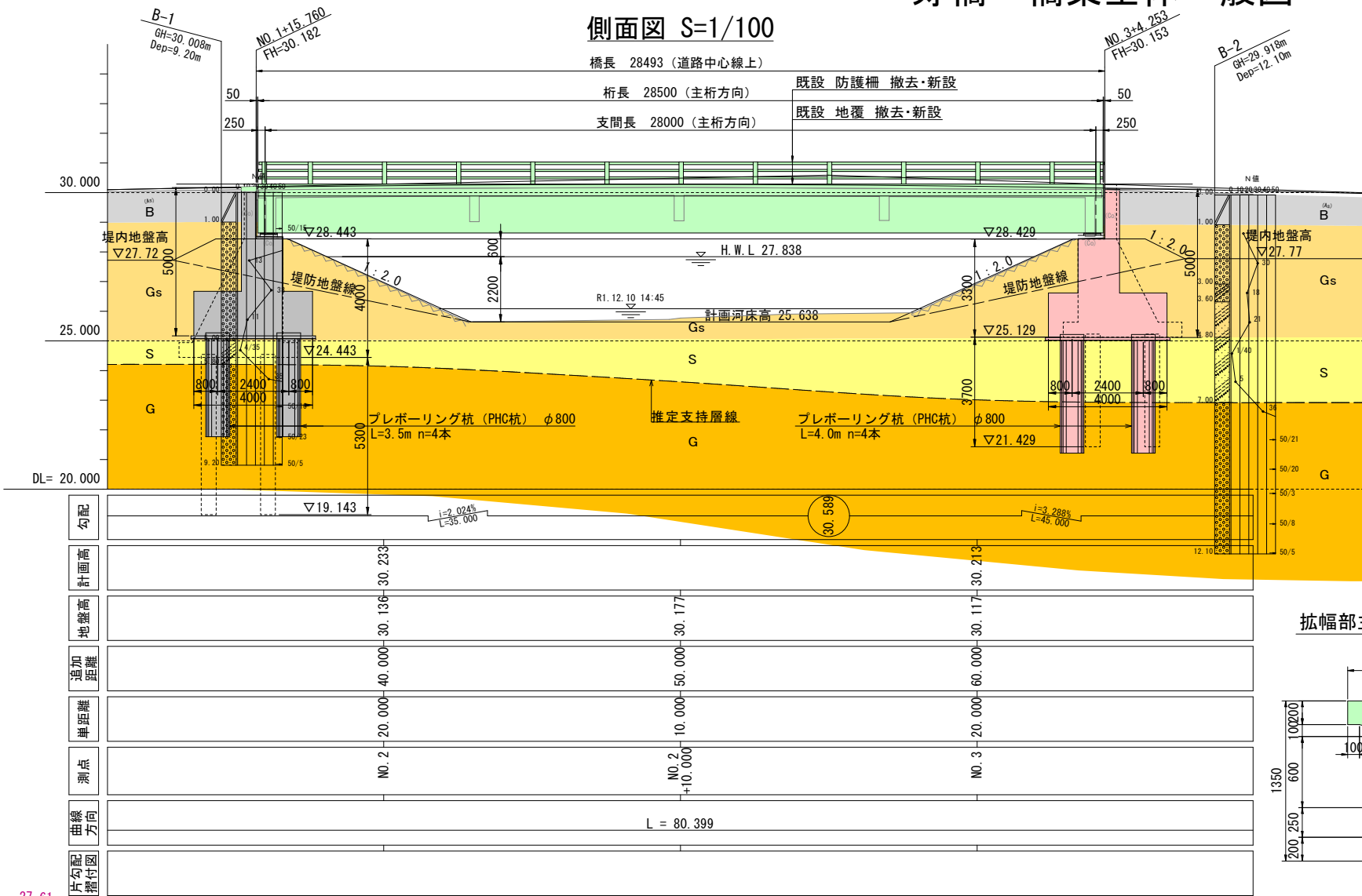
寿橋 位置図 S=1:25000



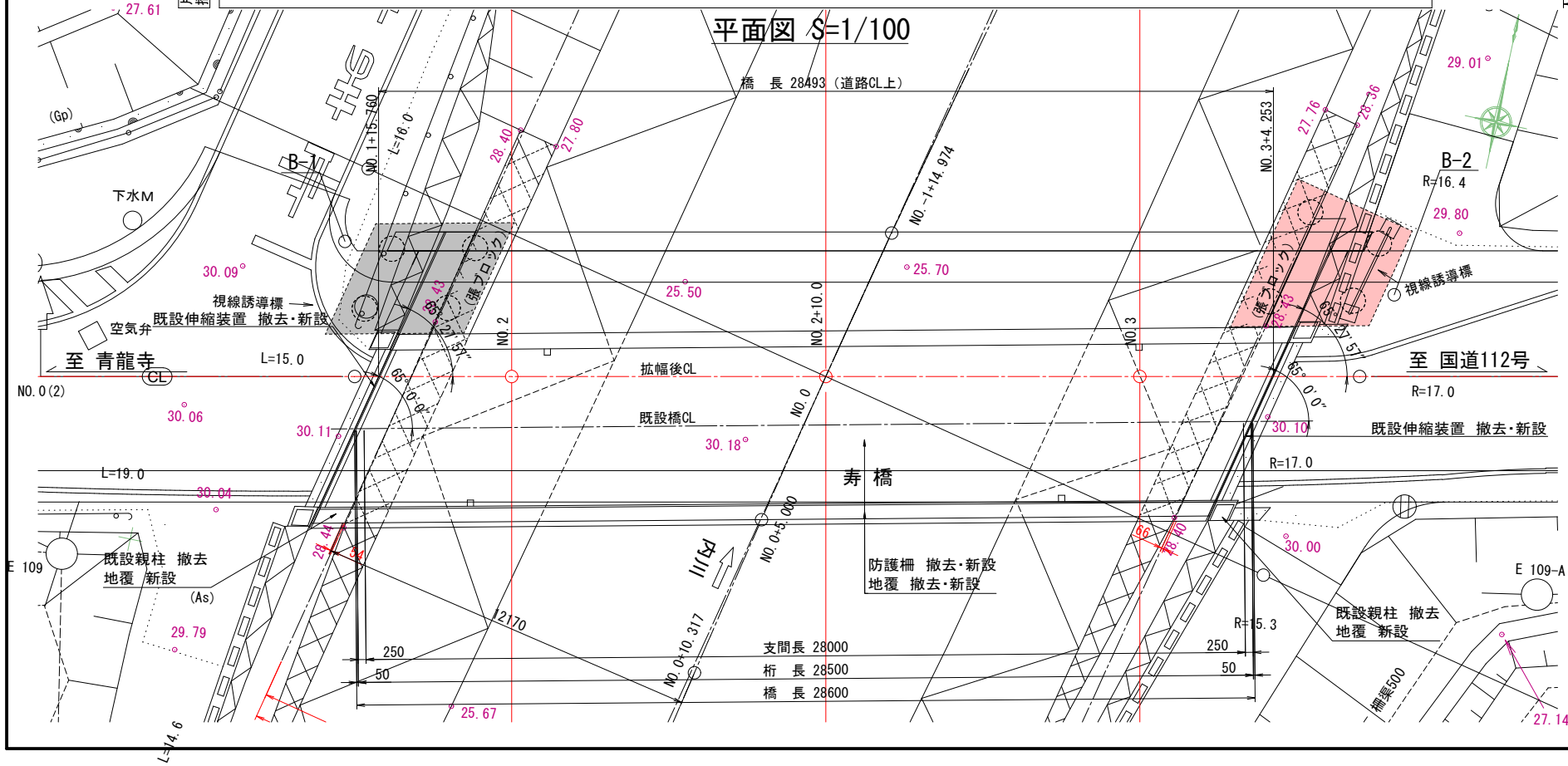
実 施				
令 和	7	年 度	図 番	21 葉 1
路線名又は 河 川 名	市 道 寿 橋 線			
工 事 名	寿 橋 線 寿 橋 A2 橋 台 工 事			
位 置	鶴 岡 市 寿 地 内			
位 置 図				
縮 尺 図 示	鶴 岡 市			

寿橋 橋梁全体一般図

側面図 S=1/100



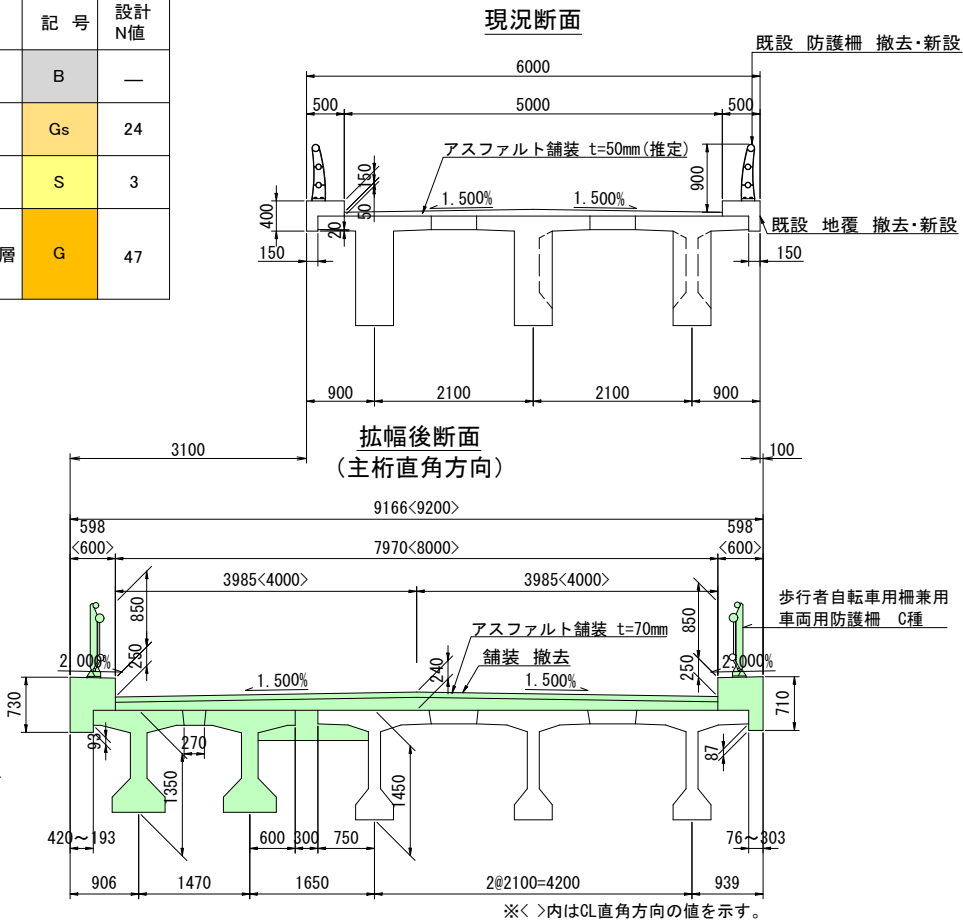
平面図 S=1/100



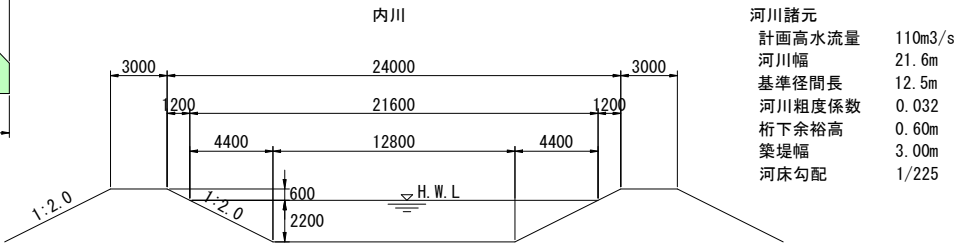
地層凡例

地質時代	土層名	記号	設計N値
第四紀	盛土	B	—
	砂礫主体層	Gs	24
	砂主体層	S	3
	砂礫層	G	47

上部工断面図 S=1/50



標準河川断面図 S=1/200



設計条件

路線名	市道 寿橋線
道路規格	第3種 第3級
設計速度	V=40km/h
活荷重	A活荷重
橋長	28.600m
桁長	28.500m
支間長	28.000m
幅員構成	8.000m
舗装	アスファルト舗装 t=70mm
横断勾配	1.5%拌み勾配
縦断勾配	i=2.024%~i=3.288%
斜角	65° 00' 00"
型式	PCポステンバルブT桁 (セグメント形式)
コンクリート強度	σck=50N/mm2
P C 鋼材	SWPR7B/12S12.7B
躯体形式	逆T式橋台
基礎形式	プレボーリング (PHC杭) φ800
コンクリート強度	σck=24N/mm2
鉄筋強度	SD345
支承	ゴム支承
適用示方書	道路橋示方書 (H29, H24)

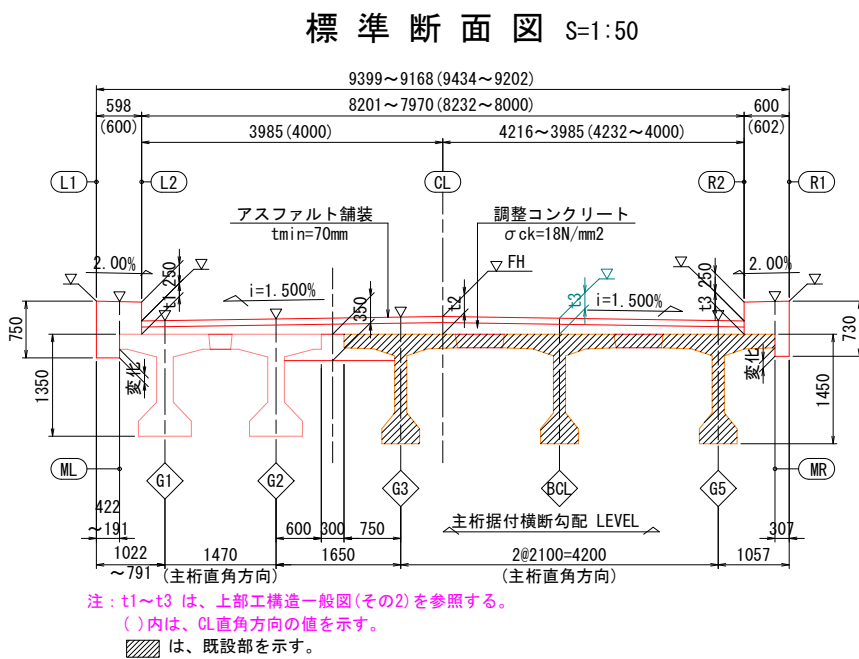
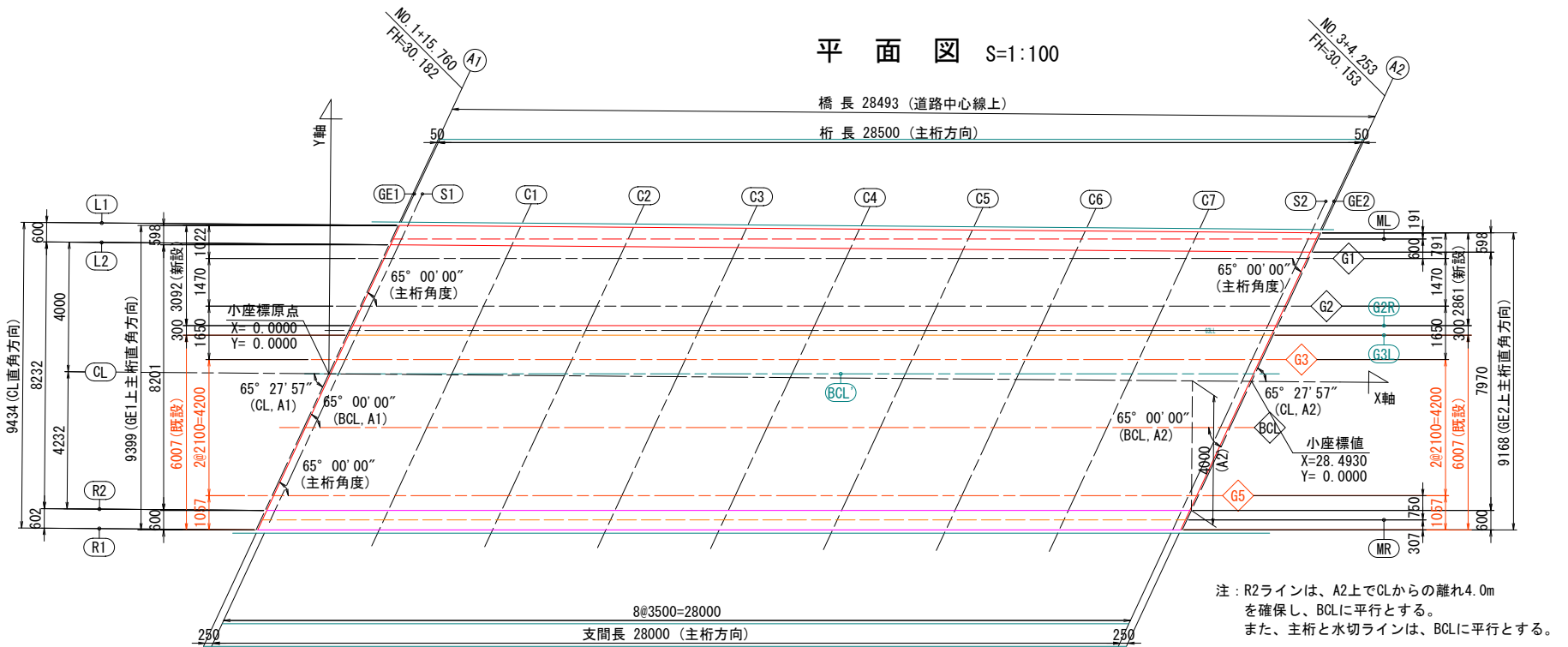
改修項目

部位	改修項目
防護柵	撤去・新設
地覆	撤去・新設
伸縮装置	撤去・新設
舗装	撤去
親柱	撤去

実施

令和 7 年度	図 番	21 葉 2
路線名又は河川名	市道 寿橋線	
工事名	寿橋線 寿橋 A2 橋台 工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
橋 梁 全 体 一 般 図		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

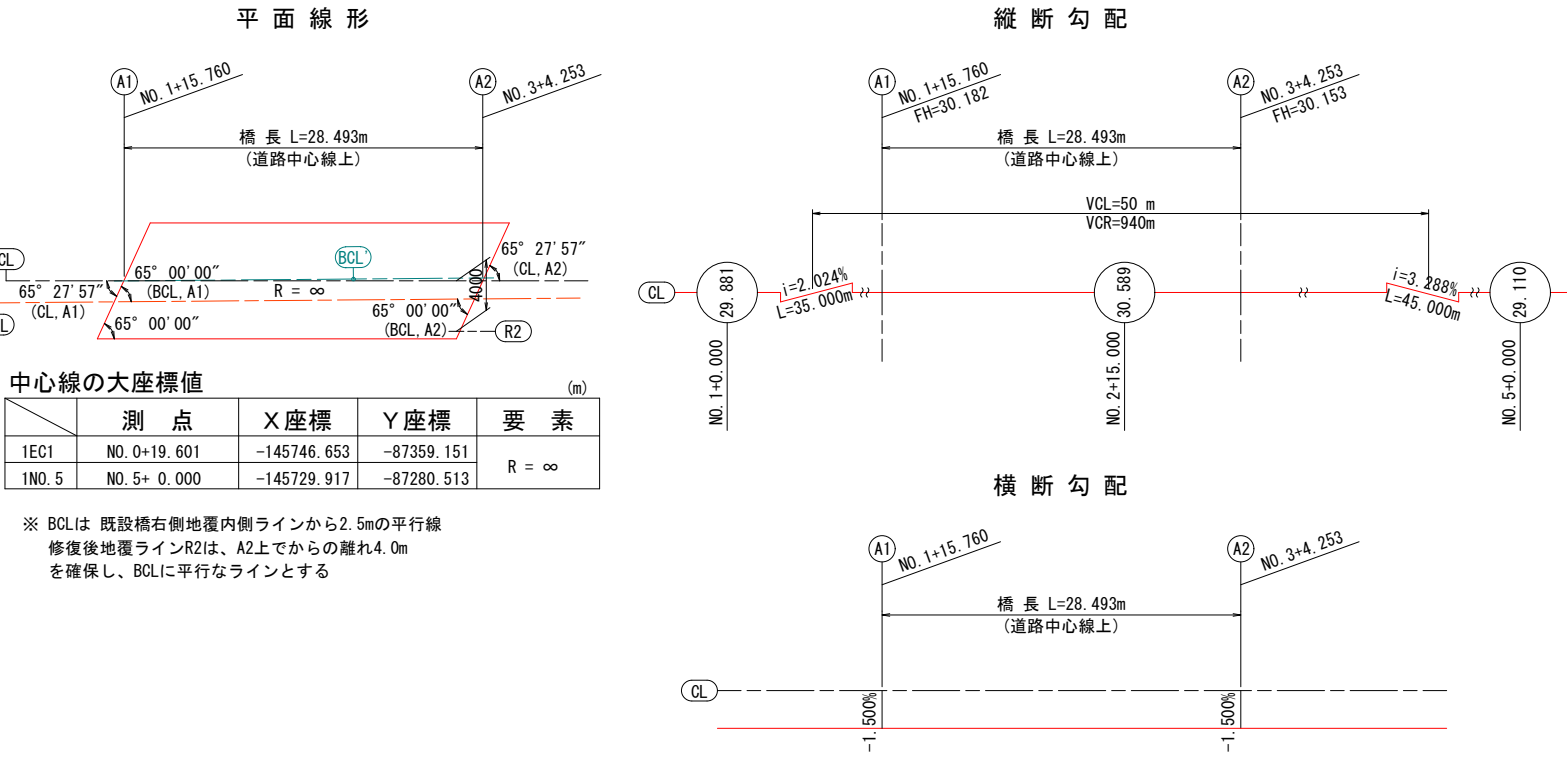
寿橋 線形図



線形要素図 S=1:300

各点の小座標値及び計画高表

LINE CROSS		A1	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2	A2
L1	X	2.0997	2.1495	2.3985	5.8854	9.3723	12.8592	16.3462	19.8331	23.3200	26.8069	30.2938	30.5428	30.5927
	Y	4.6000	4.6000	4.6000	4.6000	4.6000	4.6000	4.6000	4.6000	4.6000	4.6000	4.6000	4.6000	4.6000
	Z	30.4115	30.4121	30.4150	30.4489	30.4698	30.4779	30.4730	30.4552	30.4245	30.3809	30.3244	30.3199	30.3190
ML	X	1.9063	1.9563	2.2063	5.7062	9.2061	12.7060	16.2059	19.7058	23.2057	26.7056	30.2055	30.4555	30.5055
	Y	4.1765	4.1769	4.1789	4.2073	4.2358	4.2643	4.2927	4.3212	4.3496	4.3781	4.4065	4.4085	4.4089
	Z	30.4007	30.4013	30.4043	30.4396	30.4618	30.4711	30.4673	30.4505	30.4207	30.3779	30.3222	30.3177	30.3168
L2	X	1.8258	1.8756	2.1247	5.6116	9.0985	12.5854	16.0723	19.5592	23.0461	26.5330	30.0199	30.2690	30.3188
	Y	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000
	Z	30.1462	30.1468	30.1498	30.1847	30.2066	30.2157	30.2118	30.1951	30.1654	30.1228	30.0673	30.0629	30.0620
G1	X	1.6314	1.6814	1.9314	5.4313	8.9312	12.4311	15.9310	19.4309	22.9308	26.4307	29.9306	30.1806	30.2306
	Y	3.5742	3.5746	3.5766	3.6051	3.6335	3.6620	3.6904	3.7189	3.7474	3.7758	3.8043	3.8063	3.8067
	Z	30.1502	30.1508	30.1538	30.1891	30.2114	30.2206	30.2169	30.2001	30.1704	30.1276	30.0719	30.0674	30.0665
G2	X	0.9579	1.0079	1.2579	4.7578	8.2577	11.7576	15.2575	18.7574	22.2573	25.7572	29.2571	29.5071	29.5571
	Y	2.0987	2.0991	2.1011	2.1296	2.1580	2.1865	2.2149	2.2434	2.2718	2.3003	2.3287	2.3308	2.3312
	Z	30.1637	30.1644	30.1676	30.2054	30.2301	30.2419	30.2407	30.2264	30.1992	30.1589	30.1056	30.1013	30.1005
G3	X	0.2020	0.2520	0.5020	4.0019	7.5017	11.0016	14.5015	18.0014	21.5013	25.0012	28.5011	28.7511	28.8011
	Y	0.4425	0.4429	0.4449	0.4734	0.5018	0.5303	0.5587	0.5872	0.6156	0.6441	0.6725	0.6746	0.6750
	Z	30.1784	30.1791	30.1825	30.2231	30.2506	30.2652	30.2668	30.2554	30.2309	30.1935	30.1430	30.1389	30.1381
CL	X	0.0000	0.0498	0.2989	3.7858	7.2727	10.7596	14.2465	17.7334	21.2203	24.7072	28.1941	28.4432	28.4930
	Y	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	Z	30.1822	30.1829	30.1864	30.2280	30.2567	30.2726	30.2755	30.2655	30.2426	30.2067	30.1580	30.1540	30.1532
BCL	X	-0.7602	-0.7102	-0.4602	3.0397	6.5396	10.0395	13.5394	17.0393	20.5392	24.0391	27.5390	27.7890	27.8389
	Y	-1.6654	-1.6650	-1.6630	-1.6345	-1.6061	-1.5776	-1.5492	-1.5207	-1.4923	-1.4638	-1.4354	-1.4333	-1.4329
	Z	30.1462	30.1469	30.1506	30.1957	30.2277	30.2467	30.2527	30.2457	30.2257	30.1926	30.1466	30.1428	30.1421
G5	X	-1.7223	-1.6723	-1.4223	2.0776	5.5775	9.0774	12.5772	16.0771	19.5770	23.0769	26.5768	26.8268	26.8768
	Y	-3.7733	-3.7729	-3.7709	-3.7424	-3.7140	-3.6855	-3.6571	-3.6286	-3.6002	-3.5717	-3.5432	-3.5412	-3.5408
	Z	30.0997	30.1005	30.1045	30.1531	30.1887	30.2113	30.2208	30.2174	30.2010	30.1715	30.1291	30.1255	30.1248
R2	X	-1.9319	-1.8819	-1.6319	1.8680	5.3679	8.8678	12.3677	15.8675	19.3674	22.8673	26.3672	26.6172	26.6672
	Y	-4.2325	-4.2321	-4.2301	-4.2016	-4.1732	-4.1447	-4.1162	-4.0878	-4.0593	-4.0309	-4.0024	-4.0004	-4.0000
	Z	30.0895	30.0903	30.0943	30.1437	30.1800	30.2034	30.2138	30.2111	30.1955	30.1668	30.1251	30.1216	30.1209
MR	X	-2.0659	-2.0159	-1.7659	1.7339	5.2338	8.7337	12.2336	15.7335	19.2334	22.7333	26.2332	26.4832	26.5332
	Y	-4.5261	-4.5257	-4.5237	-4.4952	-4.4668	-4.4383	-4.4099	-4.3814	-4.3530	-4.3245	-4.2961	-4.2940	-4.2936
	Z	30.3431	30.3439	30.3480	30.3979	30.4347	30.4586	30.4695	30.4673	30.4521	30.4240	30.3828	30.3794	30.3787
R1	X	-2.2068	-2.1568	-1.9068	1.5931	5.0930	8.5929	12.0928	15.5926	19.0925	22.5924	26.0923	26.3423	26.3923
	Y	-4.8347	-4.8343	-4.8323	-4.8039	-4.7754	-4.7470	-4.7185	-4.6900	-4.6616	-4.6331	-4.6047	-4.6027	-4.6023
	Z	30.3469	30.3478	30.3519	30.4023	30.4397	30.4640	30.4754	30.4738	30.4592	30.4315	30.3909	30.3875	30.3868



中心線の大座標値 (m)

測点	X座標	Y座標	要素
1EC1	NO. 0+19.601	-145746.653	-87359.151
1NO.5	NO. 5+0.000	-145729.917	-87280.513

R = ∞

※ BCLは 既設橋右側地覆内側ラインから2.5mの平行線
修復後地覆ラインR2は、A2上でからの離れ4.0mを確保し、BCLに平行なラインとする

主要点の大座標値 (m)

LINE CROSS	A1	A2
L1	X -145738.3530	-145732.4219
	Y -87342.2499	-87314.3810
CL	X -145743.2893	-145737.3582
	Y -87343.3460	-87315.4771
BCL	X -145745.0765	-145738.8959
	Y -87343.7428	-87315.8186
R1	X -145748.4775	-145742.2969
	Y -87344.4980	-87316.5738

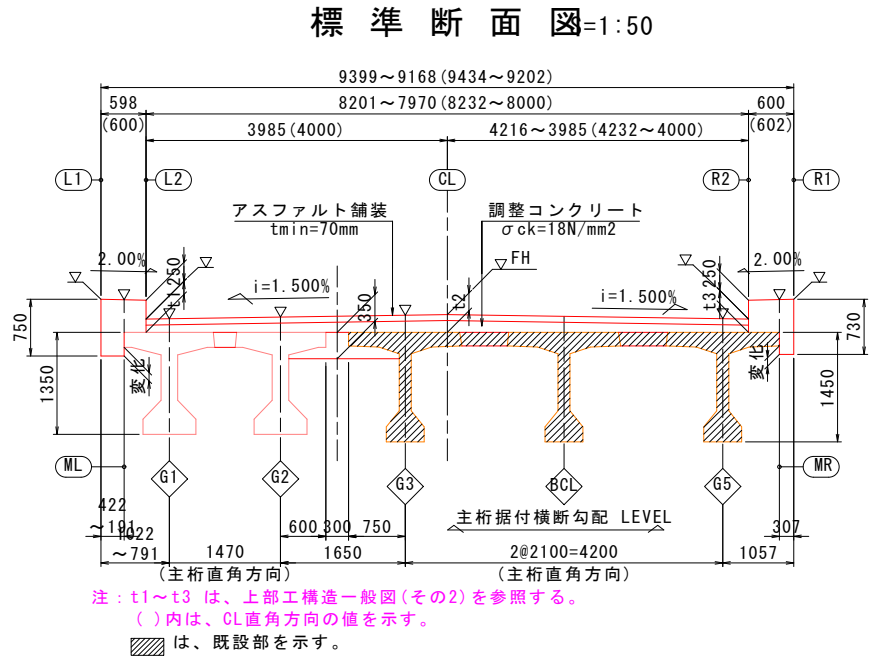
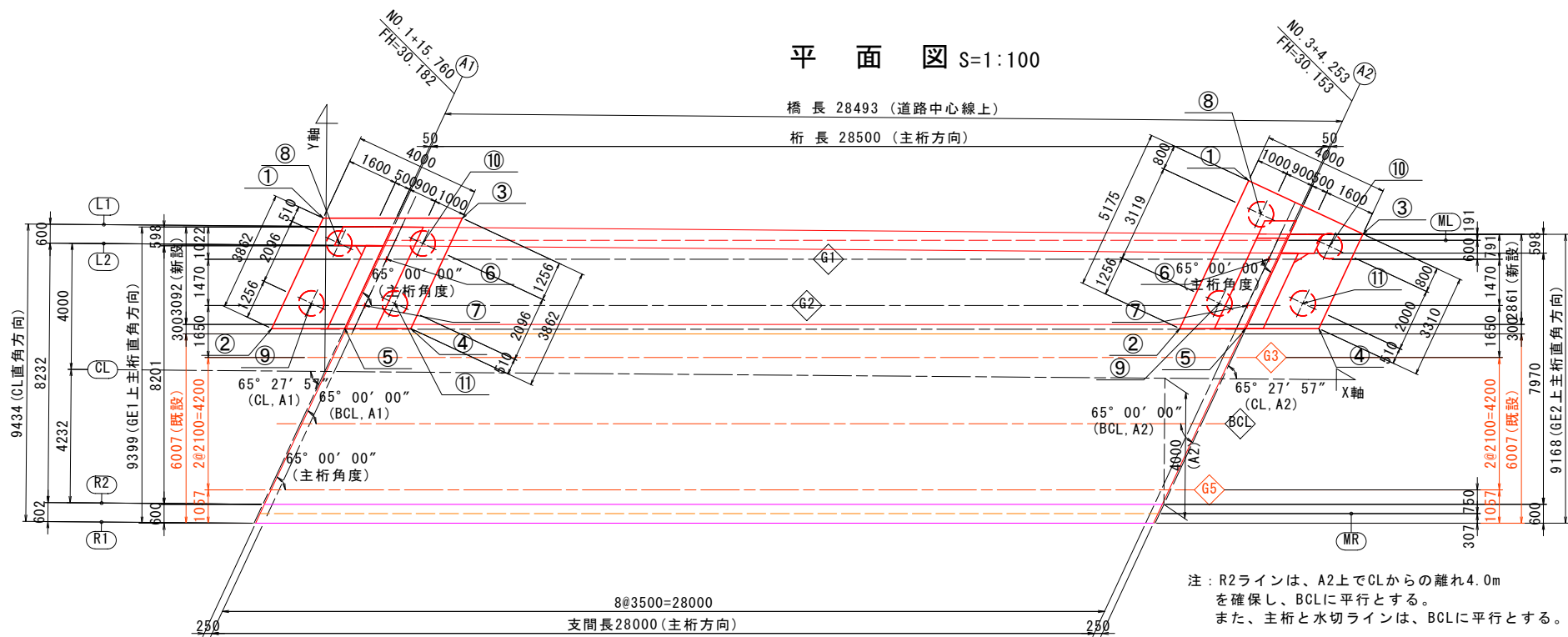
線形条件

- 下部構造の方向は、以下の通り。
A1橋台バラベット前面線 (A1) は、道路中心線 (CL) 上の NO. 1+15.760 に於いて、(CL) ラインに対し、左 65° 27' 57" で設定する。
A2橋台バラベット前面線 (A2) は、道路中心線 (CL) 上の NO. 3+4.253 に於いて、(A1) に平行で設定する。
- 小座標の設定は、以下の通り。
小座標の原点は、道路中心線 (CL) と (A1) の交点とし、(CL) と (A2) の交点へ向かって X軸とする。
原点を通り、X軸に直交する直線をY軸とする。

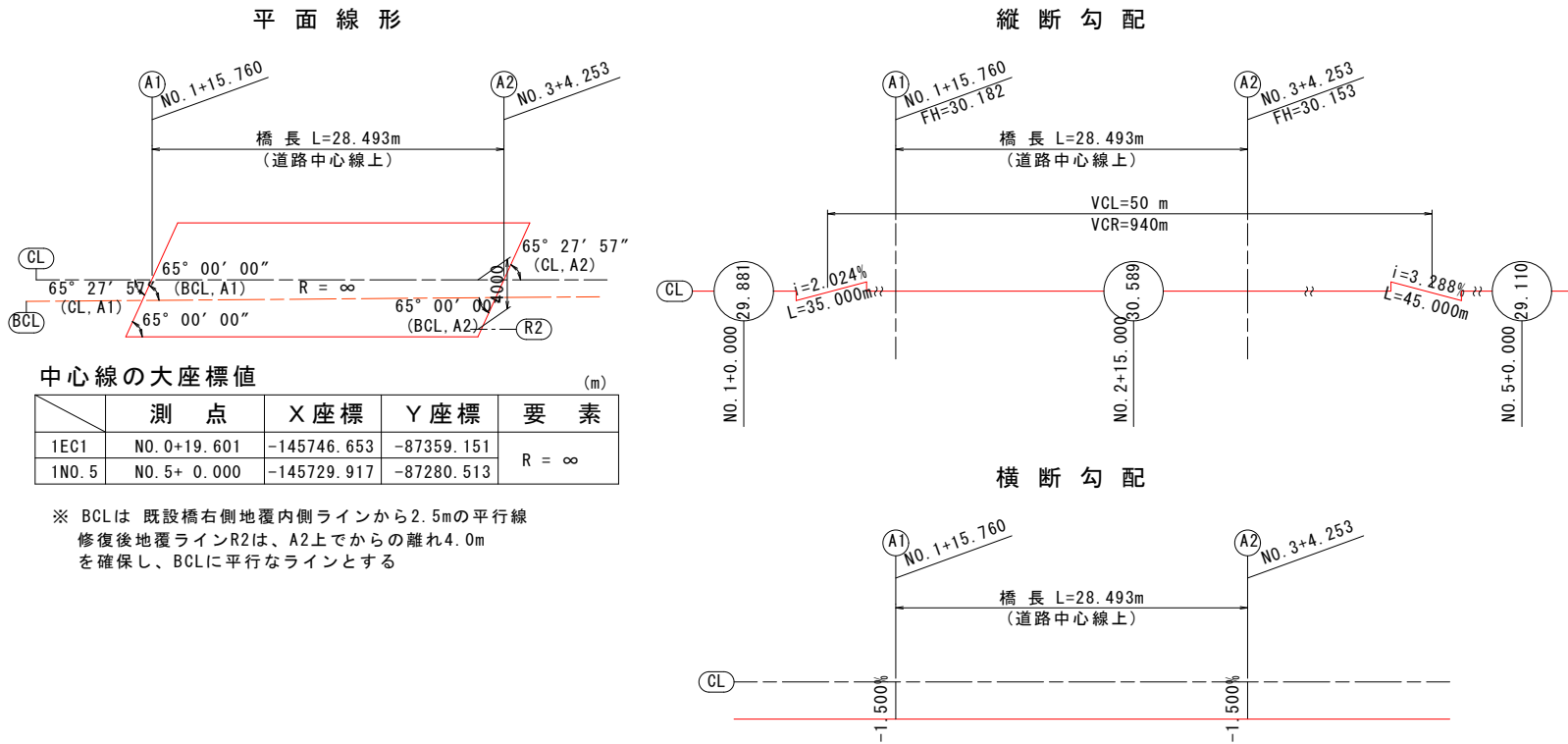
実施

令和 7 年度	図 番	21 葉 3
路線名又は河川名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
線 形 図		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

寿橋 下部工座標図



線形要素図 S=1:300



	A1橋台		
		X座標	Y座標
底板	①	-145738.5543	-87344.4457
	②	-145742.3243	-87345.2828
	③	-145737.6005	-87340.1365
	④	-145741.3705	-87340.9736
CL	⑤	-145741.8235	-87343.0205
支承	⑥	-145739.3890	-87342.2014
	⑦	-145740.9724	-87342.5530
杭	⑧	-145739.2252	-87343.7752
	⑨	-145741.2718	-87344.2296
	⑩	-145738.6530	-87341.1897
	⑪	-145740.6995	-87341.6441

	A2橋台		
		X座標	Y座標
底板	①	-145731.0441	-87316.0213
	②	-145736.0959	-87317.1431
	③	-145731.9112	-87312.1165
	④	-145735.1422	-87312.8339
CL	⑤	-145735.6429	-87315.0962
支承	⑥	-145733.3380	-87314.8630
	⑦	-145734.9214	-87315.2145
杭	⑧	-145731.9985	-87315.4138
	⑨	-145735.0435	-87316.0899
	⑩	-145732.5188	-87313.0709
	⑪	-145734.4712	-87313.5044

中心線の大座標値

	測点	X座標	Y座標	要素
1EC1	NO.0+19.601	-145746.653	-87359.151	R = ∞
1NO.5	NO.5+0.000	-145729.917	-87280.513	

※ BCLは 既設橋右側地覆内側ラインから2.5mの平行線
修復後地覆ラインR2は、A2上でからの離れ4.0mを確保し、BCLに平行なラインとする

主要点の大座標値

LINE	CROSS		A1	A2
	X	Y		
L1	X	-145738.3530	-145732.4219	
	Y	-87342.2499	-87314.3810	
CL	X	-145743.2893	-145737.3582	
	Y	-87343.3460	-87315.4771	
BCL	X	-145745.0765	-145738.8959	
	Y	-87343.7428	-87315.8186	
R1	X	-145748.4775	-145742.2969	
	Y	-87344.4980	-87316.5738	

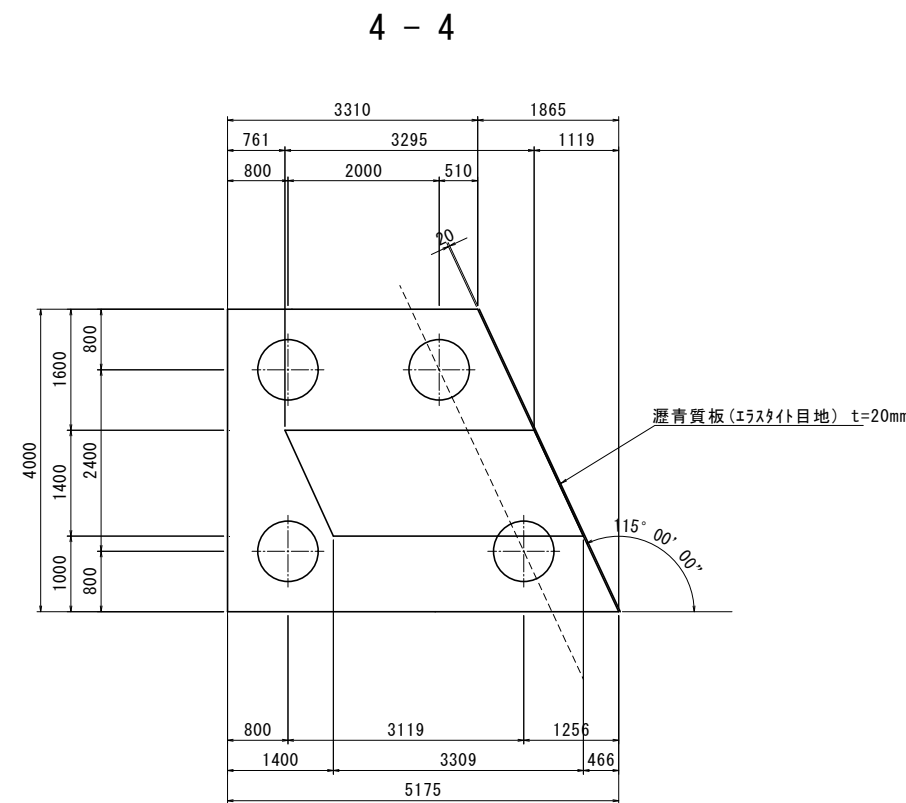
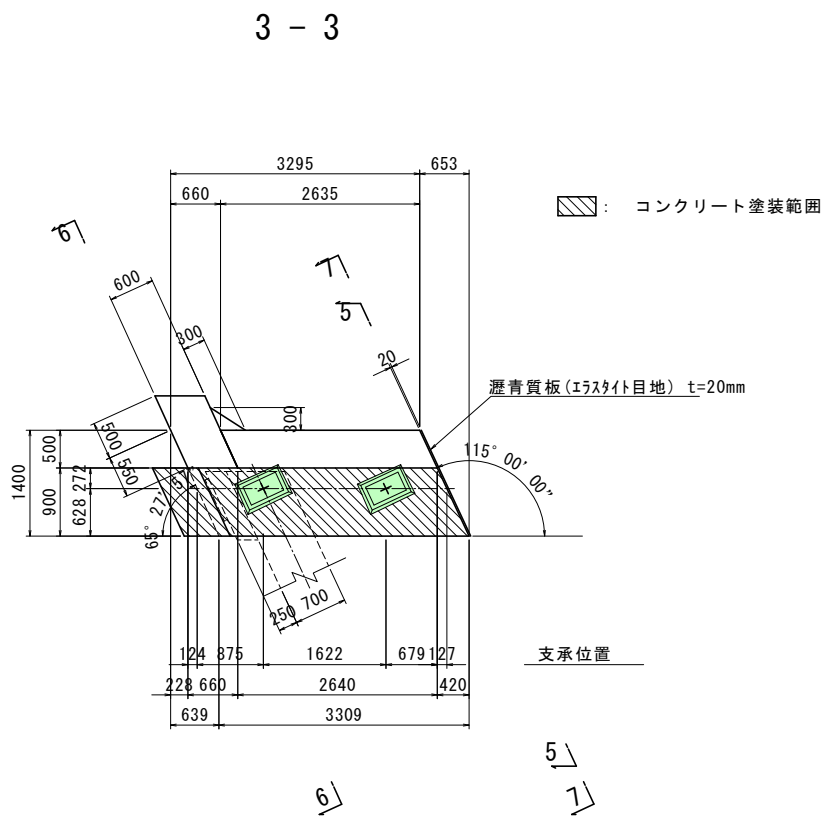
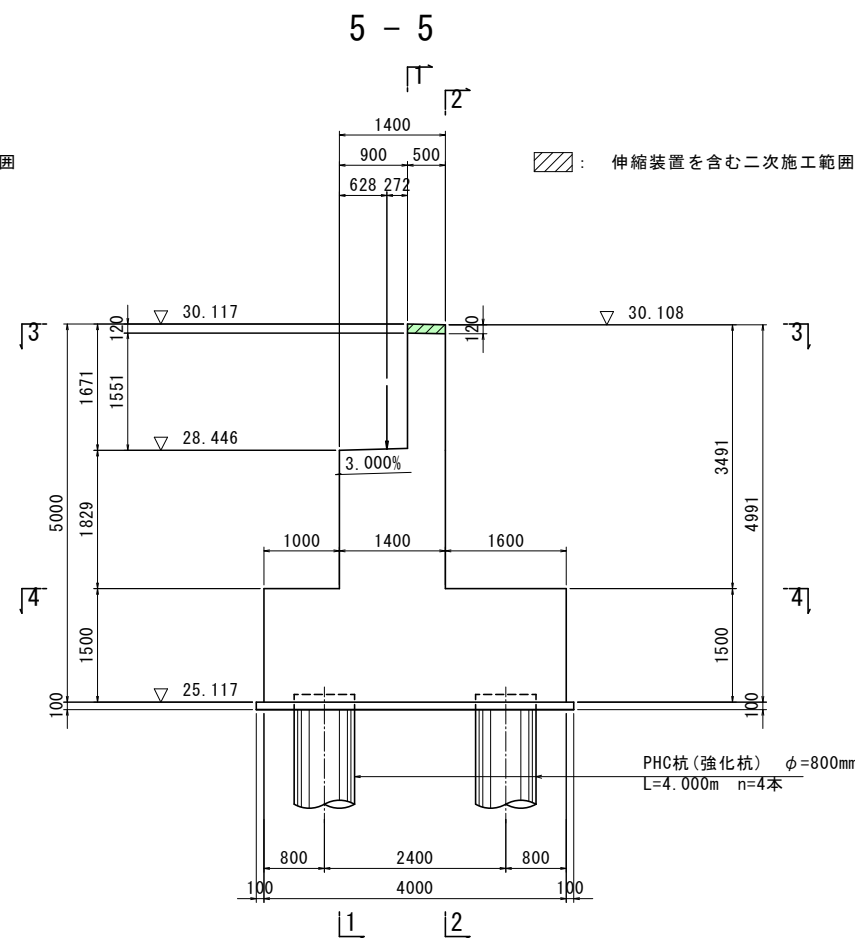
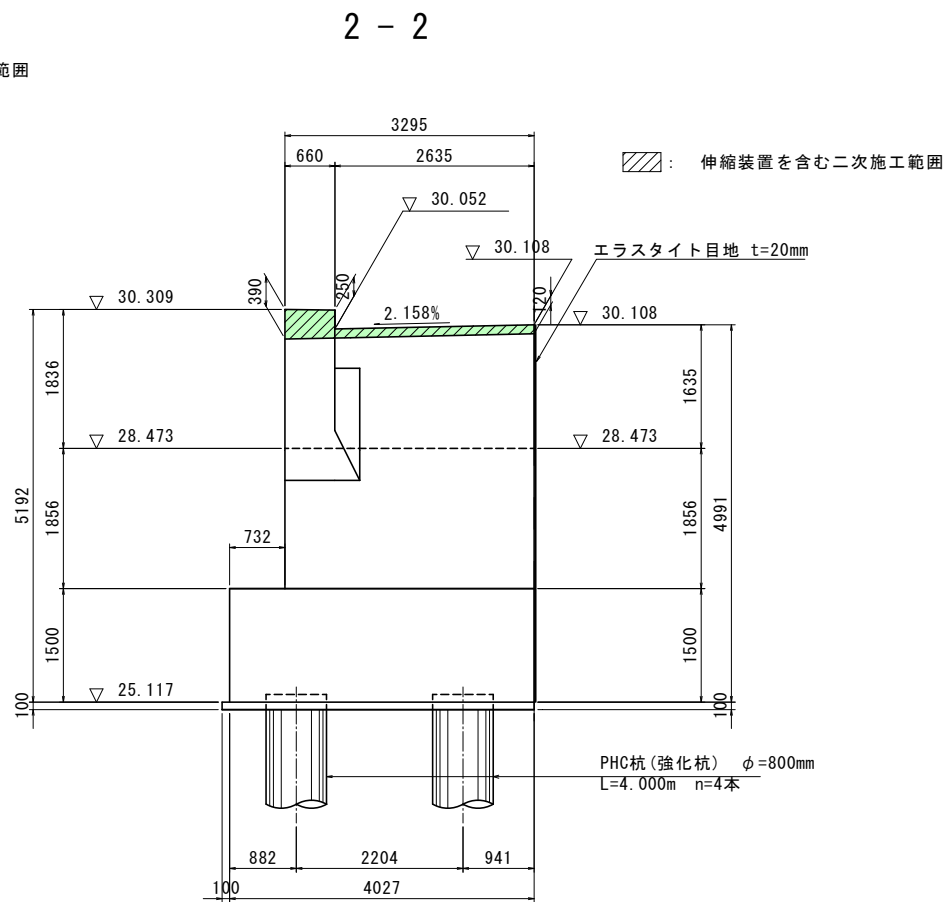
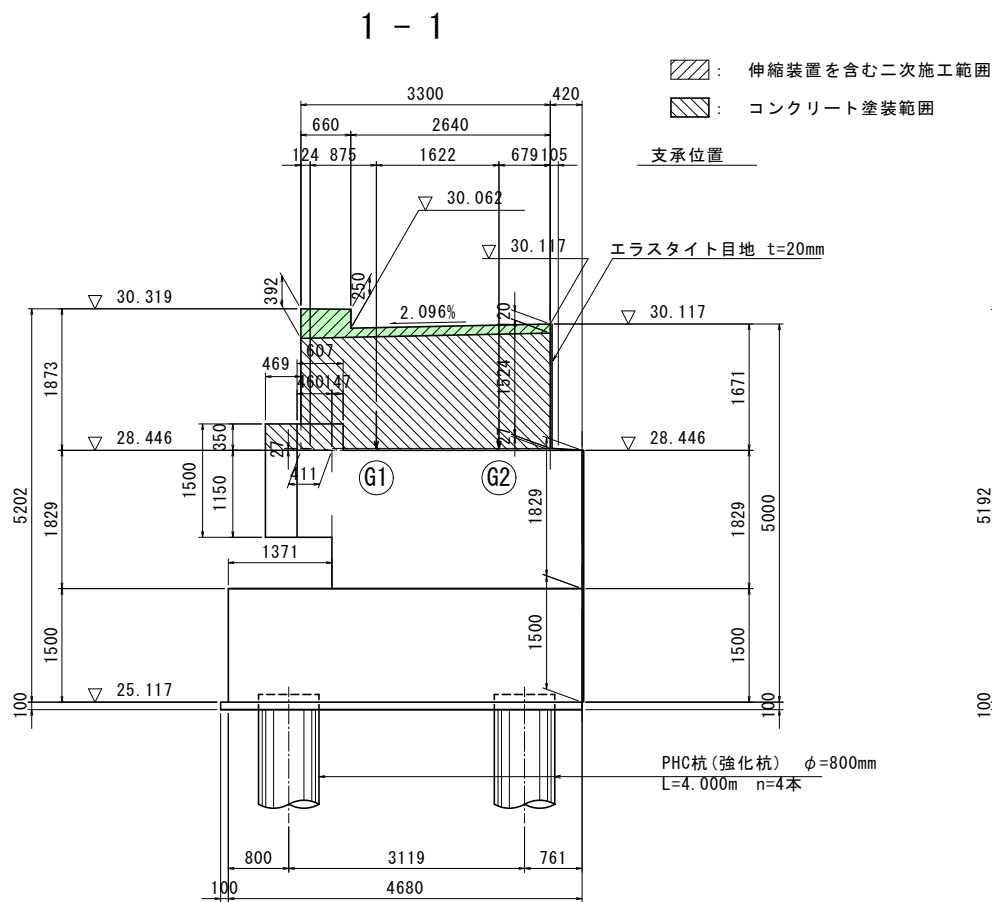
線形条件

- 下部構造の方向は、以下の通り。
A1橋台バラベット前面線(A1)は、道路中心線(CL)上の NO.1+15.760 に於いて、(CL)ラインに対し、左 65° 27' 57" で設定する。
A2橋台バラベット前面線(A2)は、道路中心線(CL)上の NO.3+4.253 に於いて、(A1)に平行で設定する。
- 小座標の設定は、以下の通り。
小座標の原点は、道路中心線(CL)と(A1)の交点とし(CL)と(A2)の交点へ向かって X軸とする。
原点を通り、X軸に直交する直線をY軸とする。

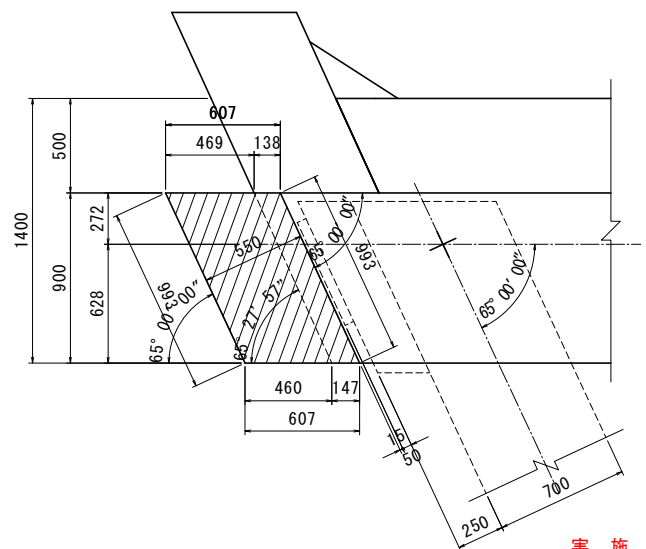
実施

令和 7 年度	図 番	21 葉 4
路線名又は河川名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
下部工座標図		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

寿橋 A 2 橋台構造図(その1) S=1:50



横変位拘束構造詳細図 S=1:20

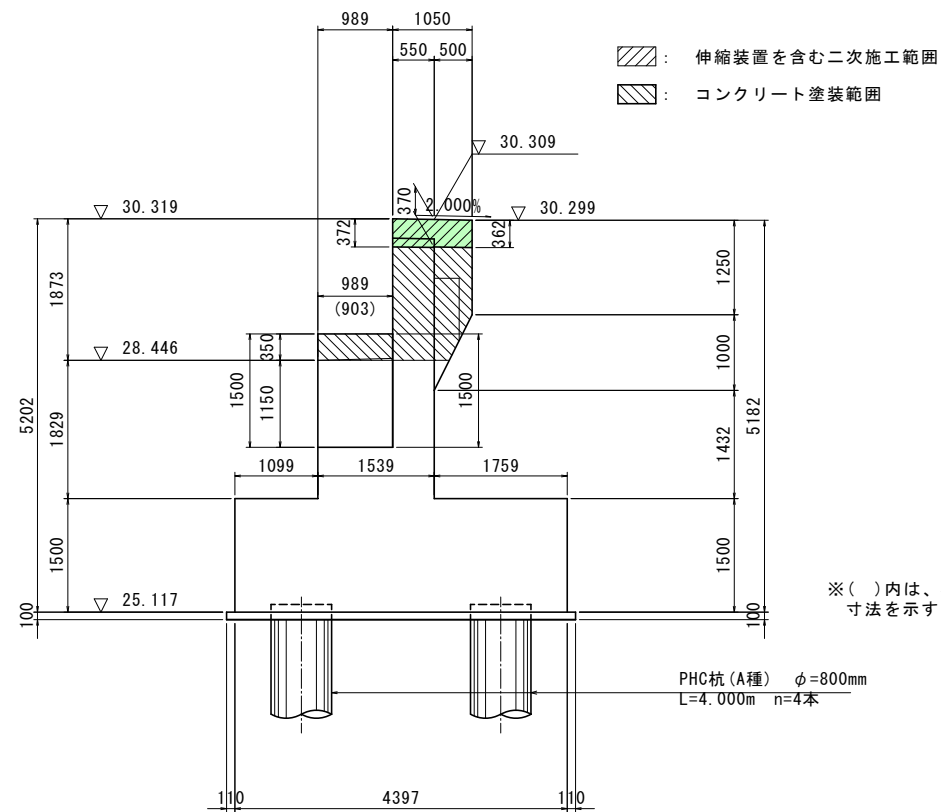


実施

令和 7 年度	図 番	21 葉 5
路線名又は 河 川 名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
A 2 橋台構造図（その 1）		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

寿橋 A 2 橋台構造図(その2) S=1:50

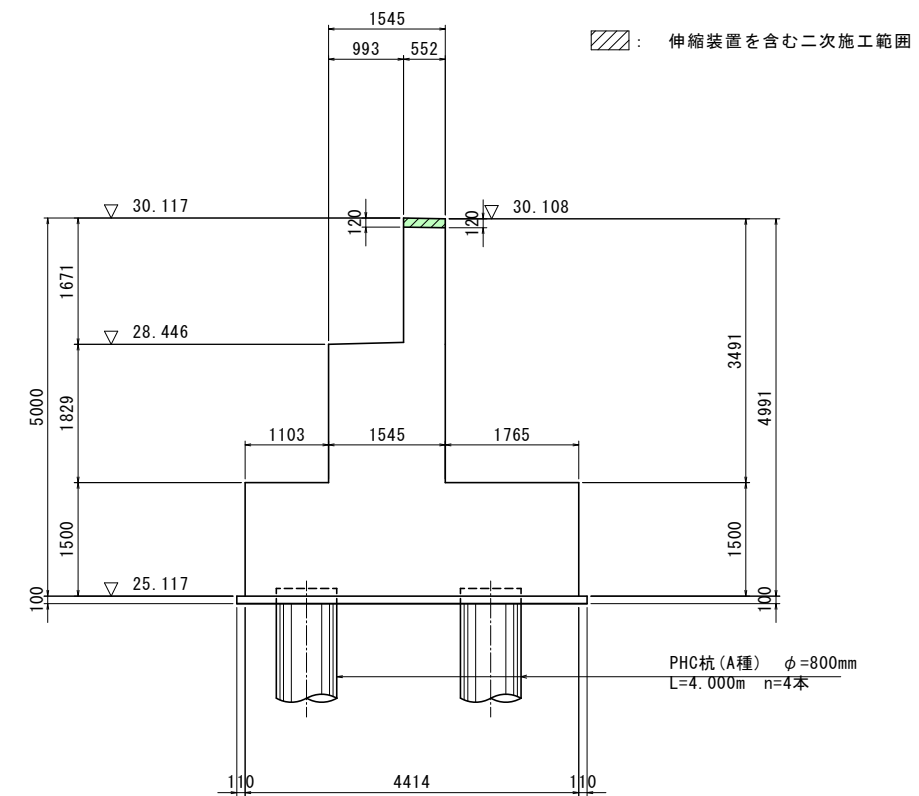
6 - 6



※()内は、横変位拘束構造方向の寸法を示す。

PHC杭(A種) $\phi=800\text{mm}$
L=4.000m n=4本

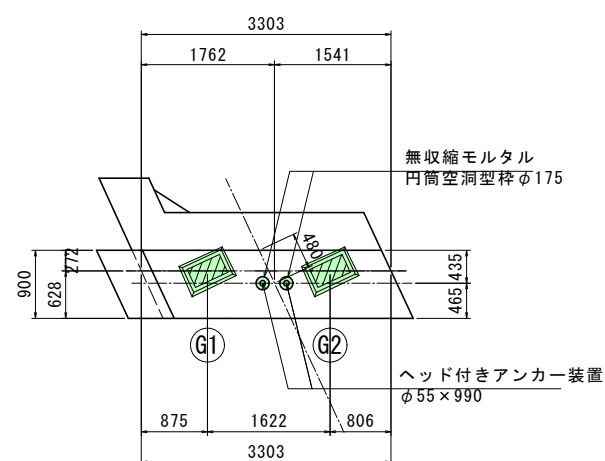
7 - 7



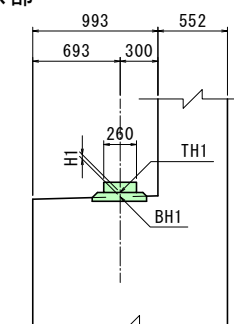
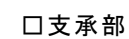
 : 伸縮装置を含む二次施工範囲

PHC杭(A種) $\phi=800\text{mm}$
L=4.000m n=4本

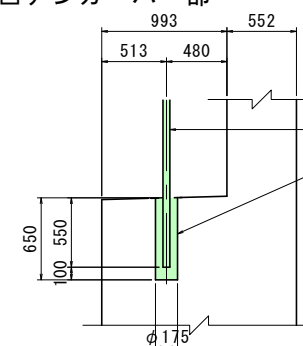
沓・アンカー配置図



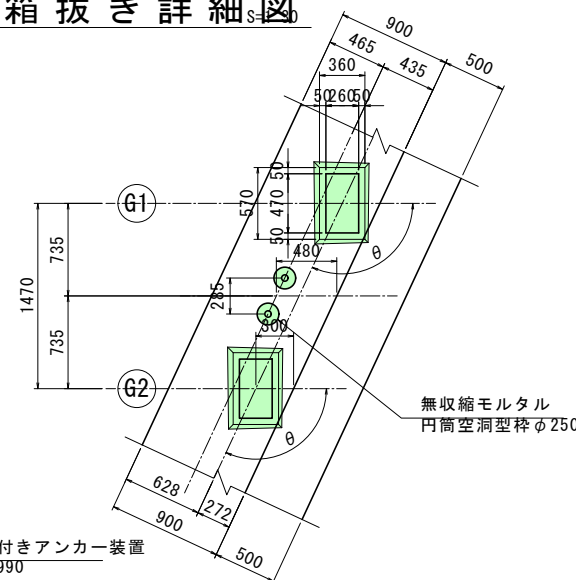
アンカ一箱抜き詳細図



□アンカーバー部



ヘッド付きアンカー装置
φ55×990
無収縮モルタル
円筒空洞型棒φ175



構造高表

		A2橋台 (S2)	
		G1	G2
計 画 高		30.072	30.106
構 造 高	舗装厚	0.105	0.158
	構造高	1.350	1.350
	レアー厚	0.020	0.020
	支承高	0.102	0.102
	モルタル厚	0.030	0.031
	合計	1.607	1.641
橋 座 高		28.465	28.465

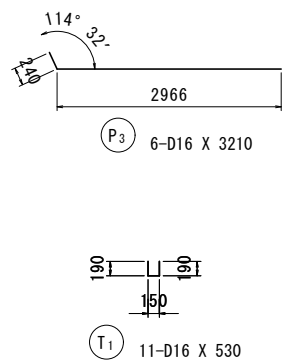
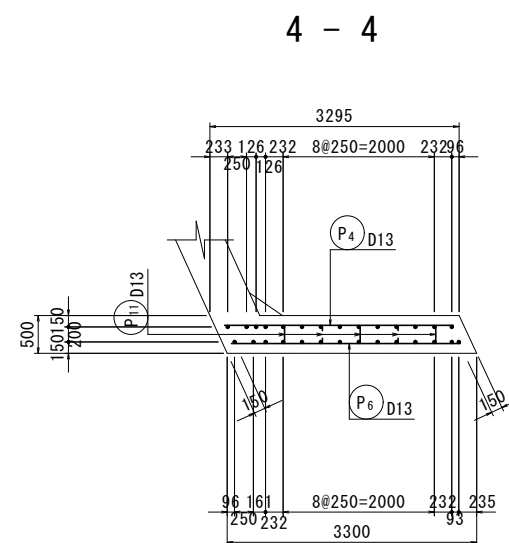
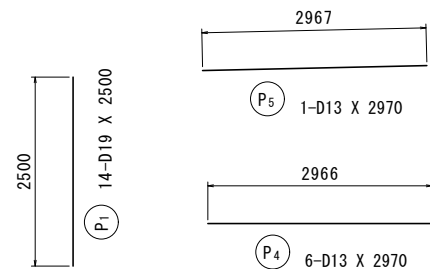
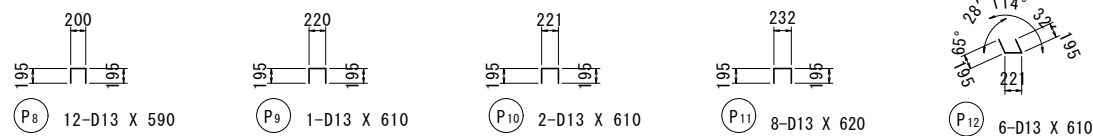
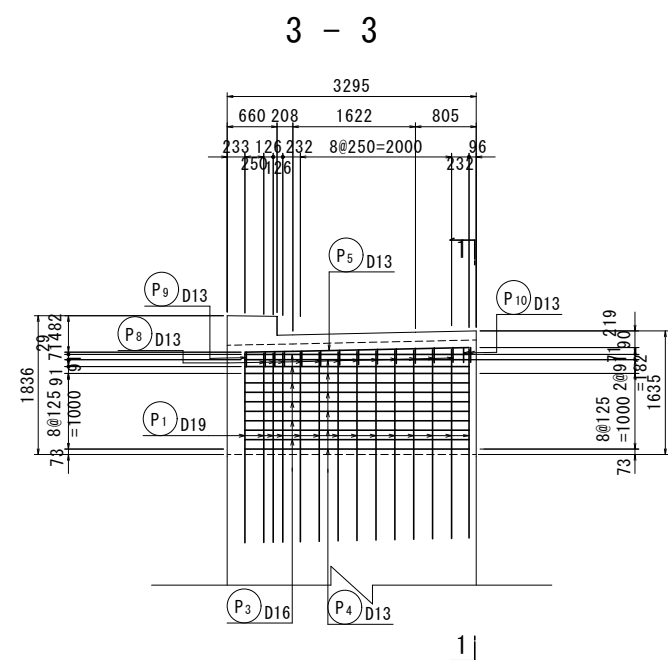
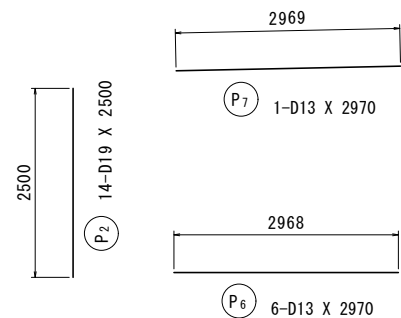
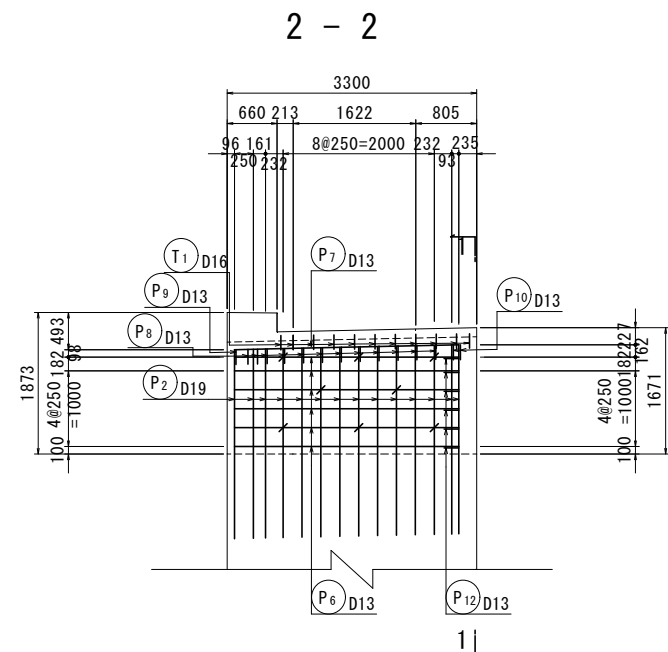
数值表

	G1	G14
θ	115° 00' 00"	115° 00' 00"
TH1	28.500	28.501
BH1	28.465	28.465
H1	35	36

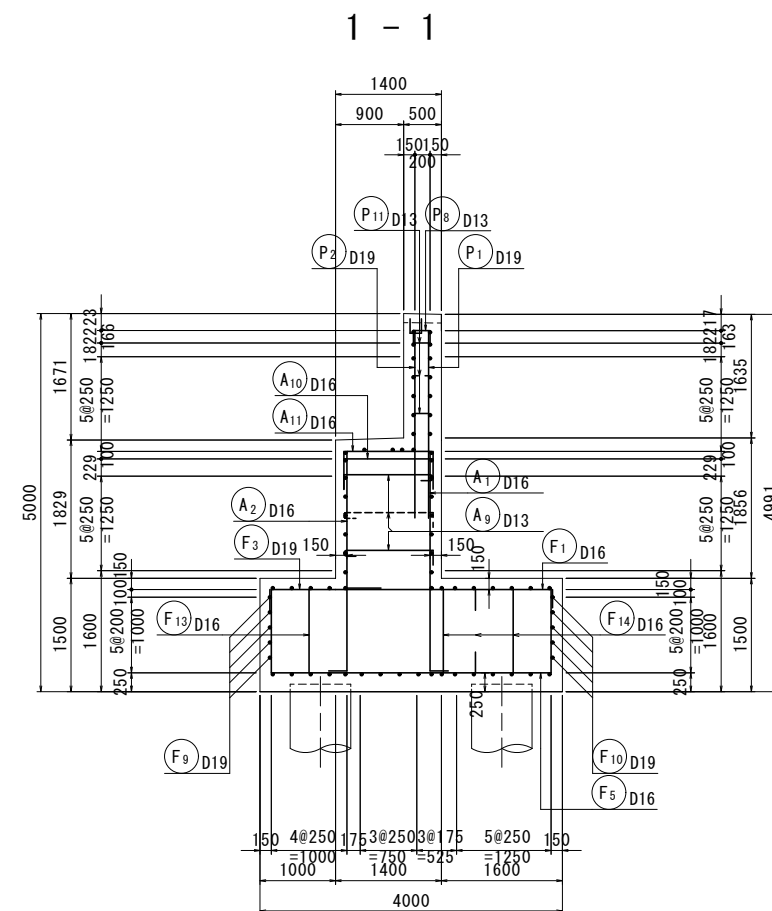
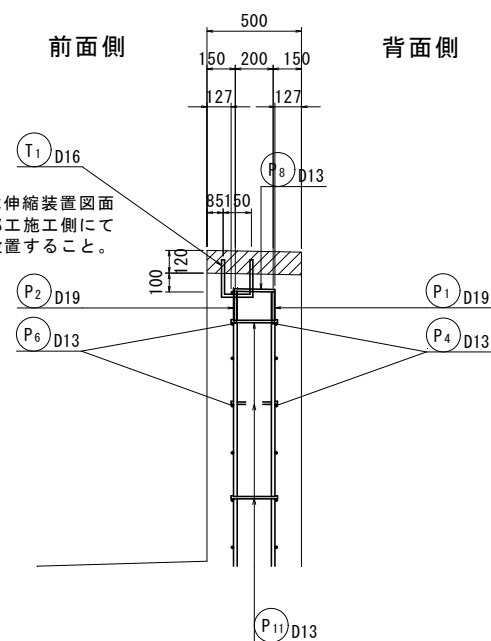
实施

令和 7 年度	図 番	21 葉 6
路線名又は 河 川 名	市 道 寿 橋 線	
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
A 2 橋台構造図（その 2）		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

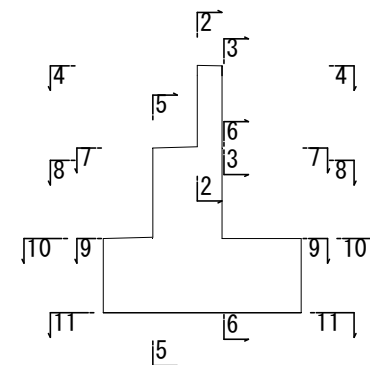
寿橋 A2橋台配筋図(その1) S=1:50



パラペット詳細図 S=1:20



位置図

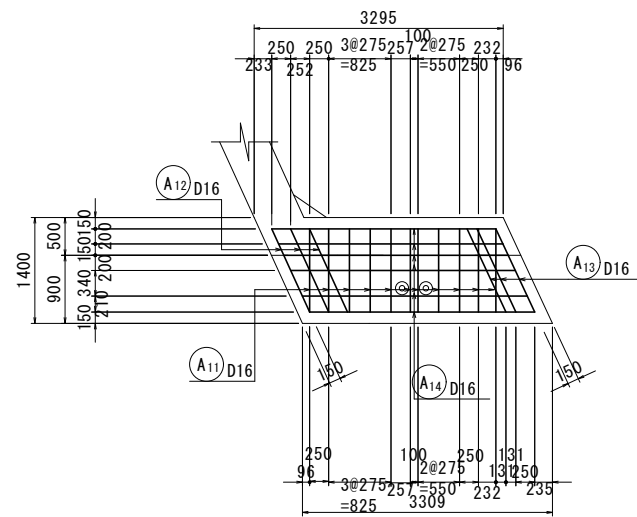


実施

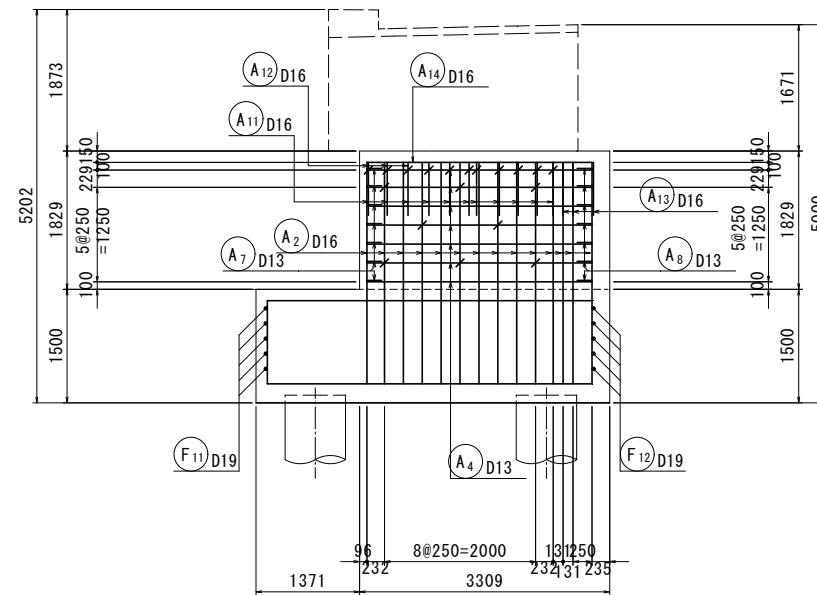
令和 7 年度	図 番	21 葉 7
路線名又は河川名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事	
位置	鶴岡市 寿 地内	
A2橋台配筋図（その1）		
縮 尺	図 示	鶴 岡 市

寿橋 A2橋台配筋図(その2) S=1:50

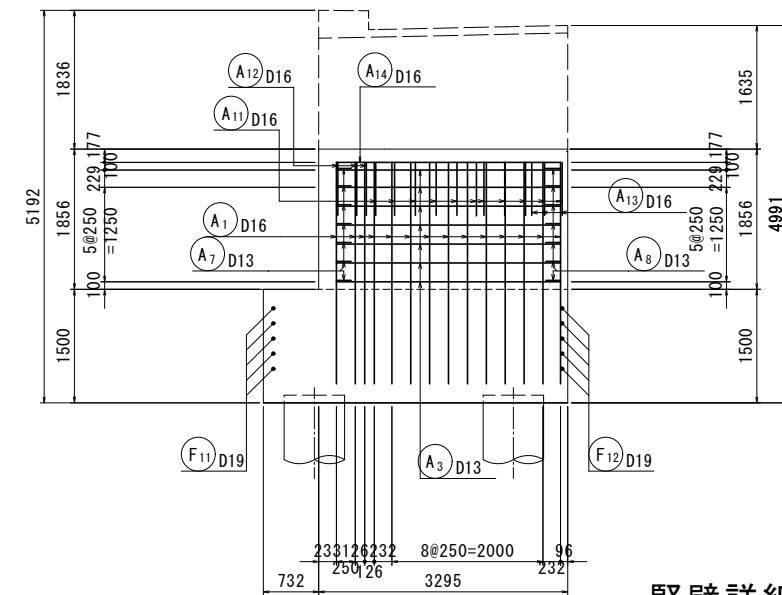
7 - 7



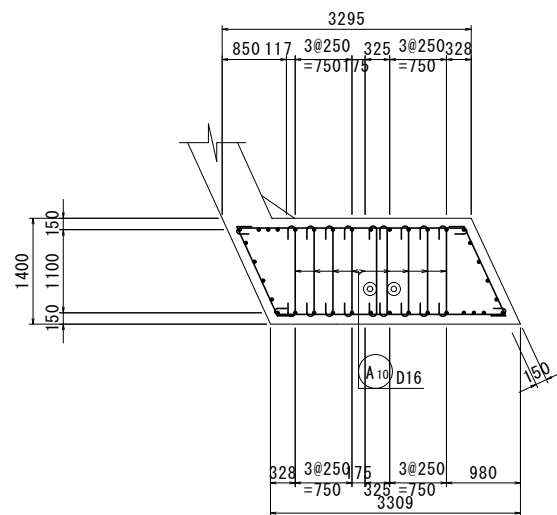
5 - 5



6 - 6

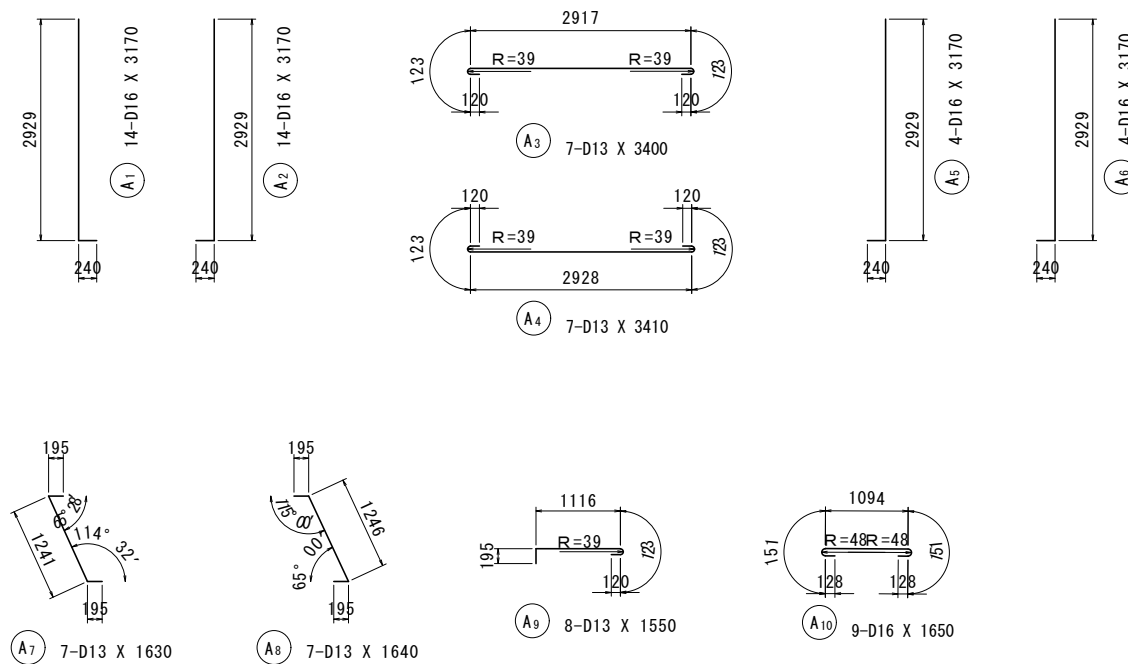
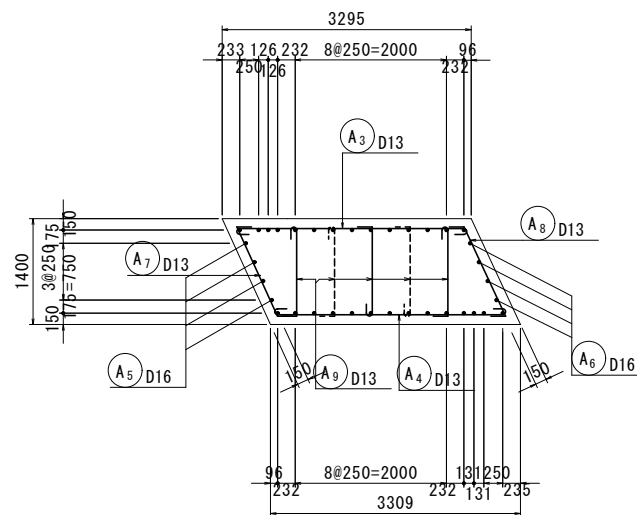


8 - 8



縦壁詳細図 S=1:20

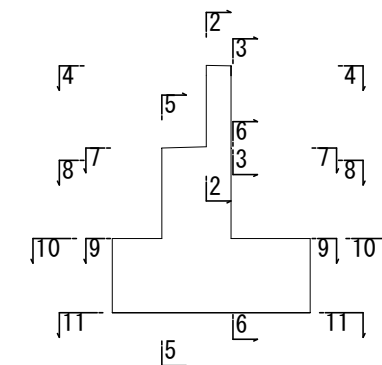
9 - 9



前面側

背面側

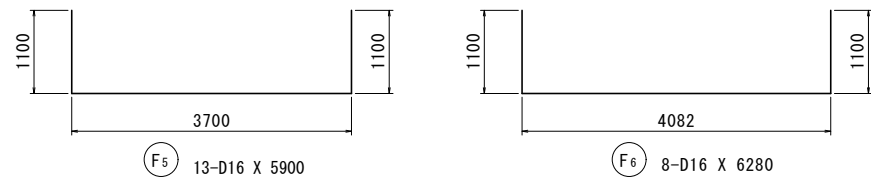
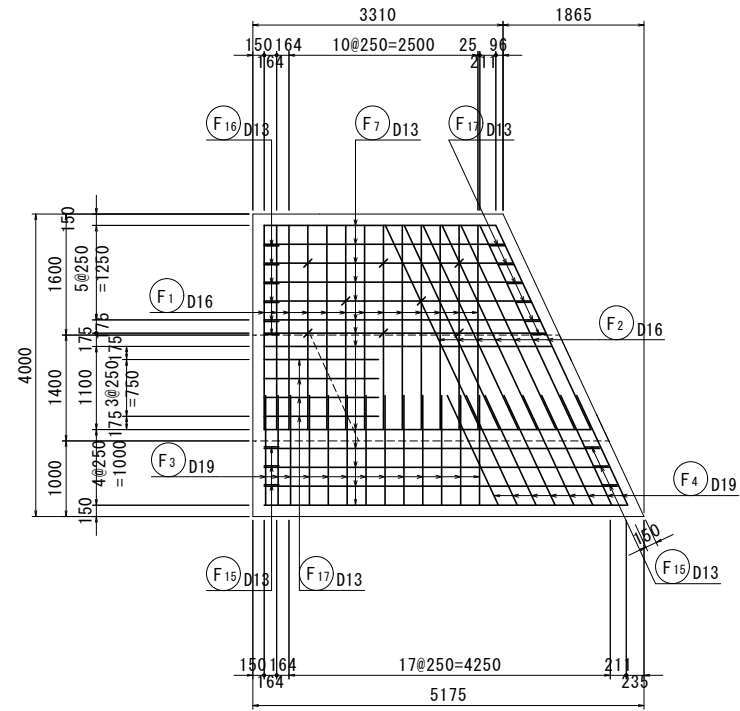
位置図



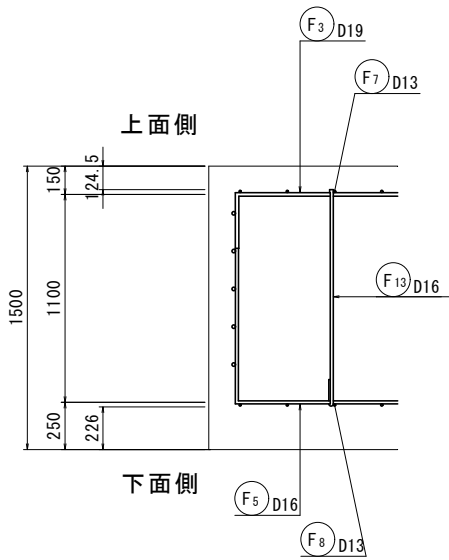
実施	令和 7 年度	図 番	21 葉 8
路線名又は河川名	市道寿橋線	工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事
位置	鶴岡市 寿 地内	支承詳細図(その2)	
縮 尺	図 示	鶴 岡 市	

寿橋 A 2 橋台配筋図(その3) S=1:50

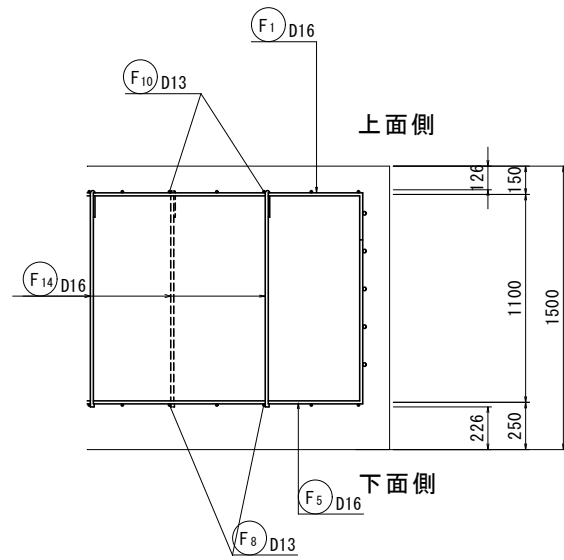
10 - 10



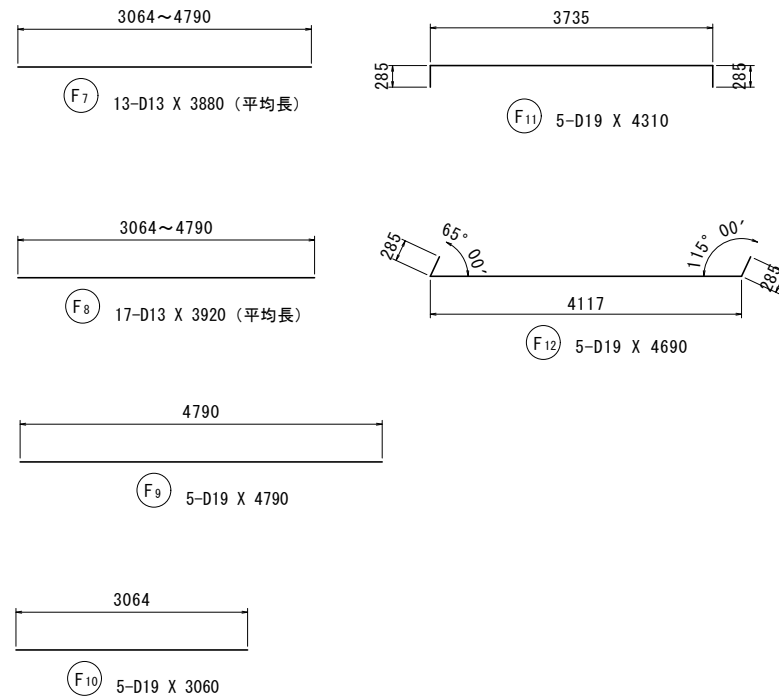
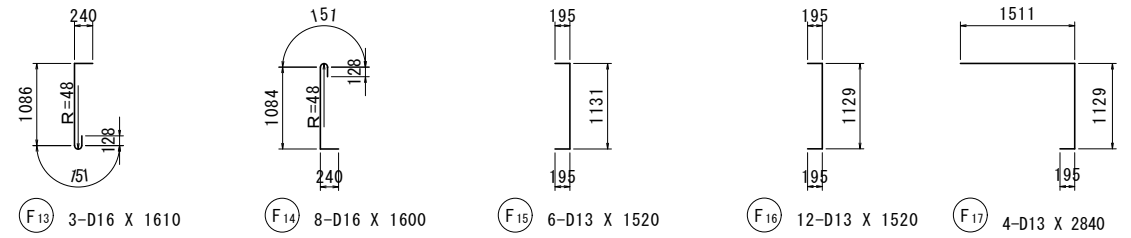
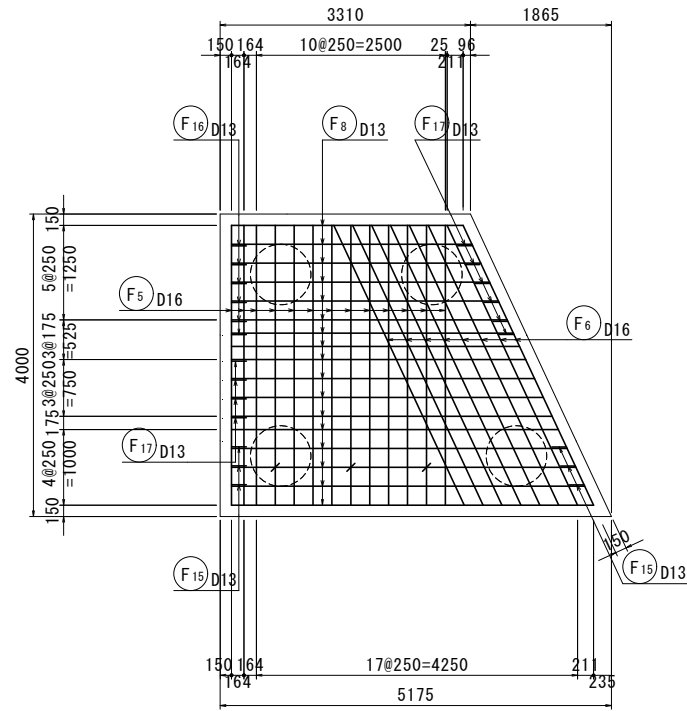
前フーティング詳細図S=1:20



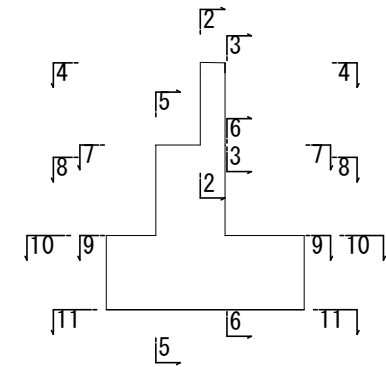
後フーティング詳細図S=1:20



11 - 11



位置図

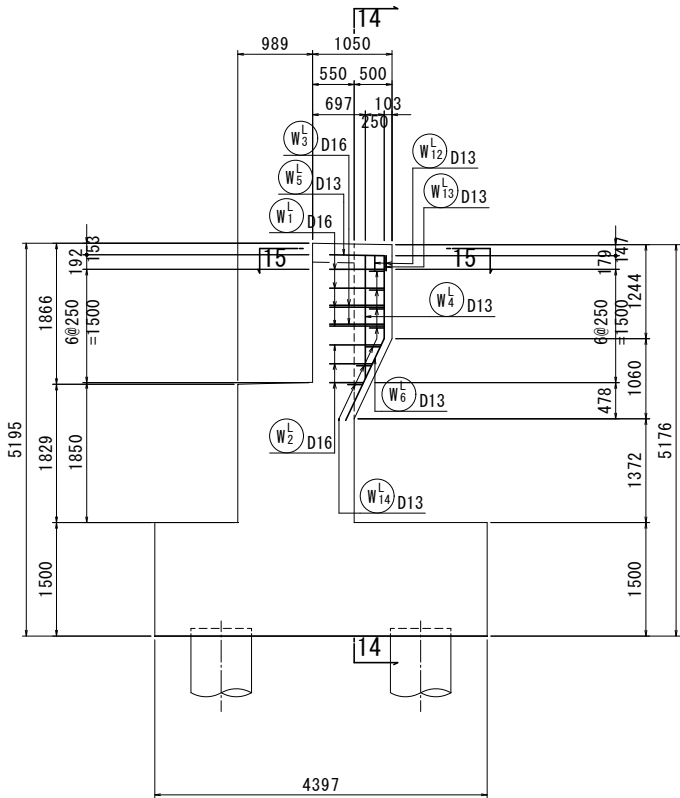


实施

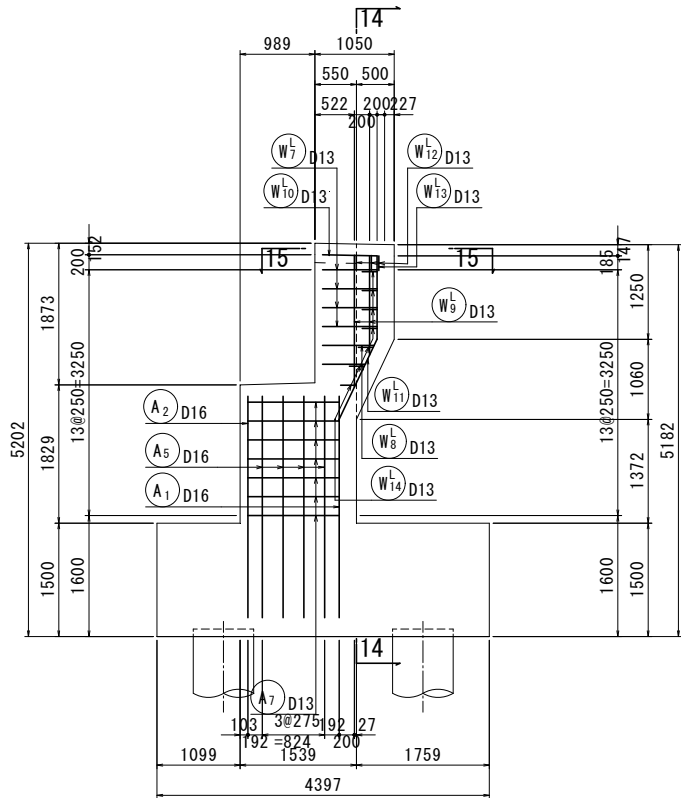
令和	7	年度	図番	21	葉	9
路線名又は 河川名	市道寿橋線					
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事					
位置	鶴岡市 寿 地内					
A2橋台配筋図（その3）						
縮尺	図示		鶴岡市			

寿橋 A 2 橋台配筋図(その4) S=1:50

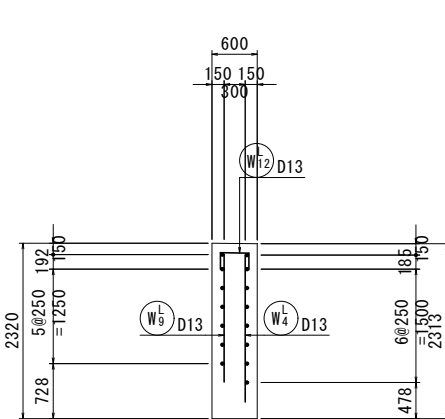
12 - 12



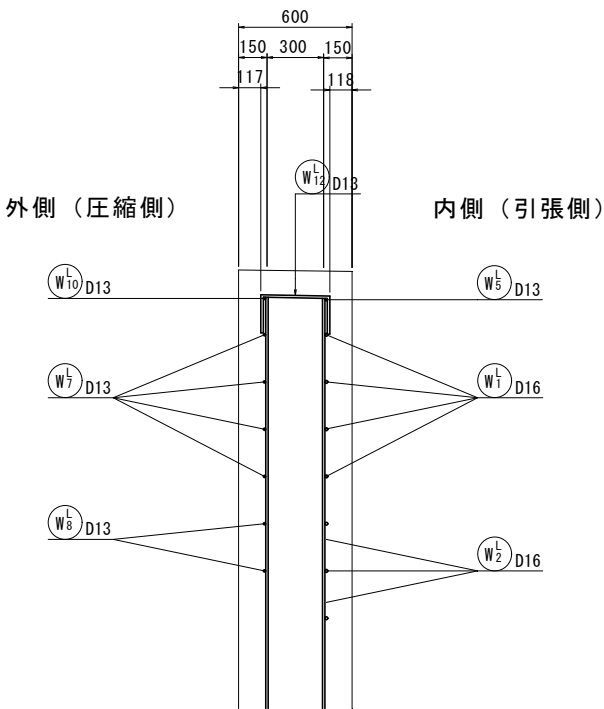
13 - 13



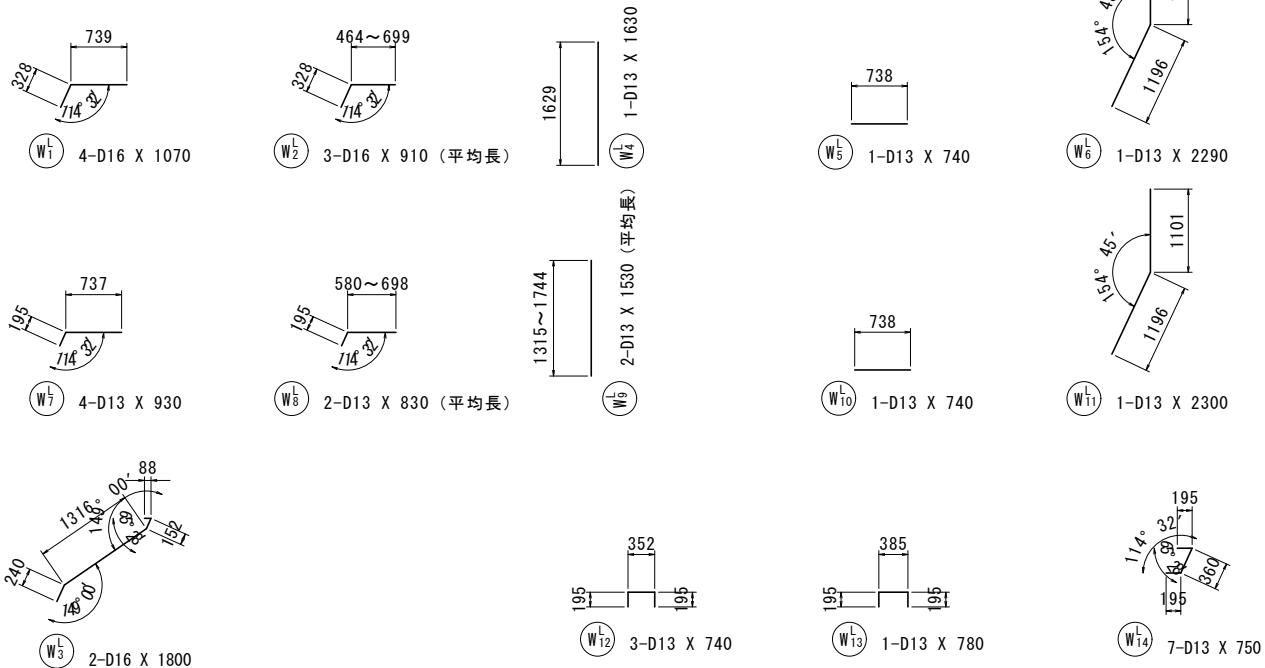
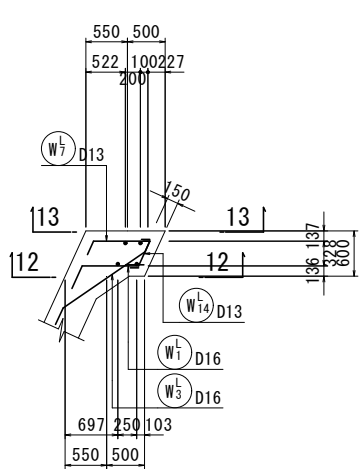
14 - 14



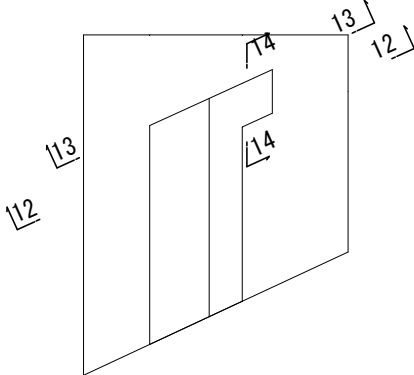
左ウィング詳細図S=1:20



15 - 15



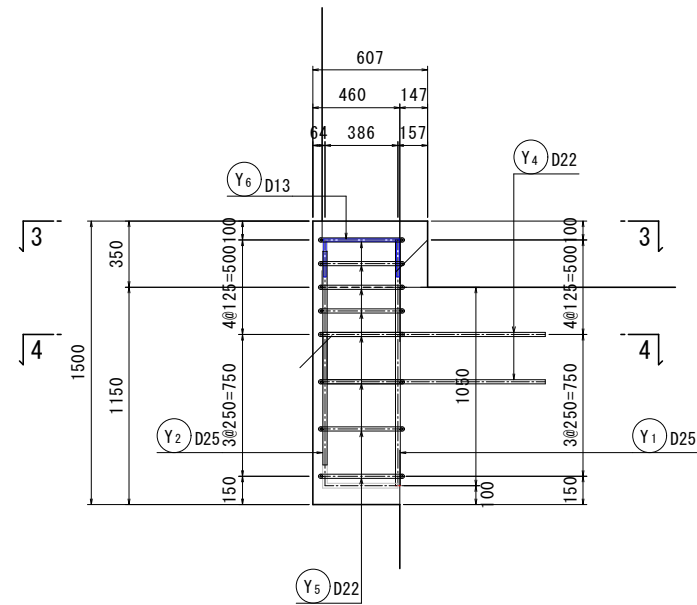
位置図



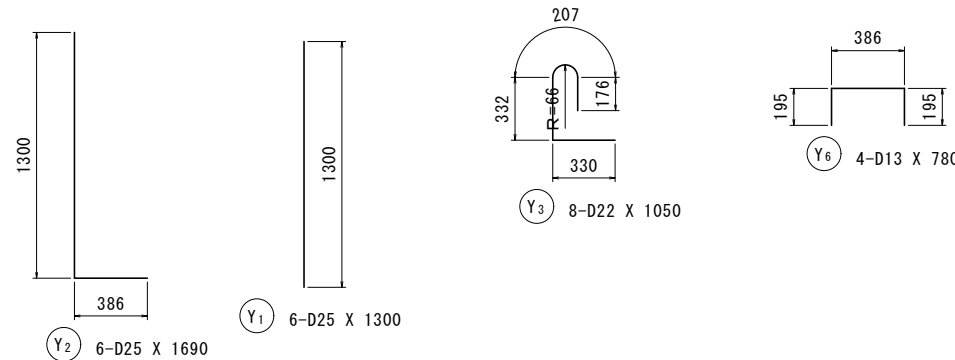
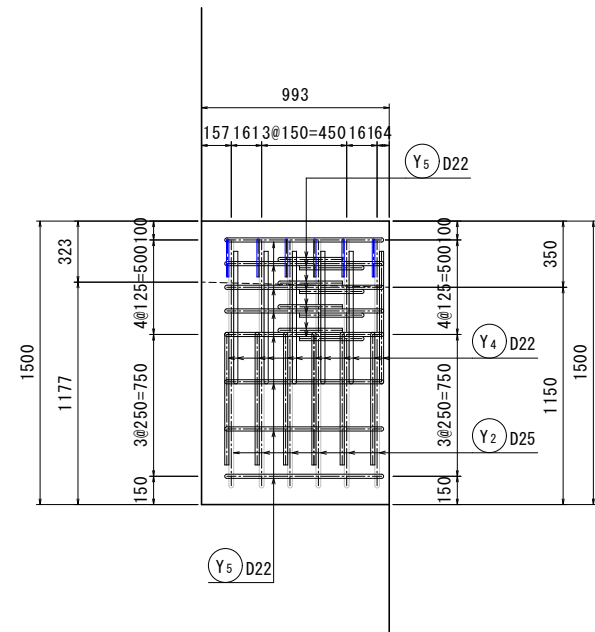
実 施				
令 和	7	年 度	図 番	21 葉 10
路線名又は河川名	市道寿橋線			
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事			
位 置	鶴岡市 寿 地内			
A 2 橋台配筋図（その４）				
縮 尺	図 示		鶴 岡 市	

寿橋 A 2 橋台配筋図(その5) S=1:20

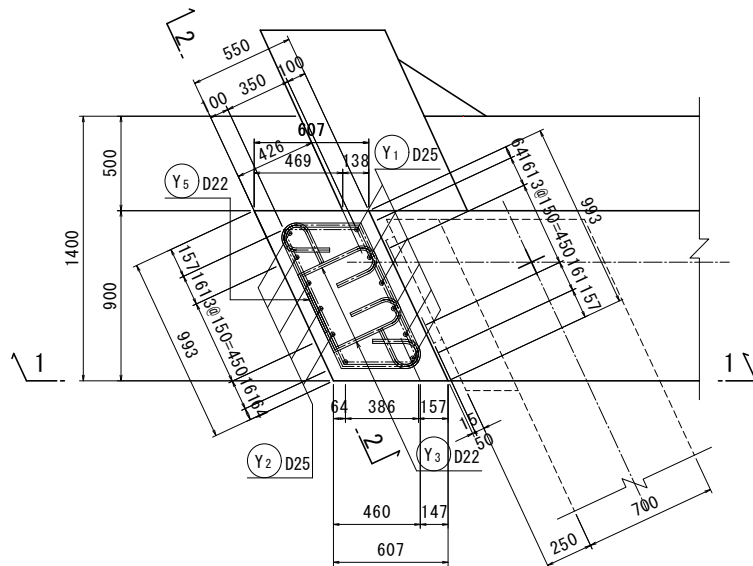
1 - 1 断面



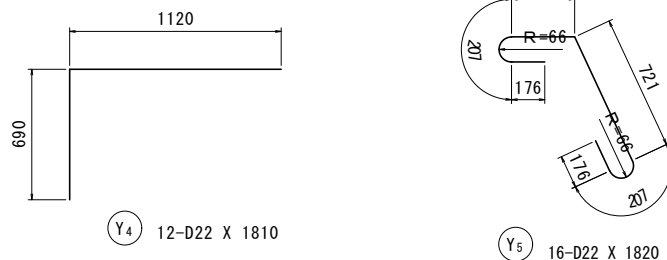
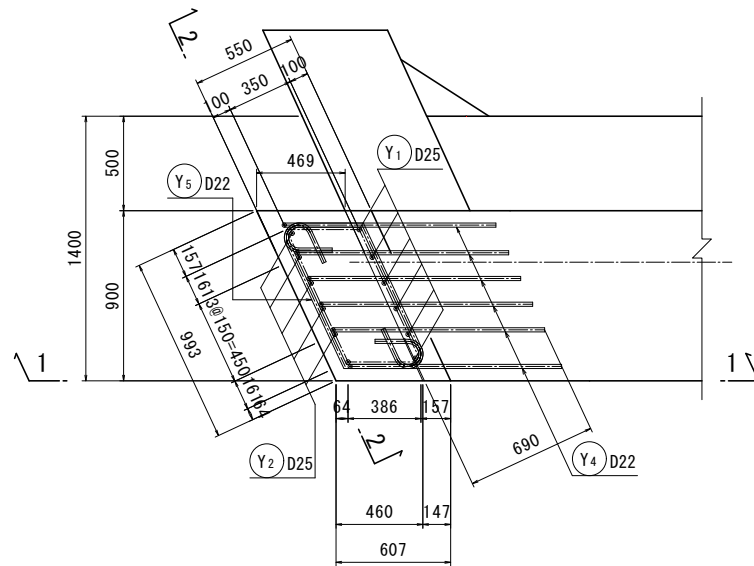
2 - 2 断面



3 - 3 断面



4 - 4 断面



実 施			
令和 7 年度		図 番	21 葉 11
路線名又は河川名	市道寿橋線		
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事		
位 置	鶴岡市 寿 地内		
A 2橋台配筋図（その5）			
縮 尺 図 示		鶴 岡 市	

寿橋 A 2 橋台配筋図(その6)

鉄筋質量表 (SD345)

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
P 1	D19	2500	14	2.25	5.63	79	
P 2	D19	2500	14	2.25	5.63	79	
P 3	D16	3210	6	1.56	5.01	30	┐
P 4	D13	2970	6	0.995	2.96	18	┐
P 5	D13	2970	1	0.995	2.96	3	┐
P 6	D13	2970	6	0.995	2.96	18	┐
P 7	D13	2970	1	0.995	2.96	3	┐
P 8	D13	590	12	0.995	0.59	7	┐
P 9	D13	610	1	0.995	0.61	1	┐
P 10	D13	610	2	0.995	0.61	1	┐
P 11	D13	620	8	0.995	0.62	5	┐
P 12	D13	610	6	0.995	0.61	4	┐
248							
T 1	D16	530	11	1.56	0.83	9	≡
9							
A 1	D16	3170	14	1.56	4.95	69	
A 2	D16	3170	14	1.56	4.95	69	
A 3	D13	3400	7	0.995	3.38	24	┐
A 4	D13	3410	7	0.995	3.39	24	┐
A 5	D16	3170	4	1.56	4.95	20	
A 6	D16	3170	4	1.56	4.95	20	
A 7	D13	1630	7	0.995	1.62	11	┐
A 8	D13	1640	7	0.995	1.63	11	┐
A 9	D13	1550	8	0.995	1.54	12	┐
A 10	D16	1650	9	1.56	2.57	23	┐
A 11	D16	2580	11	1.56	4.02	44	┐
A 12	D16	2700	3	1.56	4.21	13	┐
A 13	D16	2700	3	1.56	4.21	13	┐
A 14	D16	2970	6	1.56	4.63	28	┐ (平均長)
381							
F 1	D16	2940	13	1.56	4.59	60	┐
F 2	D16	3220	7	1.56	5.02	35	┐
F 3	D19	1740	13	2.25	3.92	51	┐
F 4	D19	1890	8	2.25	4.25	34	┐
F 5	D16	5900	13	1.56	9.20	120	┐
F 6	D16	6280	8	1.56	9.80	78	┐
F 7	D13	3880	13	0.995	3.86	50	┐ (平均長)
F 8	D13	3920	17	0.995	3.90	66	┐ (平均長)
F 9	D19	4790	5	2.25	10.78	54	┐
F 10	D19	3060	5	2.25	6.89	34	┐
F 11	D19	4310	5	2.25	9.70	49	┐
F 12	D19	4690	5	2.25	10.55	53	┐
F 13	D16	1610	3	1.56	2.51	8	[
F 14	D16	1600	8	1.56	2.50	20	[
F 15	D13	1520	6	0.995	1.51	9	]
F 16	D13	1520	12	0.995	1.51	18	]
F 17	D13	2840	4	0.995	2.83	11	┐
750							

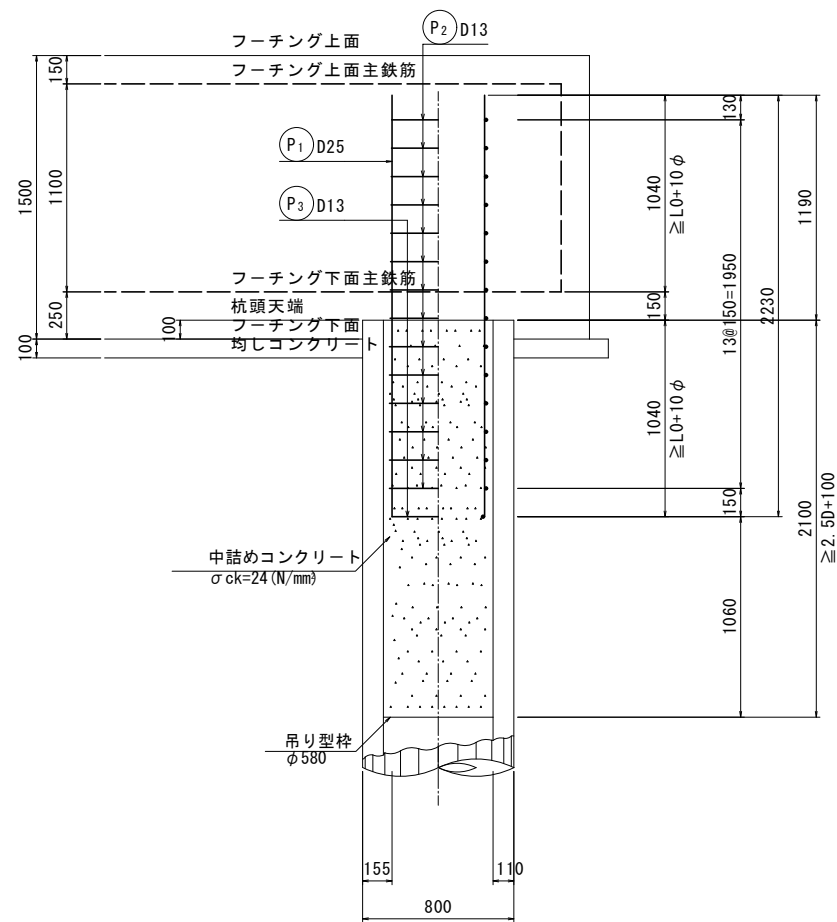
種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
W 1	D16	1070	4	1.56	1.67	7	┐
W 2	D16	910	3	1.56	1.42	4	┐ (平均長)
W 3	D16	1800	2	1.56	2.81	6	┐
W 4	D13	1630	1	0.995	1.62	2	
W 5	D13	740	1	0.995	0.74	1	┐
W 6	D13	2290	1	0.995	2.28	2	┐
W 7	D13	930	4	0.995	0.93	4	┐
W 8	D13	830	2	0.995	0.83	2	┐ (平均長)
W 9	D13	1530	2	0.995	1.52	3	(平均長)
W 10	D13	740	1	0.995	0.74	1	┐
W 11	D13	2300	1	0.995	2.29	2	┐
W 12	D13	740	3	0.995	0.74	2	┐
W 13	D13	780	1	0.995	0.78	1	┐
W 14	D13	750	7	0.995	0.75	5	┐
42							
Y 1	D25	1300	6	3.98	5.17	31	
Y 2	D25	1690	6	3.98	6.73	40	L
Y 3	D22	1050	8	3.04	3.19	26	┐
Y 4	D22	1810	12	3.04	5.50	66	┐
Y 5	D22	1820	16	3.04	5.53	88	┐
Y 6	D13	780	4	0.995	0.78	3	┐
254							
合 計 D25 71 kg							
D22 180 kg							
D19 433 kg							
D16 676 kg							
D13 324 kg							
総質量 1684 kg							

実 施

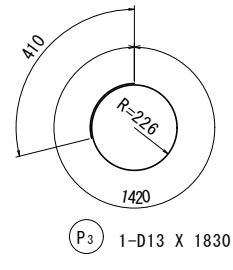
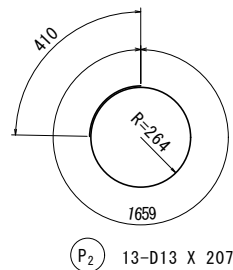
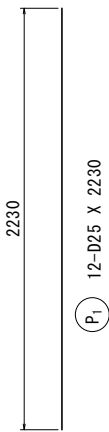
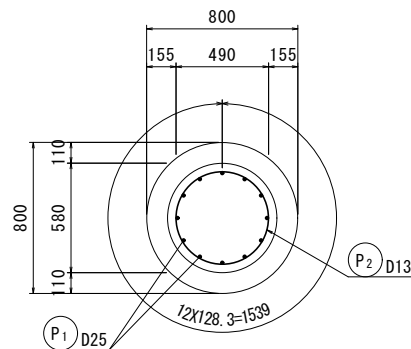
令和	7	年度	図番	21 葉 12
路線名又は 河川名	市道寿橋線			
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事			
位置	鶴岡市 寿 地内			
A 2橋台配筋図（その6）				
縮尺 図示			鶴岡市	

寿橋 A 2 橋台PHC杭詳細図

杭頭部詳細図 S=1:20



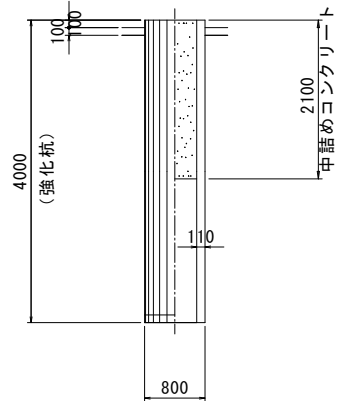
杭頭部断面詳細図 S=1:20



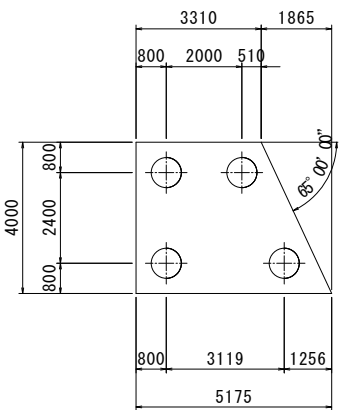
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
P ₁	D25	2230	12	3.98	8.88	107	
P ₂	D13	2070	13	0.995	2.06	27	○
P ₃	D13	1830	1	0.995	1.82	2	○
136							
合計 D25							107 kg
D13							29 kg
総質量							136 kg

側面図 S=1:50



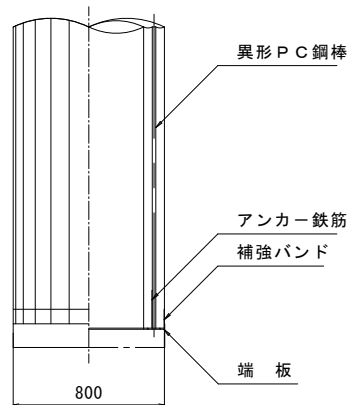
杭配置図 S=1:100



・数値表

橋台名称	A1	A2
杭種	PHC杭	PHC杭
杭径	φ 800	φ 800
杭種別	強化杭	強化杭
杭本数	杭長 L1=3.5m	4
	杭長 L1=4.0m	-

杭先端詳細図S=1:20

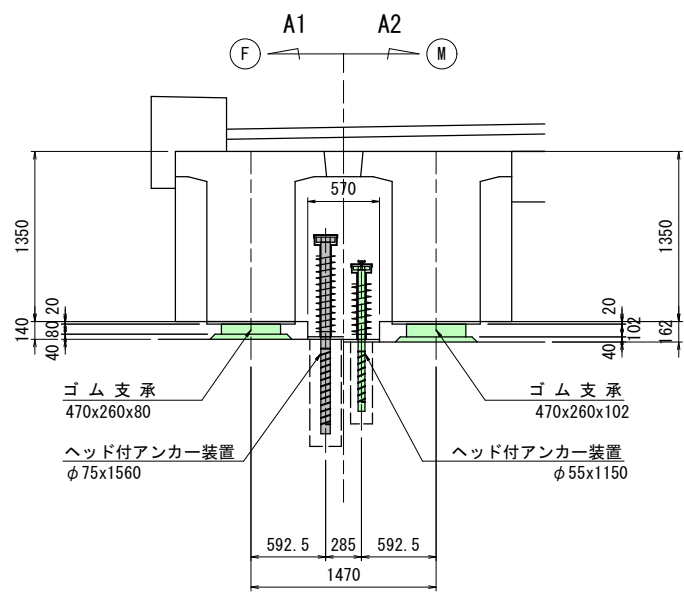


実施

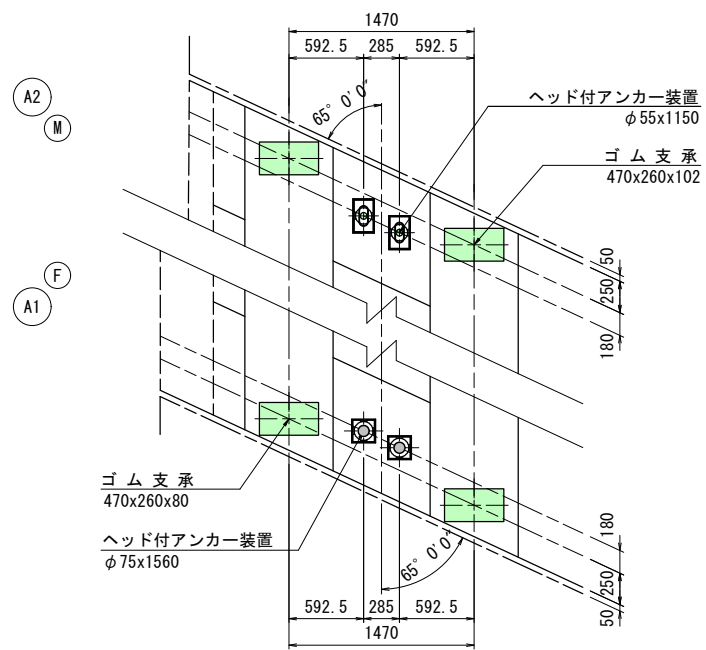
令和 7 年度	図 番	21 葉 13
路線名又は河川名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
A 2 橋台 P H C 杭詳細図		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

寿橋 支承詳細図(その1)

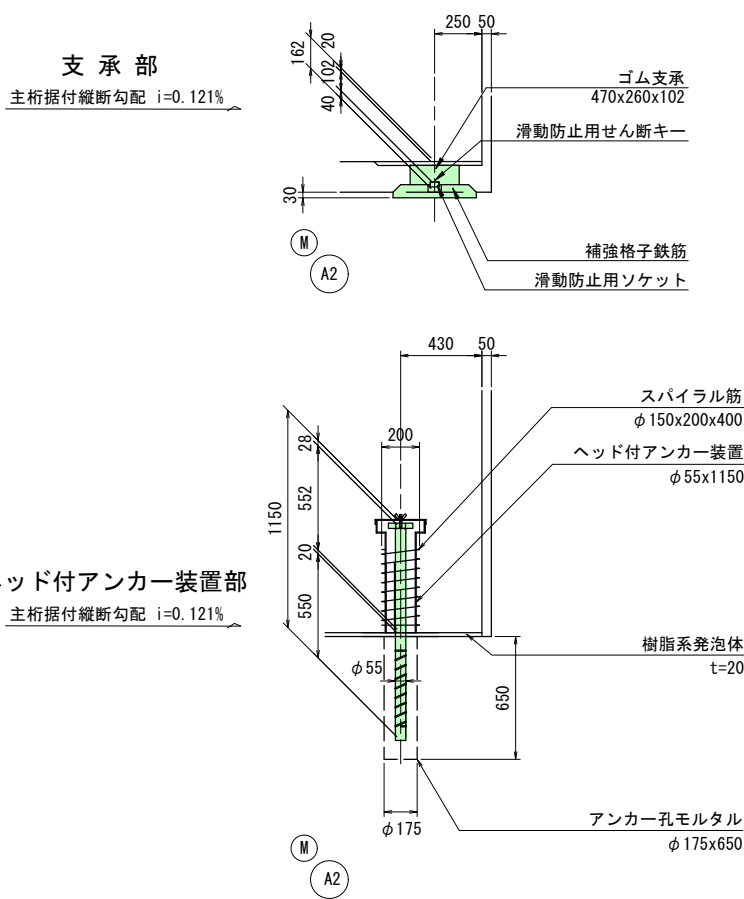
断面図 S= 1:30



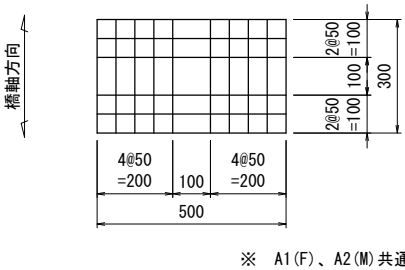
平面図 S= 1:30



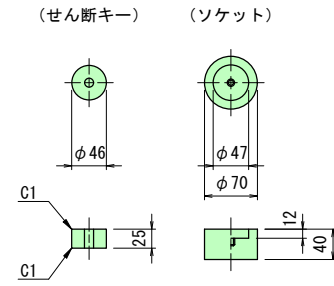
側面図 S= 1:20



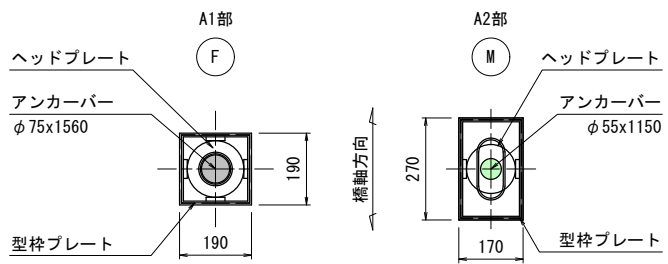
補強格子鉄筋 S= 1:10



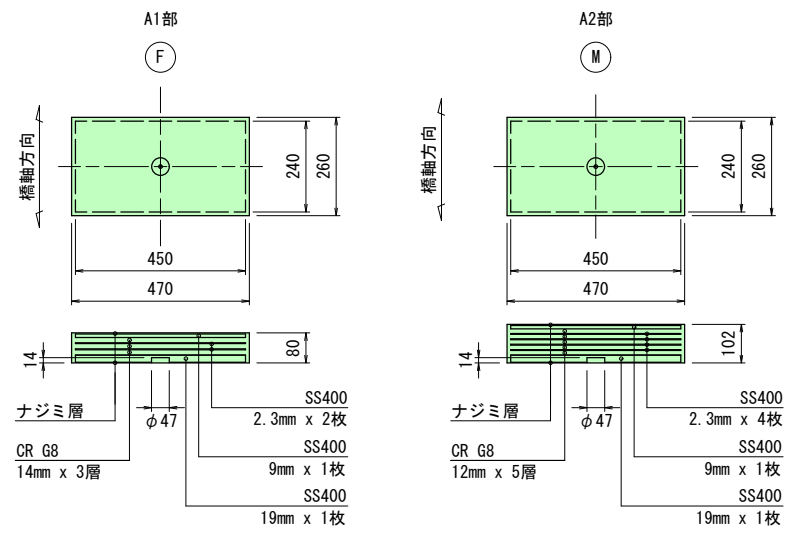
滑動防止装置 S= 1:5



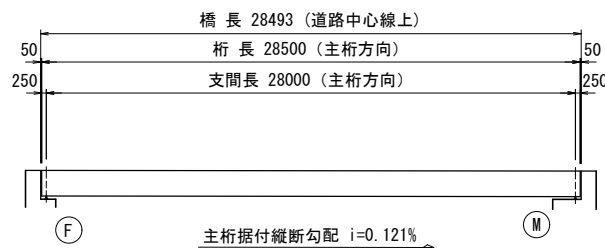
ヘッド付アンカー装置 S= 1:10



ゴム支承 S= 1:10



配置図 S= 1:200



材料表

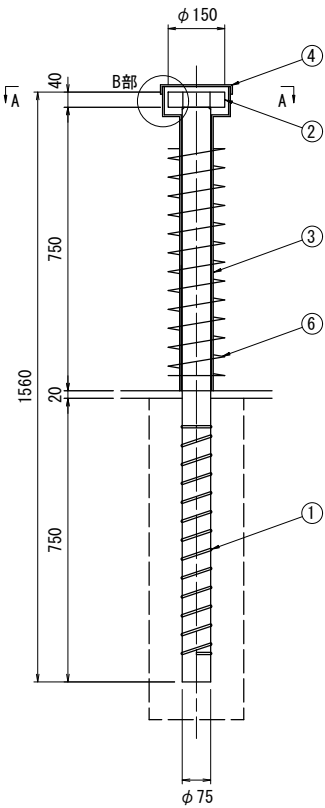
名 称	寸 法	材 質	単 位	数 量			備 考
				A1 (F)	A2 (M)	合計	
ゴム支承	470x260x102	図 示	枚		2	2	DSFパッド (Ge=0.8)
"	470x260x80	"		2		2	"
ヘッド付アンカー装置	φ 75x1560	支承詳細図(その2)参照	組	2		2	SGめっき
"	φ 55x1150	"	"		2	2	SGめっき
樹脂系発泡体	t=20		m2	0.513	0.513	1.026	
補強格子鉄筋	D10	SD345	kg	7	7	14	
省座モルタル		無収縮モルタル	m3	0.037	0.037	0.074	
アンカー孔モルタル		"	"	0.077	0.029	0.106	

実 施			
令 和	7 年 度	図 番	21 葉 14
路線名又は 河 川 名	市道寿橋線		
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事		
位 置	鶴岡市 寿 地内		
支承詳細図（その1）			
縮 尺 図 示	鶴 岡 市		

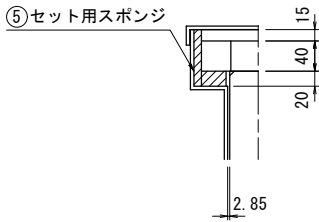
寿橋 支承詳細図(その2)

A1 FIX

取付詳細図 S=1:10



B部詳細



材料表 (一組当り) 合計: 2組

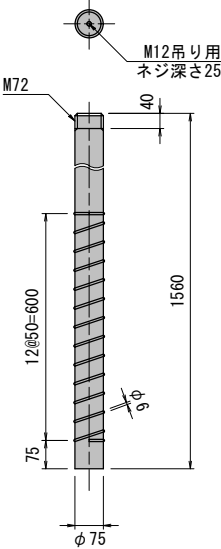
部番	品名	材質	単位	数量
①	アンカーボルト	S35CN+SR235	本	1
②	ヘッドプレート	SM490	枚	1
③	型枠プレート	SS400+SGP	個	1
④	キャップ	SS400	個	1
⑤	セット用スポンジ	CRスポンジ	式	1
⑥	スパイラル筋	SR235	個	1

注) ◎印は、SGめっき仕様とする。

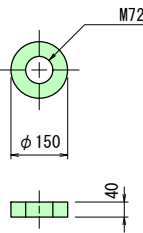
⑤ $\phi 150 \times 20$ ($\phi 85$)
4 - 75 x 50 x 10

⑦ アイボルト M12用 (施工用) ... 全数で2本

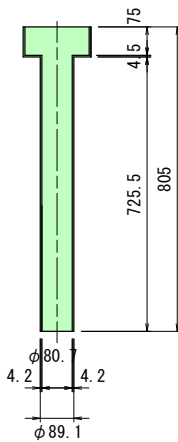
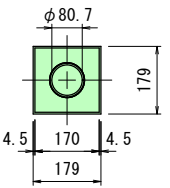
① アンカーボルト



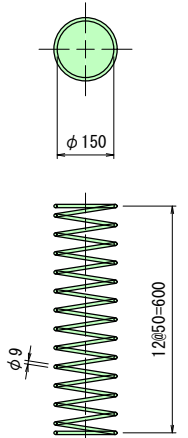
② ヘッドプレート



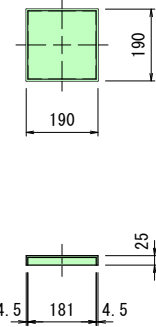
③ 型枠プレート
SS400+SGP80A



⑥ スパイラル筋

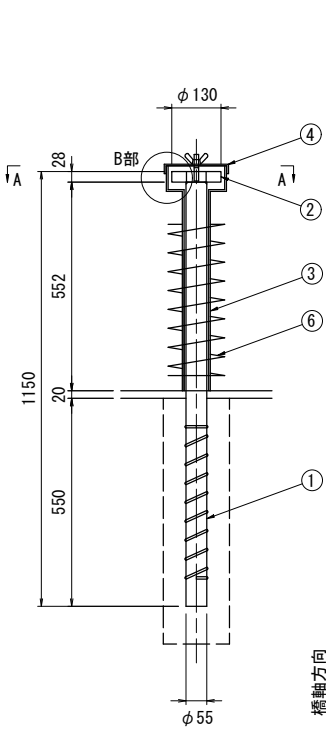


④ キャップ

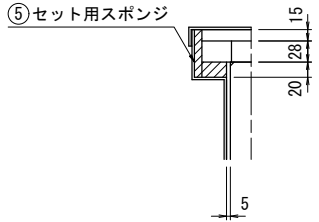


取付詳細図 S=1:10

A2 MOV



B部詳細



材料表 (一組当り) 合計: 2組

部番	品名	材質	単位	数量
①	アンカーボルト	S35CN+SR235	本	1
②	ヘッドプレート	SM490	枚	1
③	型枠プレート	SS400	個	1
④	キャップ	SS400	個	1
⑤	セット用スポンジ	CRスポンジ	式	1
⑥	スパイラル筋	SR235	個	1

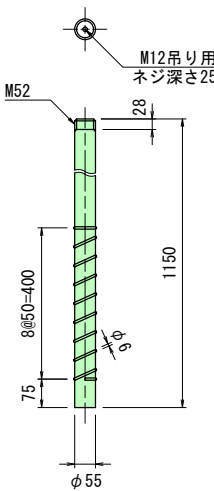
注) ◎印は、SGめっき仕様とする。

⑤ $\phi 130 \times 20$ ($\phi 65$)
2 - 63 x 50 x 10

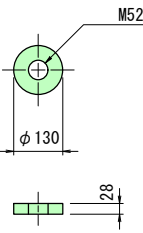
⑦ 全ネジボルト M12x70 (SS400, ユクロメッキ)
ちょうナット M12用 (SS400, ユクロメッキ)

⑧ アイボルト M12用 (施工用) ... 全数で2本

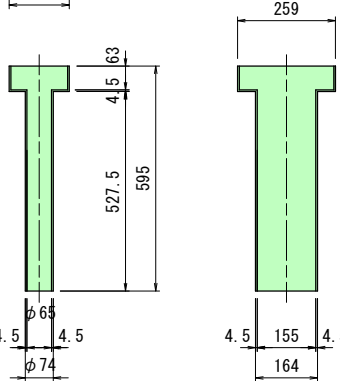
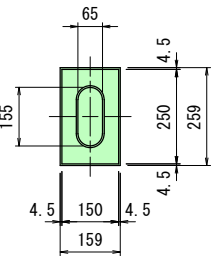
① アンカーボルト



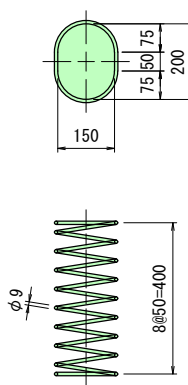
② ヘッドプレート



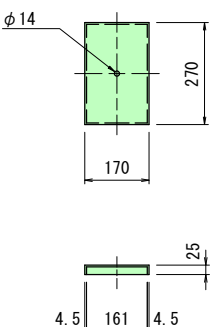
③ 型枠プレート



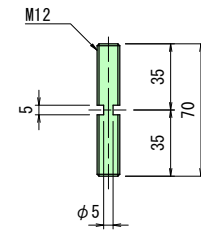
⑥ スパイラル筋



④ キャップ



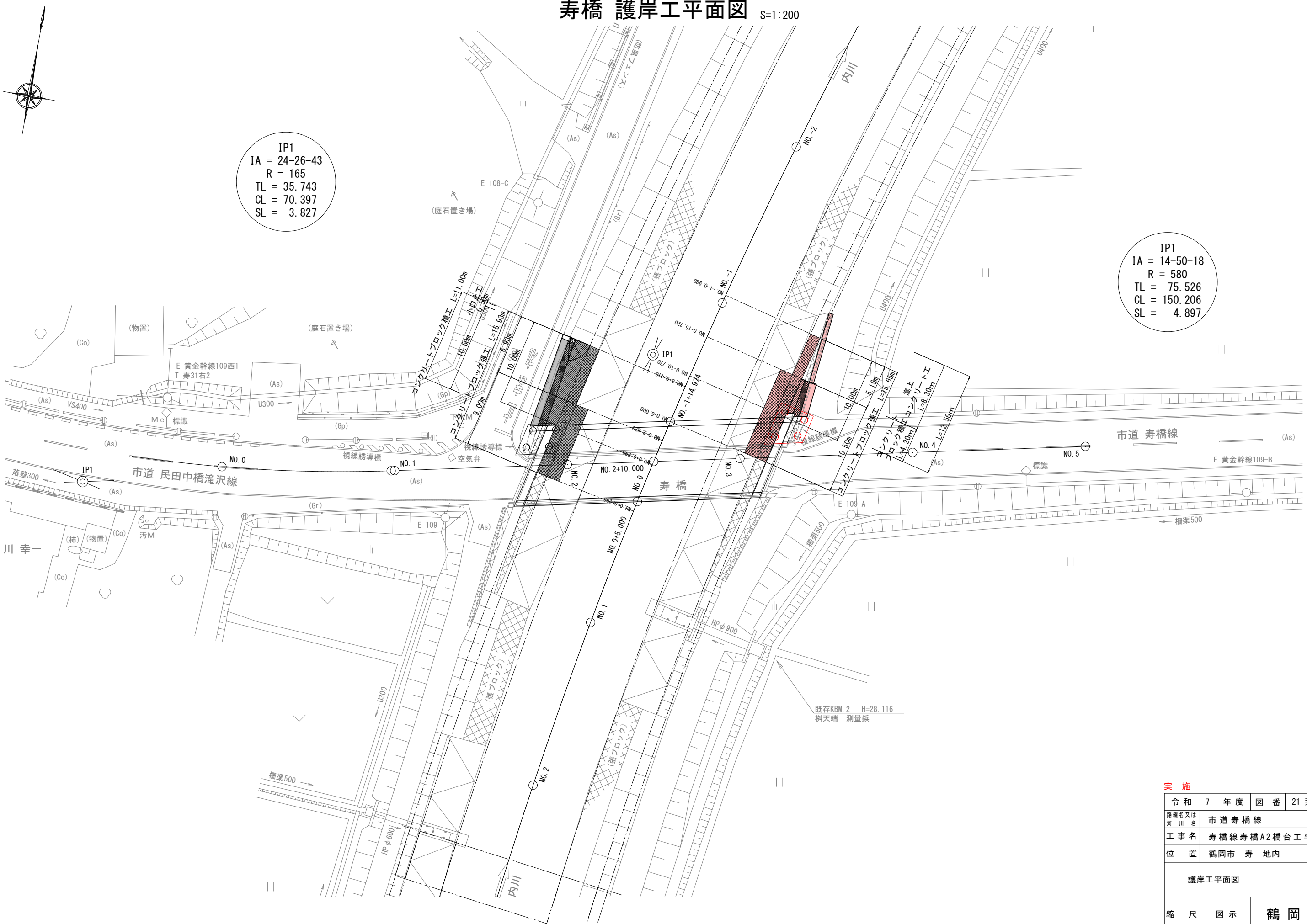
⑦ 全ネジボルト S=1:2



実施

令和 7 年度 図番 21 葉 15
路線名又は河川名 市道寿橋線
工事名 寿橋線寿橋A2橋台工事
位置 鶴岡市 寿 地内
支承詳細図 (その2)
縮尺 図示 鶴岡市

寿橋 護岸工平面図 S=1:200



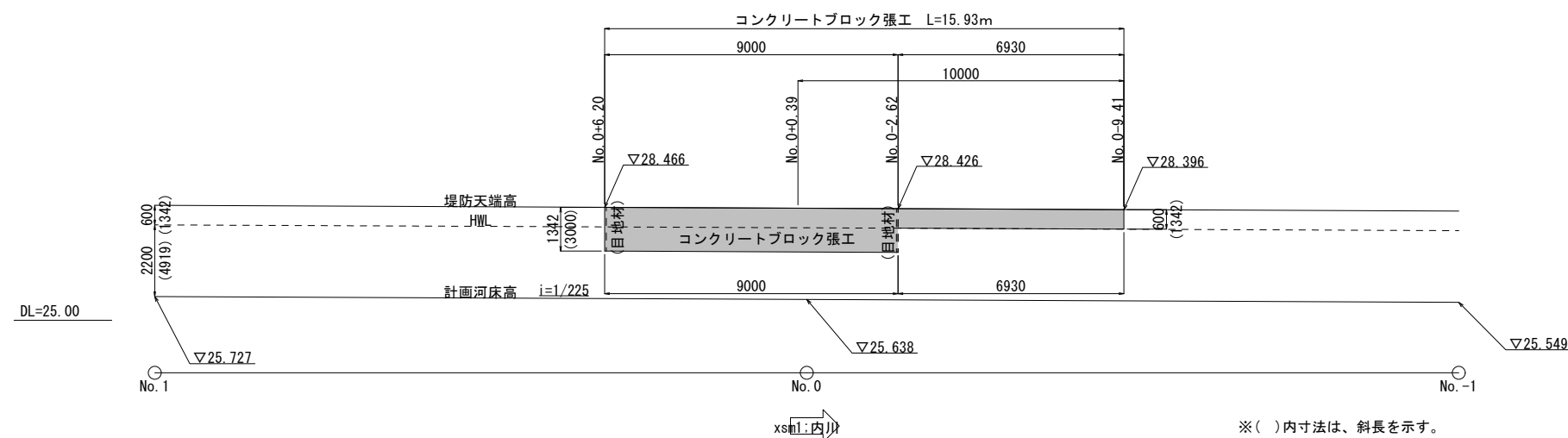
IP1
IA = 24-26-43
R = 165
TL = 35.743
CL = 70.397
SL = 3.827

IP1
IA = 14-50-18
R = 580
TL = 75.526
CL = 150.206
SL = 4.897

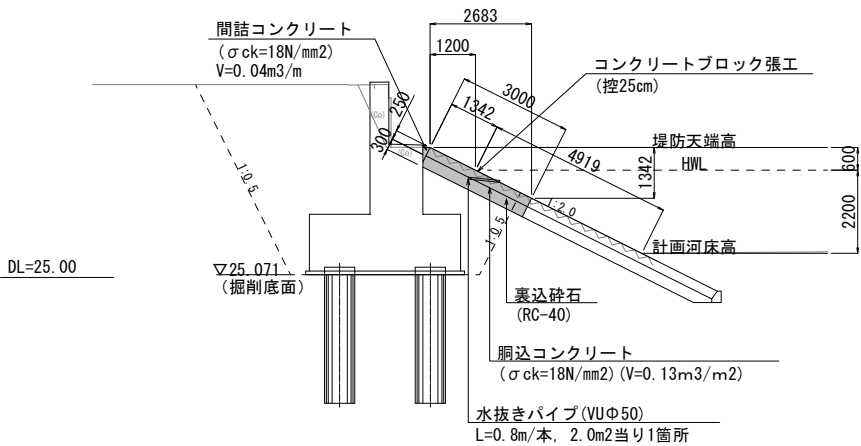
実 施			
令 和	7 年 度	図 番	21 葉 16
路線名又は 河 川 名	市 道 寿 橋 線		
工 事 名	寿 橋 線 寿 橋 A2 橋 台 工 事		
位 置	鶴 岡 市 寿 地 内		
護岸工平面図			
縮 尺 図 示		鶴 岡 市	

寿橋 護岸工詳細図 S=1:100

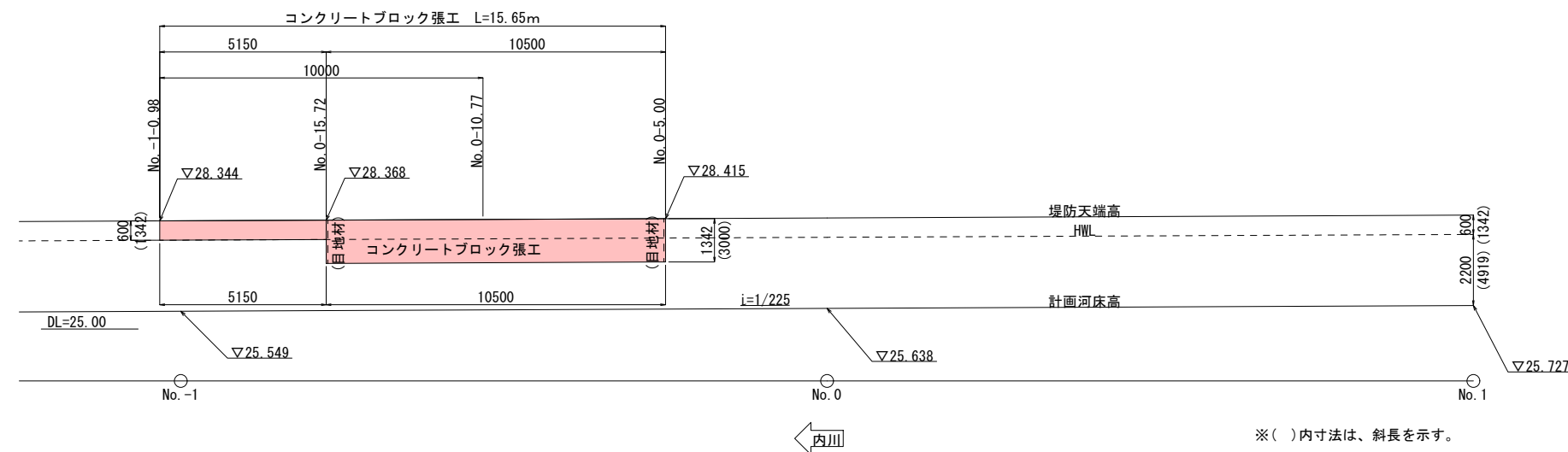
護岸工展開図(左岸) S=1:100



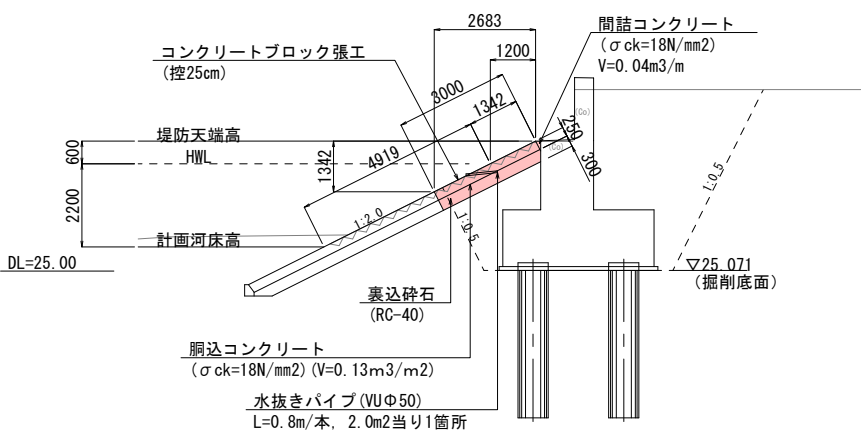
断面図 S=1:100 (左岸)



護岸工展開図(右岸) S=1:100



断面図 S=1:100 (右岸)

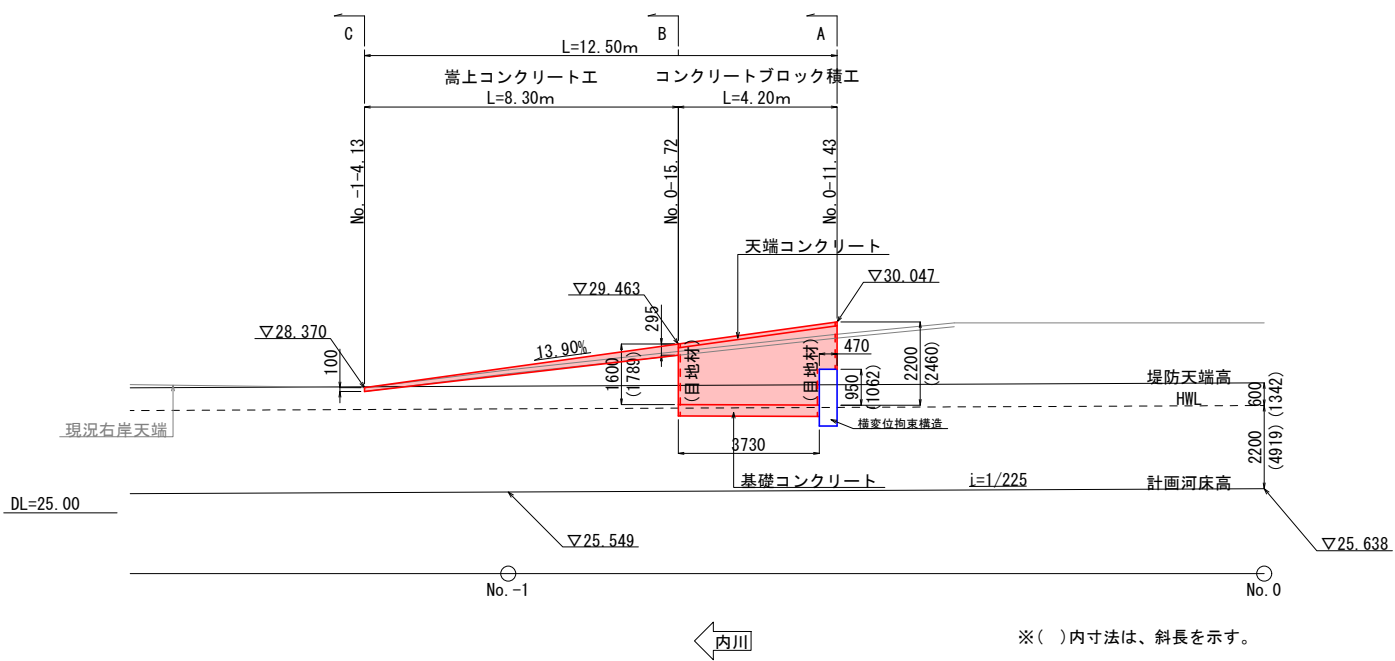


実施

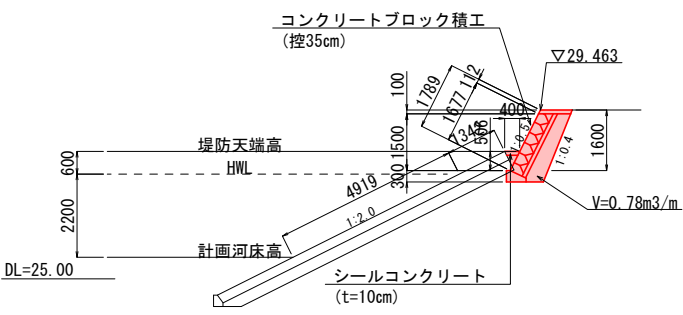
令和 7 年度	図 番	21 葉 17
路線名又は河川名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事	
位置	鶴岡市 寿 地内	
護岸工詳細図		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

寿橋 擁壁工詳細図 (その2)

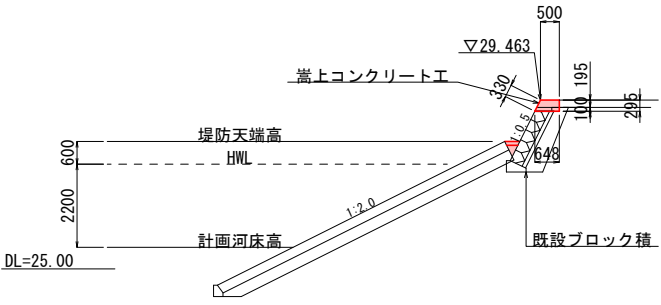
コンクリートブロック積展開図(右岸) S=1:100



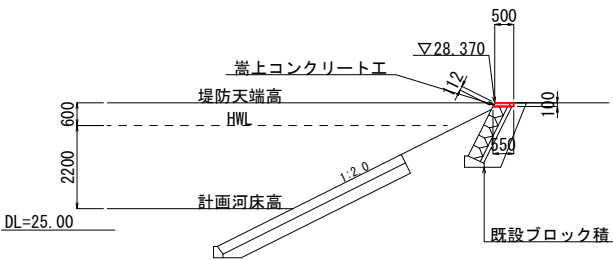
B-B断面



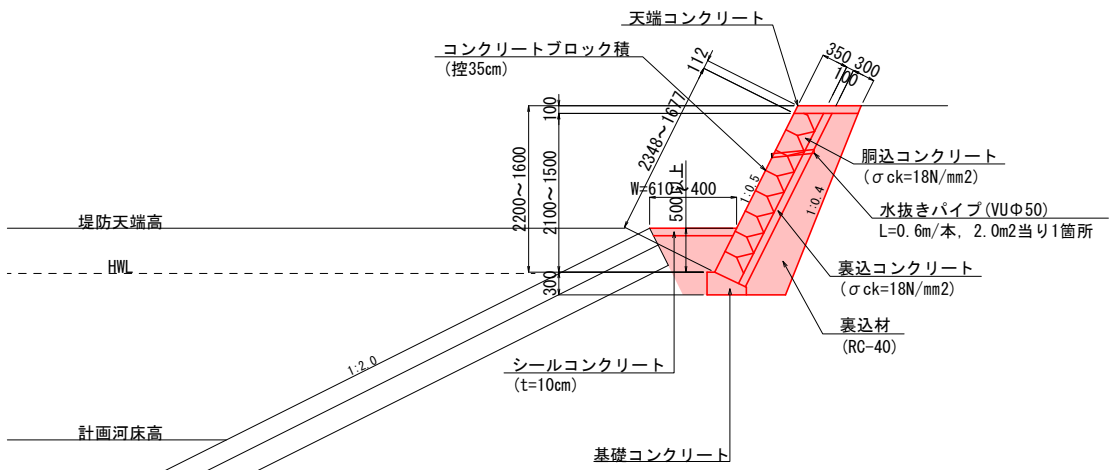
B-B' 断面



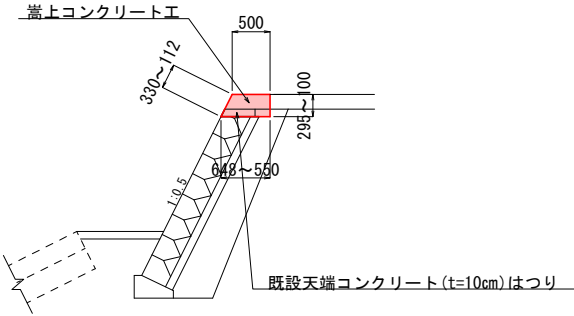
C-C' 断面



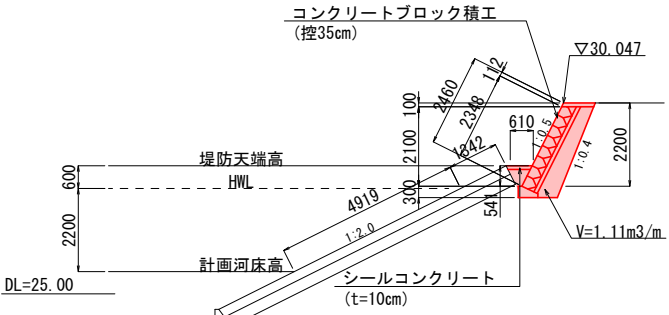
コンクリートブロック積標準断面図 S=1:50



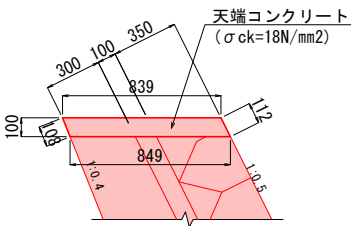
嵩上コンクリート標準断面図 S=1:50



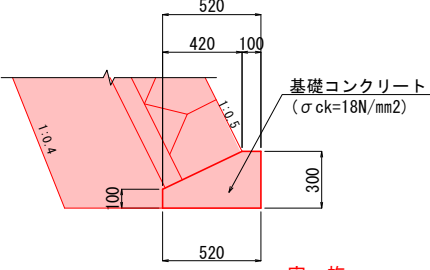
A-A断面



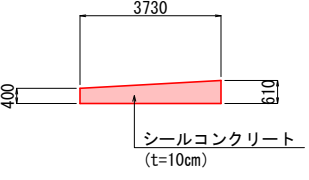
天端コンクリート詳細図 S=1:20



基礎コンクリート詳細図 S=1:20



シールコンクリート展開図 S=1:100

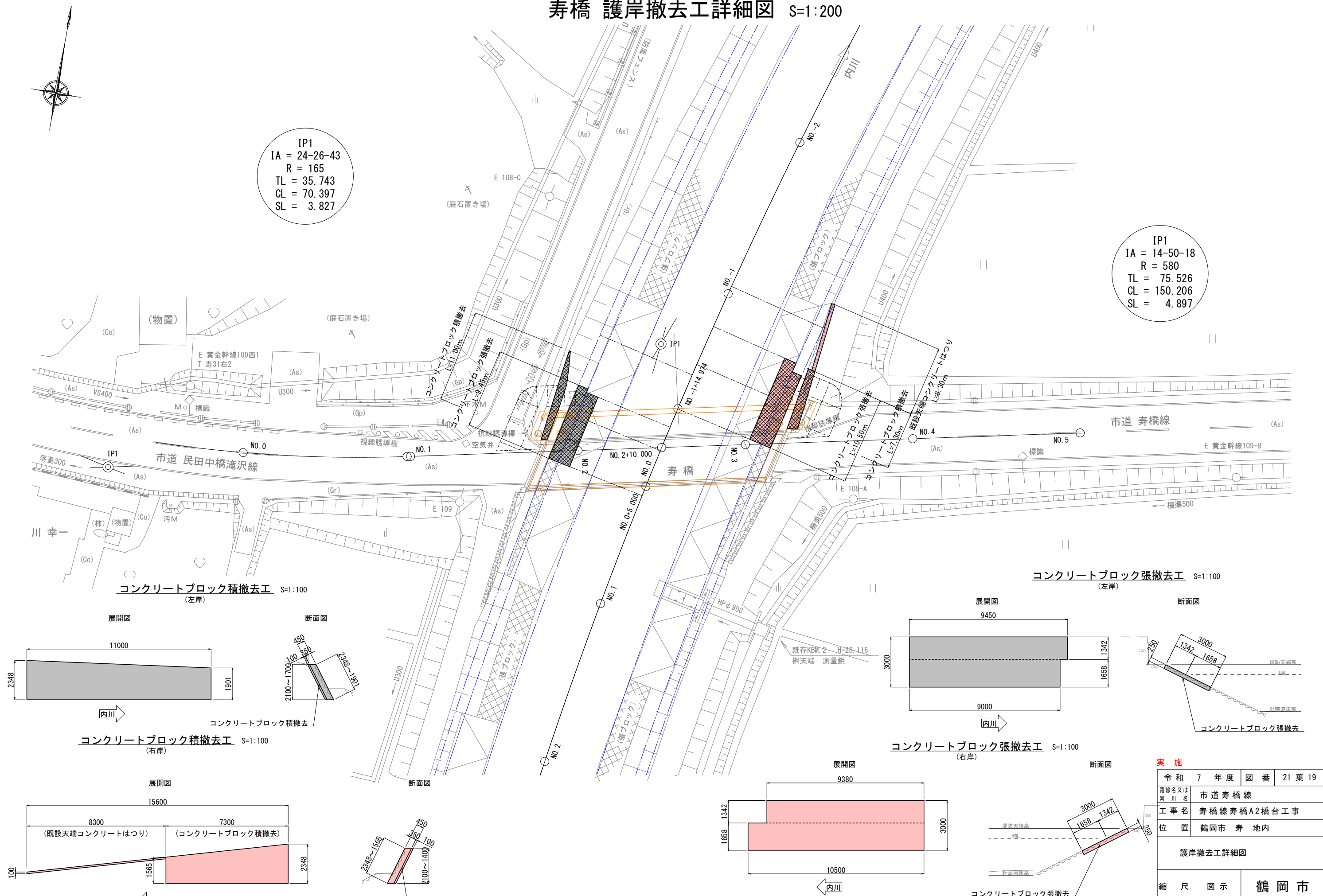


実 施			
令 和	7 年 度	図 番	21 葉 18
路線名又は河川名	市道寿橋線		
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事		
位 置	鶴岡市 寿 地内		
擁壁工詳細図（右岸）			
縮 尺 図 示	鶴 岡 市		

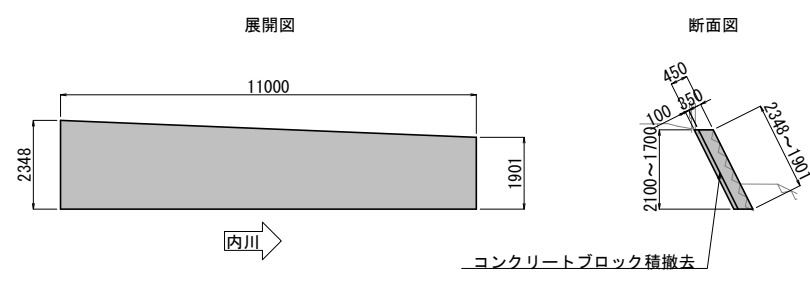
寿橋 護岸撤去工詳細図 S=1:200

IP1
IA = 24-26-43
R = 165
TL = 35.743
CL = 70.397
SL = 3.827

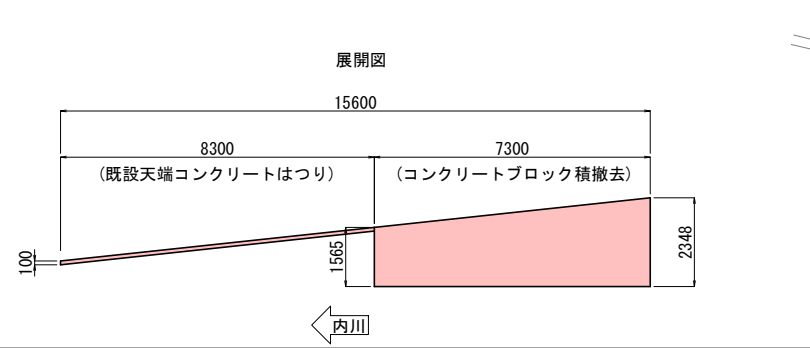
IP1
IA = 14-50-18
R = 580
TL = 75.526
CL = 150.206
SL = 4.897



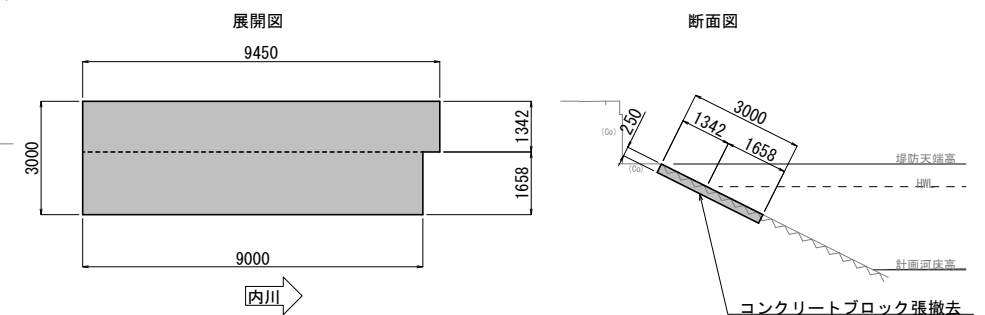
コンクリートブロック積撤去工 S=1:100 (左岸)



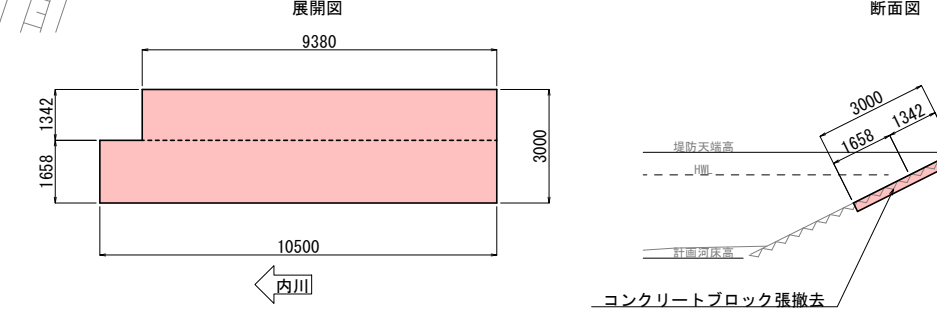
コンクリートブロック積撤去工 S=1:100 (右岸)



コンクリートブロック張撤去工 S=1:100 (左岸)



コンクリートブロック張撤去工 S=1:100 (右岸)

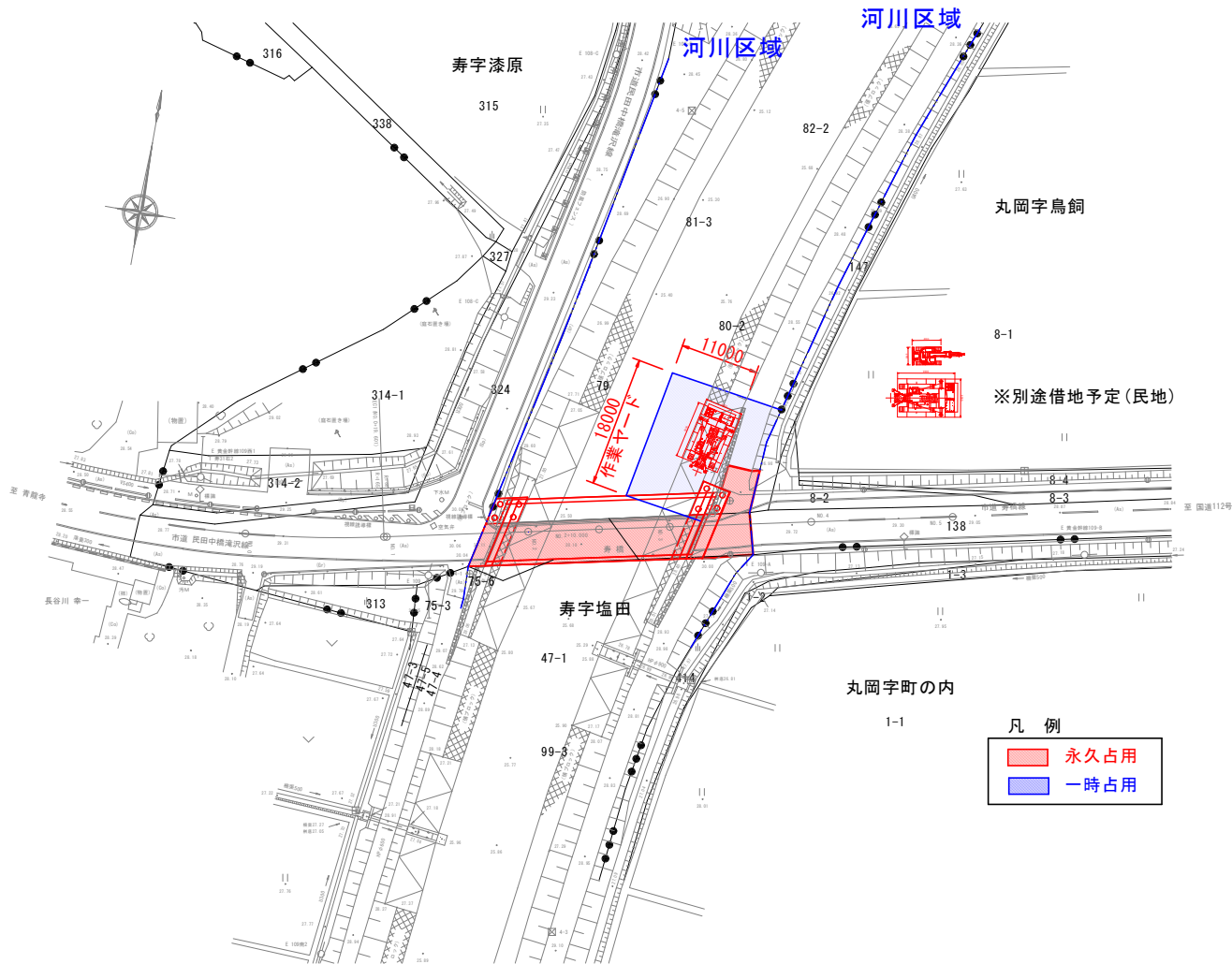


実 施

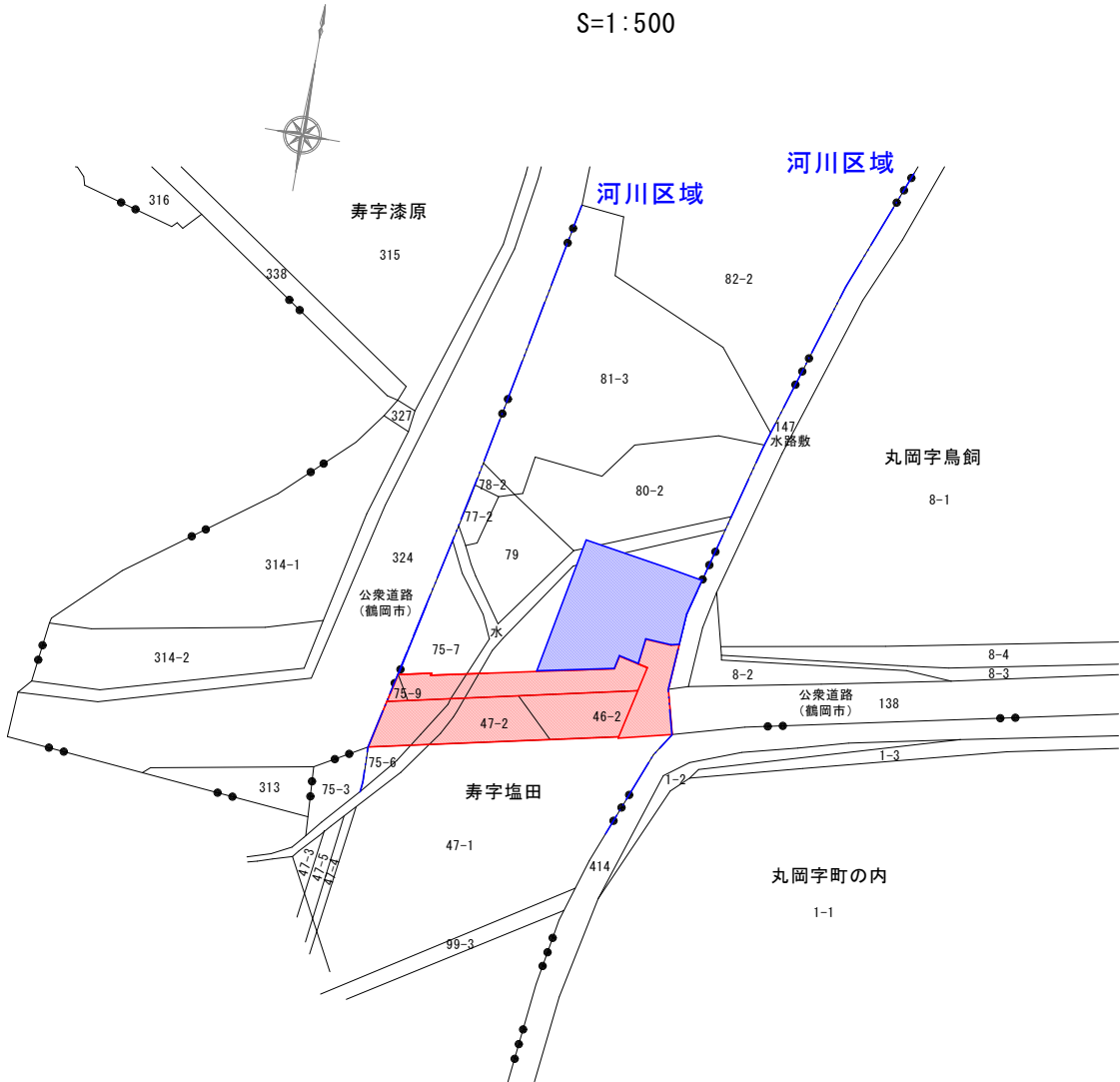
令和 7 年度		図 番	21 葉 19
路線名又は河川名	市道 寿橋線		
工事名	寿橋線 寿橋A2橋台工事		
位 置	鶴岡市 寿 地内		
護岸撤去工詳細図			
縮 尺 図 示		鶴 岡 市	

寿橋 施工計画図（杭施工時・橋台構築時）右岸 A 2（参考図）

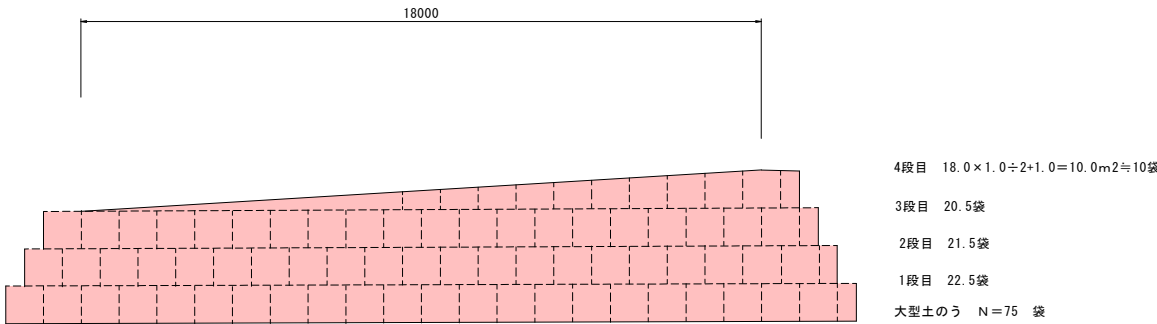
平面図
S=1:500



地図の写し
S=1:500

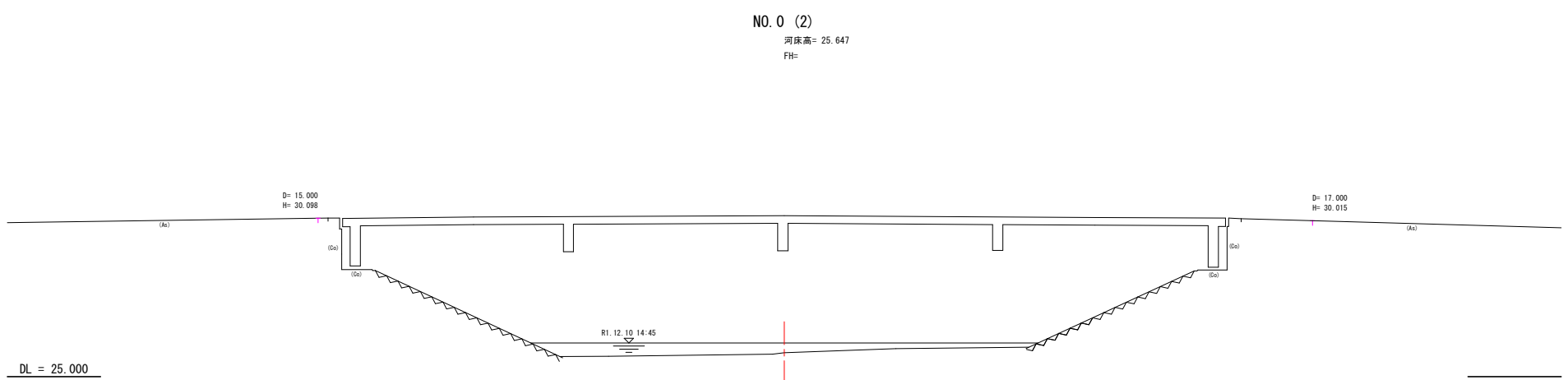
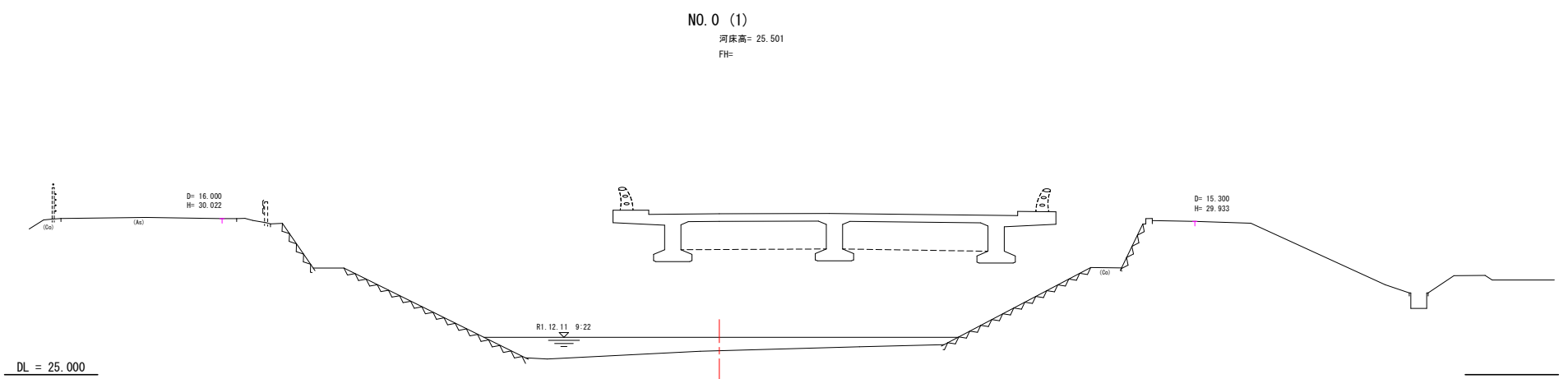
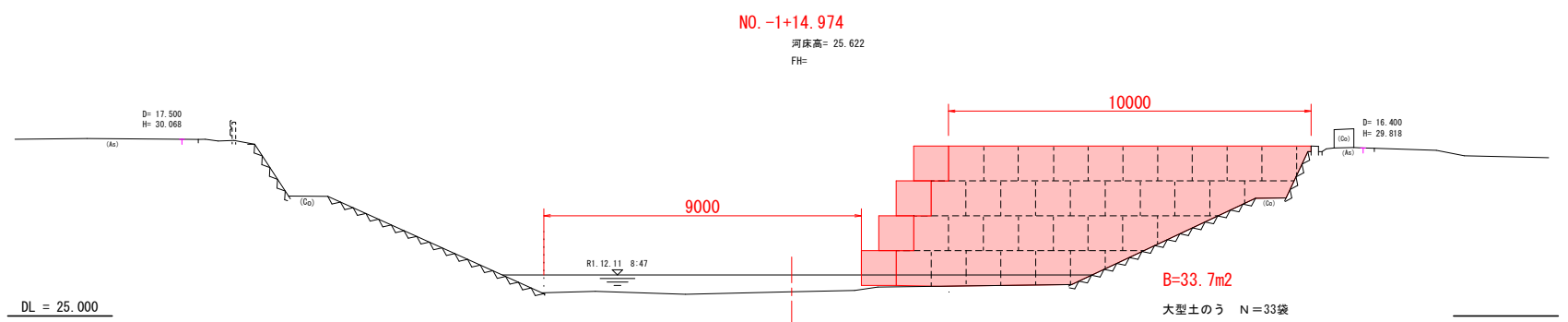
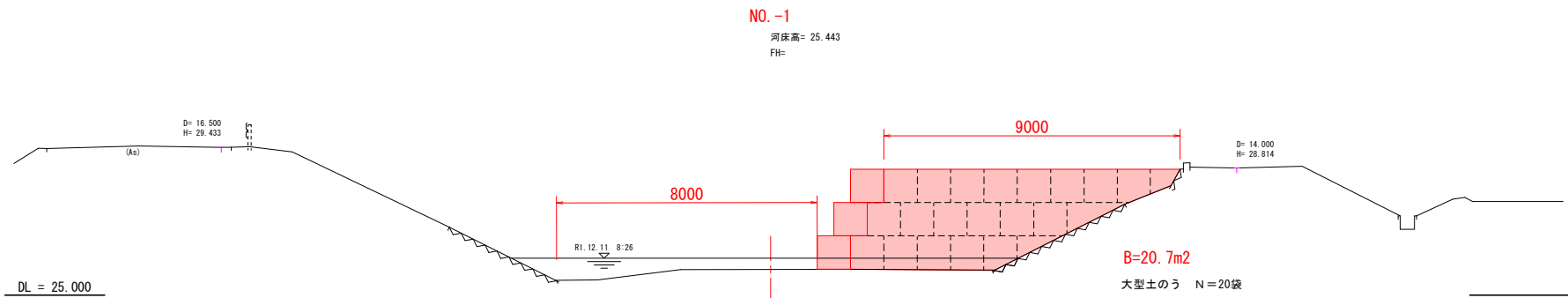


大型土のう正面図
S=1:100



実施（参考図）

令和 7 年度	図 番	21 葉 20
路線名又は河川名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
施工計画図 (杭施工時・橋台構築時) 参考図		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	



実 施 (参考図) (NO. -1 ~ NO. 0 (2))

令和7年度		図番	21 葉 21
路線名又は 河川名	市道寿橋線		
工事名	寿橋線寿橋A2橋台工事		
位置	鶴岡市 寿 地内		
A 2橋台施工図(河川横断面図) 参考図			
縮尺 1 : 100		鶴岡市	

鶴岡市建設部土木課

土木工事特記仕様書

寿橋線寿橋 A2 橋台工事

1. 共通仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「山形県県土整備部制定共通仕様書(土木工事共通仕様書、土木工事施工管理基準及び規格値、参考資料)令和6年4月」にもとづき実施しなければならない。

仕様書の記載内容の優先は「特記仕様書」、「共通特記仕様書」、「共通仕様書」の順とする。

なお、令和6年4月以降に一部改訂された内容は以下のホームページに掲載されているので、最新版を適用するものとする。

※共通仕様書の一部改訂内容は以下ページから確認できます。

山形県のホームページ(<http://www.pref.yamagata.jp>)

- 県政情報
- 山形県の紹介
- 組織案内
- 県土整備部
- 建設企画課
- 共通仕様書(土木工事)

2. 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記仕様事項は次のとおりとする。

第1編 共通編

第1章 総則

1-1. 監理技術者の専任義務の緩和に係る取扱い

1. 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(以下、「特例監理技術者」という)の配置を行う場合は、「鶴岡市発注工事における監理技術者及び監理技術者を補佐する者の取扱いについて」によるものとする。
2. 特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、適切にコリンズ(CORINS)への登録を行うこと。

1-2. 工事種別

工事種別は、一般土木工事(河川・道路構造物工事)とする。

1-3. 工事の下請け

受注者は、下請け契約の請負金額によらず工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画(変更)報告書、下請け業者一覧表及び当該工事に係る下請け契約書の写しを提出しなければならない。また施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画(変更)報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

1-4. 技術者の専任期間

1. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、落札決定後、監督職員との協議により定める。
2. 工事完成后、検査が終了し、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

~~1-5. 標準断面での発注~~

~~標準断面で発注された工事は現況を測量し、側溝(水路)縦断計画及び舗装面積の展開図等の施工図を作成し、監督職員と協議の上、承諾を得ること。監督職員の承諾を得る前に、工事着手している場合は、工事の一時中止及び改造を命じる場合もありうる。なお、承諾の回答には、発注者側での検討があるため、1週間程度見込むこと。~~

~~また、計画時には路面排水を考慮するとともに、上下流の側溝勾配等を必ず調査し、流入、流出先の排水路等も調査すること。(削除)~~

1-6. 設計変更の手続き

設計変更については、建設工事請負契約約款及び土木工事共通仕様書によるところであるが、その基本的な考え方や手続きについては、「土木工事施工円滑化関係集(令和2年12月改訂)山形県土木工事施工円滑化推進会議」の第1章「設計変更ガイドライン」及び第3章「工事一時中止に係るガイドライン」によるものとする。

1-7. 揚重作業機械について

揚重作業機械は、クレーン車又はクレーン機能付バックホーを標準とする。やむを得ず、その他の機械を使用する場合は、書面により監督職員の承諾を得ること。

1-8. 沿線住民への周知

工事着手前に施工箇所を示した住宅地図を添付した工事のお知らせを作成し、監督職員の承諾後に地元の町内会長と沿線住民に配布すること。また、全面通行止めで施工を行う際には、前もって予告看板等を設置し周知を図るとともに、関係機関(幼稚園、保育園、デイサービス等)に通知すること。

1-9. 官民境界

工事着工前には、境界立会を実施することを原則とする。側溝を設置する場合には、官民境界に設置すること。やむを得ず境界に設置できない場合は、監督職員の承諾と地権者又は住民の了解を得て側溝を設置し境界杭(境界プレート)等で、官民境界を明示すること。境界杭等設置後は、その記録を監督職員に提出すること。

1-10. 工事支障物件について

1. 地下埋設物等

- (1) 現況測量時に周囲の状況(電力、NTTなどの架空電線)を確認し、埋設物に関しては、必ず地下埋設物証明申請書兼証明書により確認すること。
 - (2) 必要に応じて試掘を行い、地下埋設物等の種類、位置等を調査し地下埋設物等との離隔を、図面及び写真等により監督員に報告すること。
 - (3) (2)の結果、施工に支障する場合、監督員より地下埋設物等の施設管理者へ移設依頼し、施設管理者の支障物件移設工事完了後、本工事に着手すること。
2. 施工にともなって支障となる物件(公共汚水桝、量水器など)が判明した場合は、設計図書に関して、すみやかに監督員と協議しなければならない。

1-11. 工事現場発生品(工事現場再使用品)

従来施設の撤去により発生した二次製品等については、監督職員と処理方法及び数量確認について協議を行うこと。協議内容について工事打合簿により記録し提出すること。

1-12. 建設副産物関係

1. 本工事により発生する特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材)は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシャーラン(RC-40)として再資源化している再資源化施設

【アスファルト塊】

再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設(アスファルトプラントでなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可)

2. 建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。なお、搬出完了後、産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

【コンクリート塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市西目字山田森 28-1	小野寺建設(株)	8:00~17:00
○	鶴岡市斎藤川原字石川端 77-1	田川砂利工業(株)	8:00~17:00

	鶴岡市勝福寺字根木瀬 158-1	鶴岡建設(株)	8:00～17:00
	鶴岡市大字馬町宮ノ腰 115	(株)三浦土建	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海アスコン共同企業体	8:00～17:00
	鶴岡市柳久瀬字武良免 17-7	(株)青木建材	8:00～17:00
	鶴岡市田代字広瀬 16-2	(株)渡会電機土木	8:00～17:00

【アスファルト塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
○	鶴岡市勝福寺字根木瀬 158-1	鶴岡建設(株)	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海アスコン共同企業体	8:00～17:00

【舗装版切断時に発生する濁水】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
○	東田川郡庄内町堤興屋字中島 38	(株)安藤組	8:00～17:00

- 受注者は、自らの都合により、前項の条件明示事項と別の方法等による場合においては、土木工事共通特記仕様書第1編共通編1-1-12建設副産物第2項に規定する契約前の説明において説明を行うものとする。なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第1項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。
- 受注者は、建設リサイクル法第18条第1項の規定により、特定建設資材(コンクリート、アスファルト、木材)廃棄物の再資源化等が完了した場合、共通仕様書で定める建設廃棄物処理結果報告書に特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用を追記し、監督職員に提出しなければならない。
- 受注者は、建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト混合物、土砂、碎石等)を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
- 受注者は、建設副産物(コンクリート塊、建設発生木材、アスファルトコンクリート塊、建設汚泥、建設混合廃棄物、金属くず、廃プラスチック、建設発生土等)を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
- 受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成した場合には、工事完了後速やかに、実施状況を記録した「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進実施書」を監督職員に提出しなければならない。
- 受注者は、再生資源利用計画書及び、再生資源利用促進計画書の内容について、『建設副産物情報交換システム-COBRIS-』((財)日本建設情報総合センターWeb 版入力システム)に登録する場合は監督職員の承諾を得ること。
- 建設資材廃棄物の搬出時には、過積載を防止し、運搬車輛に「産業廃棄物の処理及び清掃に

関する法律施行令」により、産業廃棄物運搬の表示及び書面を備え付けること。

1-13. 履行報告

受注者は、当初の請負代金が1件1,000万円以上の工事については、毎月の履行状況を工事履行報告書(鶴岡市、様式第10号の3)により監督職員に提出しなければならない。

1-14. 中間前金払について

1. 中間前金払

契約約款第36条第3項に基づき中間前払金の支払を請求しようとするときは、あらかじめ、中間前金払認定請求書(鶴岡市、様式第10号の2)に、監督職員の確認を受けた直近の工事履行報告書(鶴岡市、様式第10号の3)の写しを添えて提出するものとする。

1-15. 工事名標示板に関する事項(安全確保関係)

工事名標示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。なお、本工事は道路工事であることから、工事名看板記載の「工事期間」は交通上支障を与える実際の期間とする。

工事の種類	(例) 橋梁拡幅工事中
工事内容の説明	(例) 橋の幅を拡げています

1-16. 交通安全に関する事項(交通安全管理関係)

1. 施工方法

本工事の施工にあたっては、片側交互通行により施工するものとする。

2. 交通誘導員の配置

交通管理に要する交通誘導員の配置計画は任意とする。なお、交通管理者との協議により配置計画について条件が付された場合には、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。本工事では、工事期間中の交通整理として、交通整理員56名を計上している。

1-17. 事業損失に関する事項(環境対策関係)

1. 施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。
2. 工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要になった場合は、監督職員と協議しなければならない。

1-18. 他工事との関連事項について(工程関係)

1. 別途発注の他工事について、本工事の施工に際して支障が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

1-19. 施工時期、時間、施工方法に関する事項(工程関係)

1. 本工事の作業時間帯は、8:30~17:00とする。なお、受注者は、関係機関等との調整の結果、

作業時間帯に変更が生じた場合は作業時間帯に関して、速やかに監督職員と協議しなければならない。

2.工期には雨休率 0.83※を見込んでいる。

※施工に必要な日数に対し、土日・祝日・年末年始休暇(6日)夏季休暇(3日)を休日とした日数及び天候による作業不能日(1日の降雨・降雪量 10 mm/日以上及び 8 時～17 時までの WBGT 値 31 以上の時間を合計して換算した日数(過去 5 年平均))を見込むための係数

1－20. 災害時の協力体制

1. 緊急巡回

- I 緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講じるもので、監督職員の指示により巡回を行うものである。
- II 緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を講ずるとともにその状況について、監督職員に報告するものとする。
- III 緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。
- IV 緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。

2. 災害時の協力体制と緊急時の諸作業

工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立するとともに、指示があった場合は、被害を最小限に抑えるため、緊急時における諸作業を実施する。

3. 緊急巡回及び緊急時の諸作業に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

1－21. 事故報告

1. 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第1報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事故報告書(山形県、参考様式5)を FAX、又は E-Mail により提出しなければならない。
2. 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に係る「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わず、すべて報告すること。
3. 工事事故報告書様式は、以下のホームページに掲載している。

山形県のホームページ(<http://www.pref.yamagata.jp>)

- 県政情報
- 山形県の紹介
- 組織案内
- 県土整備部
- 建設企画課
- 共通仕様書(土木工事)

1-22. 工事写真に関する事項

1. 工事完成後、完成写真のデータを監督職員に提出すること。データの形式は、監督職員と協議すること。
2. 工事写真のデータは、監督職員の指示により提出を求める場合もありうる。

1-23. デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事(以下「対象工事」という。)とすることができる。対象工事では、以下の第1項から第4項の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以下「使用機器」という)については、共通仕様書 写真管理基準「2-2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、

「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」

(URL:<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>)

に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、

「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」

(URL:https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)

を参照とすること。ただし、この使用機器事例からの選定に限定するものではない。

2. デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、前項の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、共通仕様書 写真管理基準「2-2 撮影方法」による。ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、共通仕様書 写真管理基準(デジタル写真管理情報基準)に準ずるが、前項に示す小黑板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-4 写真の編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6. 写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

1-24. 1日未満で完了する作業の積算

1. 「1日未満で完了する作業の積算」(以下「1日未満積算基準」という。)は、変更積算のみに

適用する。

2. 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について発注者と協議することができる。
3. 同一作業員の作業が他工種・細別の作業を組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
4. 受注者は、協議に当って、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な根拠資料(日報、実際に費用がわかる資料等)を監督職員に提出すること。実際に費用がわかる資料(見積書、契約書、請求書等)により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
5. 「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。
6. 1日未満積算基準「3. 判定方法 (3)判定に使用する作業量の考え方」により、別箇所として扱う場合は、「1-19 施工箇所が点在する工事の積算」第1項の箇所とする。

1-25. 労働者確保に関する積算方法の施行工事

1. 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用について(以下「実績変更対象間接費」という)、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書(山形県県土整備部)の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終清算変更時点で設計変更する施行工事である。

営 繕 費:労働者送迎費、宿泊費、借上費

(宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る)

労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

2. 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(土木工事標準積算基準書に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。
 - (1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費
(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合:17.81%
 - (2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費
(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合:2.14%
3. 受注者は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
4. 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
5. 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、すべての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。

6. 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。
7. 受注者は、実績変更対象間接費に係る設計変更について疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

1-26. 不可抗力による損害に関する事項

本工事における天災等は、共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-45第2項の各号に掲げる基準を超えるものとする。

1-27. 建設現場における遠隔臨場について

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、遠隔臨場は、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』（山形県県土整備部）の内容に従い実施する。

2. 遠隔臨場の適用

現場条件により遠隔臨場の適用性が一致しない場合も想定されることから、現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用を選定することができる。受注者は適用する工種、確認項目に関する協議資料作成にあたり、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』別表 1～3 を参考とする。

3. 実施内容

(1) 段階確認・材料確認、立会いでの確認

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声を、Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものである。

（なお、ウェアラブルカメラ等の使用は、「段階確認」、「材料確認」と「立会」だけではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。）

(2) 機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し、決定するものとする。下表に動画撮影用カメラ・Web 会議システム等に関する参考数値および発注者の標準的な通信環境の仕様を参考に示す。

動画撮影用のカメラに関する仕様

項目	仕様	備考
映像	画素数:640×480 以上	カラー
	フレームレート:15fps 以上	

音声	マイク:モノラル(1チャンネル)以上	
	スピーカ:モノラル(1チャンネル)以上	

Web 会議システムに関する仕様

項目	仕様	備考
通信回線速度	下り最大 500Mbps、上り最大 5Mbps 以上	
映像・音声	転送レート(VBR):平均 1Mbps 以上	

画質・画素数と最低限必要な通信速度

画質	画素数	最低限必要な通信速度
360p	640×480	530 kbps
480p	720×480	800 kbps
720p	1280×1080	1.8 Mbps
1080p	1920×1080	3.0 Mbps
2160p	4096×2160	20.0 Mbps

※使用する機器の機能としては仕様を満たしていても、機器の設定により、使用を満たさない場合があるため、注意すること。(例:使用する端末の画質を「高設定」にした場合は仕様を満たすが、「低設定」にした場合、仕様を満たさないことがあるため、端末画質を「高設定」にすること。)

発注者の標準的な通信環境の仕様

項目		仕様
通信プロトコル方式及び ポート番号	TCP	80、443
	UDP	なし
利用環境	OS	Windows10
	ブラウザ	Microsoft Edge、Google Chrome
	アプリケーション	ZOOM、Teams、Google Meet

(3) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行う。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

(4) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、技術管理費に積上げ計上する。なお、詳細については、最新の遠隔臨場に関する事務連絡等を参照とすること。

(6) 不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『山形県建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準』等に従い、監督処分を実施する場合がある。



1-28. 週休2日確保工事について

1. 本工事は4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事である。実施にあたっては『鶴岡市建設工事「週休2日確保工事」実施要領』に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。
2. 受注者は、確保工事を実施する場合は工事名標示板に週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は右図を参考にするものとし、監督職員と協議し決定する。

1-29. ウィークリースタンス等の推進

本工事は、受発注者協力のもと、工事の円滑化と品質の向上を図るとともに、働き方改革を推進し、担い手確保に努めること目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、次の事項について工事着手前に受発注者間で共有し、工事を進めていくこととする。

1. 打合せ時間の配慮

受注者の移動時間が勤務時間外にならないよう配慮し、午後4時以降の打合せは行わない。

2. 作業依頼の配慮

- 1) 作業内容に見合った作業期間を確保する。
- 2) 休前日(金曜日など)に休日明け日(月曜日など)が期限日の依頼をしない。
- 3) 受注者の定めるノー残業デーにかかわらず、定時間際や定時後に依頼をしない。

3. ワンデーレスポンスの再徹底

- 1) 問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。

4. 留意事項

- 1) 緊急性を要する災害対応などにおいて、やむを得ず上記の原則に沿った対応ができない場合は、作業依頼時に受発注者双方で作業内容や提出期限等を確認し、合意を図る。
- 2) 設計変更を伴う作業依頼については、「設計変更ガイドライン」に基づき適正に対応する。

1-30. その他

1. 工事費の増減を伴う変更が生じた場合、すみやかに監督職員に連絡し、指示をあおぐこと。了解を得ずに増工(増額)したものについては変更の対象としない。

2. 当初工程表より現場着工時期(実作業期間)に遅れが生じた場合は、現場着工前に変更工程表を作成し、監督職員に提出すること。
3. 当該工事期間中に、建設業退職金共済組合の証紙を追加購入した場合は、工事完成時に追加分の建設業退職金共済組合掛金収納書届を提出すること。また、工事完成時に建設業退職金共済組合の証紙の受払状況の確認できる書類を監督職員に提示すること。

第2章 土 工

2-1. 残土受入地

受注後、土砂運搬工着手までに発注者が搬出先を決定する。運搬距離及び処分費については、協議するものとする。なお、発注時の運搬距離は8.8kmとしている。

第3章 無筋・鉄筋コンクリート

3-1. 配 合

1. 下記工種のコンクリートは、共通仕様書(参考資料) レディーミクストコンクリート標準使用基準の次の規格によるものとする。

工 種	区分番号	呼び強度	摘 要
均しコンクリート	②	18N/mm ²	18-8-40
橋台工	⑫	24N/mm ²	24-8-25
既製杭(PHC杭)中詰めコンクリート	〃	〃	〃

第2編 材料編

第1章 一般事項

1-1. 指定材料の確認

受注者は、下記の工事材料を使用する場合には、その外観及び品質規格証明書等を照合して確認した資料を事前に監督職員に提出し、監督職員の確認を受けなければならない。

区 分	確 認 材 料 名	摘 要
既製杭工	PHC 杭	
法覆護岸工	コンクリート積ブロック	

1-2. 工事材料の確認

市が一括承認済みの資材については、承認図等の添付を省略することができる。一括承認済みの資材は発注担当部署にて確認すること。

1-3. 納入時の材料確認

使用材料は、納入された時点で必ずその品質や形状について適当なものか審査し、不良品は、返却等の処置を施すこと。検査時に不良品を発見した場合、撤去再設置等の手直しを指示する場合がある(例えば二次製品、路盤材料の入替えなど)。

第2章 土木工事材料

2-1. 再生資材の使用

工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。

材料名	規格	使用箇所	摘要
再生クラッシャーラン	40 mm以下	基礎碎石、路盤	
再生アスファルト合材	密粒粒度 As20	舗装工	

1. 再生クラッシャーランは、廃棄物であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊を破碎、選別、混合物除去、粒土調整等を行うことにより再資源化された資材をいい、これら以外の材料(新材の碎石、ズリ、コンクリートを製造し破碎したもの等)が混合されていない状態のものをいう。
2. 下層路盤材、歩道路盤材に使用する再生碎石(RC-40)は下記の品質基準を満足するものとする。

・修正 CBR

下層路盤材 修正 CBR 値 40%以上

~~歩道路盤材 修正 CBR 値 20%以上~~ (削除)

2-2. 購入土

購入土は、CBR12%以上とし監督職員の承諾を得なければならない。

2-3. セメント

工事に使用するセメントは、高炉セメント(JIS R5211)B 種とし、その種類については監督職員の承諾を得なければならない。

2-4. セメントコンクリート製品等

本工事で使用する材料については、監督職員の承諾を得なければならない。

防音ゴム付側溝蓋を使用する場合は、防音ゴムの一部がコンクリート内に埋設されたアンカータイプを使用すること。鋼製溝蓋についても防音ゴムが容易にはがれないねじ式等を使用すること。

2-5. 建設資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資材名	規格	調達地域等
碎石	RC-40	庄内地区
土砂	山砂	庄内地区

第3編 土木工事共通編

第1章 総則

1-1. 段階確認

共通仕様書 第3編 共通編 1-1-2 監督職員による確認・立会等により指定された工種に、次の工種を追加するものとする。

種別	細別	確認時期
準備工	丁張り確認	丁張り完了時
構造物工	橋台	埋戻し前
法覆護岸工	基礎ブロック天端高確認	基礎ブロック施工後
その他	監督職員の指示するもの	随時

1-2. 工事中の安全確保

土木工事にあつては、共通仕様書 第1編 1-1-30 施工管理の規定に加え、以下の規定によらなければならない。請負者は、建設工事公衆災害防止対策要綱(国土交通省告示第496号、令和元年9月2日)を遵守して災害の防止を図らなければならない。なお、詳細については監督職員と協議を行うこと。

また、受注者は鶴岡警察署に申請する道路使用許可申請書の道路使用許可条件に従い、施工すること。

第2章 一般施工

2-1. 濁水処理

1. 舗装版切断時に発生する濁水等については、周囲に流出しないよう、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとし、適正に処理を行わなければならない。なお、回収に要する費用は設計図書に含まれる。

2. 「適正に処理」する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(受注業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、排出事業者(受注業者)は、その責任において、適正な処理のために必要な廃棄物情報(成分や性状等)を把握し処理業者に提供することが必要である。

2-2. 舗装工

道路改良工事等において、排水構造物と接する舗装仕上げ面は、排水構造物天端より低くなつてはならない。

2-3. 瀝青材料の散布

プライムコートの使用量は1.2 L/m²を標準とする。

タックコートの使用量は0.4 L/m²を標準とする。

2-4. 工事現場の現場環境改善費

1. 本工事は、工事の現場環境改善費を計上する工事である。
この現場環境改善とは、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつ工事関係者の意識を高め、現場労働者の作業環境改善を行うものであり、受注者は、この趣旨を理解し発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事の円滑な執行を実施しなければならない。
2. 実施内容は、「現場環境改善(安全関係)3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策」を必須とするほか、下記の4計上費目ごとに1内容ずつの計5つの内容を選定のうえ、実施するものとする。

計上費目	実施する内容(率計上分)
現場環境改善 (仮設備関係)	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置、5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化、3. デザインボックス(交通誘導員待機室) 4. 現場休憩所の快適化、5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等)、3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む)、9. 社会貢献

3. 受注者は、具体的な実施内容と実施時期を事前に監督職員と協議し、その結果を報告すること。
4. 以下の項目については、現場環境改善の内容に含まれないことから、実施にあたっては留意すること。

- (1) 仮設関係:仮囲い、模様フェンス、仮歩道マット
- (2) 営繕関係:デザインボックス、倉庫及び材料保管庫、監督員詰所、シャワー施設、ウォータークーラー、観葉植物、意見箱の設置
- (3) 安全関係:バリケード、転落防止柵

2-5. 快適トイレの設置

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。なお、快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

◆快適トイレに求める機能

- (1) 洋式(洋風)便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)

◆付属品として備え付けるもの

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- (9) サニタリーボックス
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

◆推奨する仕様と付属品

- (12) 内寸法900×900mm以上(面積ではない)
- (13) 擬音装置(機能を含む)
- (14) 着替え台
- (15) 臭気対策機能の多重化
- (16) 室内温度の調整が可能な設備
- (17) 小物置き場(トイレットペーパー予備置き場等)

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用について、当初設計では計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す資料を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、設計変更時に見積書を提出するものとする。上記(1)～(11)の費用については従来品相当額を差し引いた後、51,000円／基・月を上限に設計変更の対象とする。なお、設計変更数量の上限については、男女別で各1基ずつ2基／●工事(施工箇所)までとする。また、運搬費は、共通仮設費(率)に含むものとし、2基／●工事(施工箇所)よりも多く設置する場合や上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)での支出を認めるものとして、別途計上は行わない。

一 般 明 示 事 項

1－1. 提出書類

受注者は、建設工事請負契約約款第3条に規定する工程表を所定の様式に基づき作成し、監督職員を経由して発注者に提出しなければならない。

また、工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画(変更)報告書を提出し、監督職員の承諾を得なければならない。承諾後は、施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画(変更)報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

1－2. 施工計画書

受注者は、工事着手前に本工事の施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

ただし、維持工事や小規模工事(請負金額130万円以下)においては監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

また、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、変更内容が数量のわずかな増減等の場合は、後日の提出で良いものとする。

1－3. 環境対策

当該工事を施工するにあたり、排出ガス対策型の建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械の使用ができない場合は、その理由を書面により監督職員に提出し承諾を得ること。なお、対策型を使用しない場合は、変更の対象とする。

また、工事写真により使用機械を判定するため、現場との整合が図れるように記録すること。

現 場 説 明 事 項 書

寿橋線寿橋 A2 橋台工事

[共通事項]

1. 現場説明事項書について

現場説明事項は、制約をうける当該工事に関する施工条件を明示することによって工事の円滑な執行に資することを目的としており、当該契約においてやむを得ず施工方法等について仮指定せざるを得ないもの、又は変更が予想されるもの、あるいは制約される工事工程等について現場説明参加業者が十分な見積りができるよう条件明示するものです。

[工程関係]

1. 寿橋施工に伴う通行止めは11月～を予定しています（周知期間を想定）。なお、開始日時は打合せにより決定するものとする。
2. 赤川水系 丸岡分水路の出水期である4月～9月は河川内に工作物を設置することができないため、仮締切りなどの河川内作業は10月1日以降の施工としてください。

[工事の施工関係]

1. 大型土のう、締切り盛土材は仮置場から流用するものとして見積もってください。
2. 借地については民地借り上げができるものとして見積もってください。なお、借地料については当初計上していません。変更設計の対象とします。また、借地ができなかった場合の施工方法、ヤード造成については、別途協議のうえ設計変更の対象とします。
3. プレボーリングは「COPITA 型プレボーリング杭工法 積算基準(案) (平成 27 年 2 月)：一般社団法人 コンクリートパイル建設技術協会」の歩掛を適用しています。現地状況、特殊地盤（玉石等）によりこれによりがたい場合は別途協議します。
※本工事の歩掛参考資料を別紙－1に添付します。
4. 施工場所周辺の上空電線等は工事に支障がないものと想定しています。支障がある場合には別途協議します（移転期間は協議によりますので相当期間を見込んで

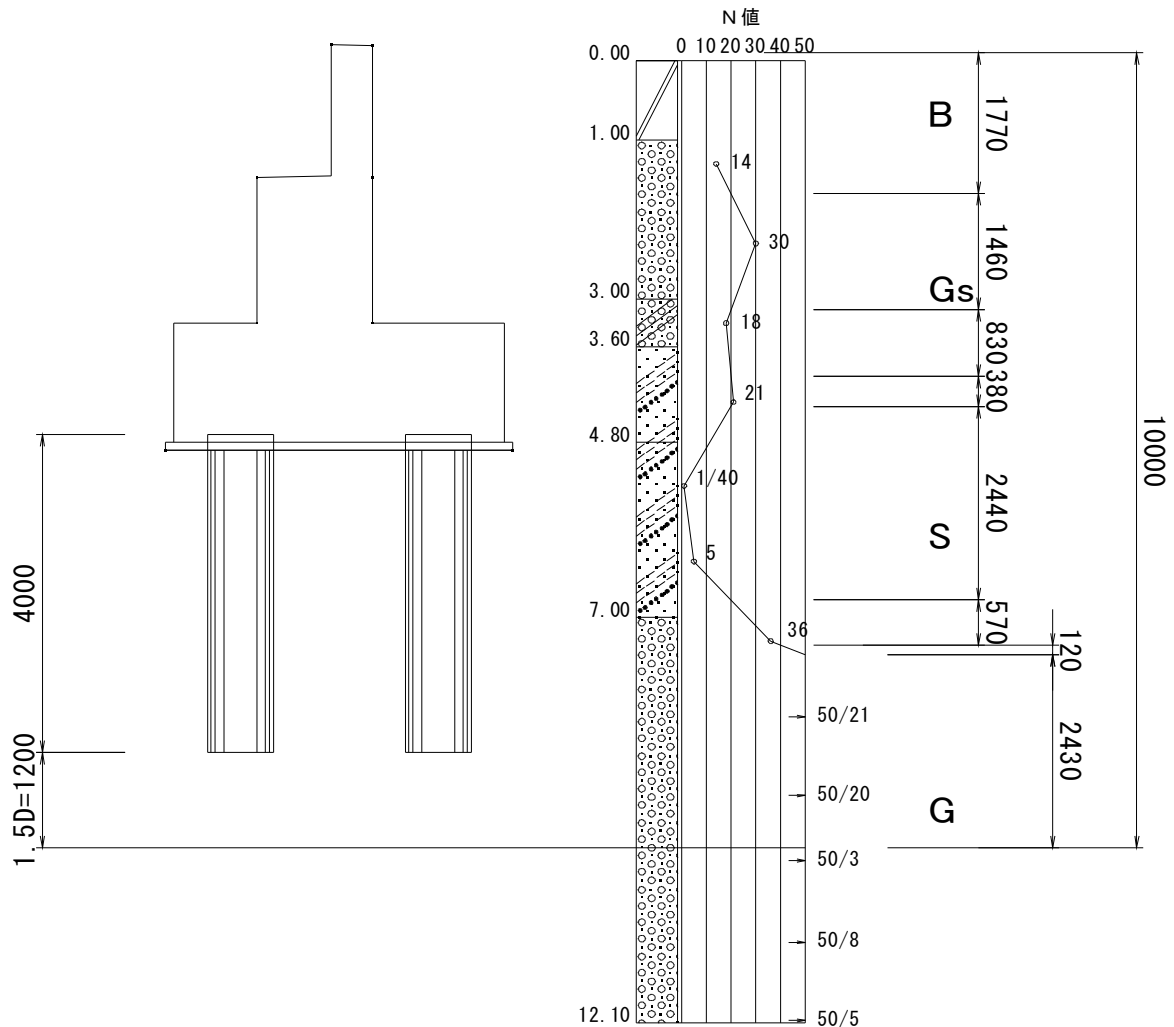
ください)。

5. 河川管理者（県）との河川協議は完了しています。ただし、大幅な構造の変更や施工計画の変更がある場合は、変更申請が必要となるため別途協議してください。なお、変更申請から許可までは2ヵ月程度を見込んでください。

1. 杭10本当り施行日数 (Td)

(1) 杭10本当りの施行日数は次式による。

柱状図 (参考)



$$Td = \alpha * Ta$$

α : 土質係数 (杭径 ϕ 700~800)

Ta : 杭径, 杭長別施行日数 (ヤットコの建込み及び引抜を含むが、
不要の場合でも使用できるものとする。)

土質係数 α の算定

α は、N値毎に求め、その加重平均の値とする。

但し、N値は換算N値を使用する。

N値20未満 : L=1.77+0.83+2.44	=	5.04 m	$\alpha=1.00$
N値20以上～40未満 : L=1.46+0.38+0.57	=	2.41 m	$\alpha=1.12$
N値40以上～50未満 : L=0.12	=	0.12 m	$\alpha=1.92$
N値50以上～70未満 : L=2.43	=	2.43 m	$\alpha=2.55$
計		10.00 m	

α : 1.42 (杭径 ϕ 700～800)

$\alpha = (1.00 \times 5.04 + 1.12 \times 2.41 + 1.92 \times 0.12 + 2.55 \times 2.43) / 10.0$

= 1.42

Ta : 1.37 (杭径 ϕ 800 掘削長16m以下) P 7

Td = 1.42 $\times$ 1.37 = 1.95

(2) 諸雑費

諸雑費 = 15 * β (%) = 15 $\times$ 1.50 = 22.5 % P 7

β : 諸雑費係数 1.5

β : 1.50 (杭径 ϕ 700～800 掘削長16m以下)

(3) セメント (高炉セメントB種 密度 $\rho=3.05\text{g/cm}^3$ の場合) 10本当り P 5

根固め液 W1 = 1647 $\times$ 10 = 16.470 t

杭周固定液 W2 = 191.9 $\times$ 2.8 $\times$ 10 = 5.373 t

注入長 (杭長-1.5D) = 4.0 - 1.5 $\times$ 0.80 = 2.80 m

セメント使用量 16.470 + 5.373 = 21.843 t / 10本

2. 単価表（杭10本当たり）

杭10本当たり		単価表		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
材料 PHC杭	杭径 ϕ 800 L=4.0m	本	10	
セメント使用量	セメント 高炉セメント B	t	21.8	
構成人員 一般世話役		人	1.95	Td $\times$ 1
とび工		人	1.95	Td $\times$ 1
特殊作業員		人	1.95	Td $\times$ 1
普通作業員		人	1.95	Td $\times$ 1
3点支持式杭打機 (クローラ型)運転	単軸式 オーガ出力 55kw	日	1.95	Td
ラフテレーンクレーン運転 排出ガス対策型	油圧伸縮ジブ式 25 t 吊り	日	1.95	補助クレーン Td
バックホウ運転 (クローラ型)	排出ガス対策型 山積 0.45m ³	日	1.95	Td
諸 雑 費		%	22.5	15 * β (%)
合 計				

3. 杭頭補強材内訳（杭 1 本あたり）

鉄筋D25 (SD345) : 107kg

鉄筋D13 (SD345) : 29kg

中詰めコンクリート (24N/mm²) : 0.55m³

吊型枠 (ハイルスパーサー) : 1 個 (PHC ϕ 800用 運搬費含む)

数量総括表

寿橋線寿橋A2橋台工事

上段：当初

下段：変更

工 種	種 別	規 格	単位	計算数量	設計数量	摘 要
橋梁工（拡幅）						
下部工	A2橋台					
作業土工						
	床掘り	礫質土	m ³	174.9	170	
	基面整正		m ²	18.2	20	
	埋戻し	W1≧4m W2<1m	m ³	136.5	140	
	土砂等運搬	L=8.8km	m ³	23.2	20	
基礎杭工						
	PHC杭 強化杭	プレボーリング工法 φ800 L=4.0m	本	4	4	ヤットコ L=5.0m
	杭頭補強	φ800 L=4.0m	箇所	4	4	
躯体工						
	均しコンクリート型枠	無筋構造物	m ²	1.3	1	
	躯体型枠	鉄筋構造物	m ²	44.3	44	
	横変位拘束構造型枠	鉄筋構造物	m ²	3.7	4	
	円筒型枠	φ175	m	1.3	1	
	鉄筋工 加工・組立	SD345 D13	t	0.324	0.32	
	鉄筋工 加工・組立	SD345 D16～D25	t	1.360	1.36	
	均しコンクリート	人力打設 18-8-40	m ³	1.6	2	
	躯体コンクリート	ポンプ車打設 24-8-25	m ³	36.7	37	
	横変位拘束構造 コンクリート	ポンプ車打設 24-8-25	m ³	0.7	1	
	足場工 枠組足場	手すり先行型 h≦30m t=1200	掛m ²	35.1	35	
	支保工 くさび結合支保工	h≦30m 40KN< f ≦80KN	空m ³	0.9	1	
	目地材	(エラストイト) 瀝青質板 t=20mm	m ²	22.0	22	
	コンクリート塗装	CC-B	m ²	20.4	20	A1, A2 (10.28+10.08=20.36)

上 段 : 当 初
下 段 : 変 更

工 種	種 別	規 格	単位	計算数量	設計数量	摘 要
護岸工						
張ブロック工						
	コンクリートブロック張	控35cm	m ²	38.4	38	
	目地材	瀝青繊維質 t=10mm	m ²	1.5	2	
積ブロック工						
	コンクリートブロック積	裏込コンクリート t=10cm 控35cm	m ²	8.0	8	
	裏込碎石	RC-40	m ³	4.0	4	
	目地材	材料費 瀝青繊維質 t=10mm	m ²	1.8	2	
	吸出防止材	t=10mm	m ²	8.0	8	
	天端コンクリート	18-8-40高炉	m	4.2	4	
	基礎コンクリート	18-8-40高炉	m	3.7	4	
	張コンクリート	18-8-40高炉 t=10cm	m ²	1.9	2	
	嵩上コンクリート	18-8-40高炉	m ³	0.9	1	
	嵩上コンクリート型枠	小型構造物	m ²	3.7	4	
道路工						
土工						
	路床盛土	山砂 (CBR≥12) 2.5m以上4.0m未満	m ³	25.3	25	
舗装工						
	下層路盤	RC-40 t=17cm	m ²	25.3	25	
	上層路盤	M-40 t=15cm 1.4m以上3.0m以下	m ²	25.3	25	
	表層工	再生密粒度As (20) t=5cm 1.4m以上3.0m以下	m ²	25.3	25	

上 段 : 当 初
下 段 : 変 更

工 種	種 別	規 格	単位	計算数量	設計数量	摘 要
撤去工						
構造物取壊し工						
	構造物とりこわし工	コンクリートブロック張鉄筋構造物	m ³	7.5	8	
	構造物とりこわし工	コンクリートブロック積無筋構造物	m ³	6.4	6	
	はつり工	既設天端コンクリート t = 10 c m	m ³	0.3	0.3	
舗装取壊し工						
	舗装版切断		m	10.9	11	
	舗装とりこわし工	アスファルト	m ²	25.3	25	
建設廃棄物処理工						
	殻運搬処理	鉄筋コンクリート	m ³	7.5	8	
	殻運搬処理	無筋コンクリート	m ³	6.4	6	
	〃	アスファルト	m ³	1.3	1	
	濁水処理		m ³	0.01	0.1	
	汚泥水処理	基礎杭汚泥 強力吸引車	m ³	30.0	30	
仮設工						
作業ヤード						
	盛土工	流用土	m ³	590	590	
	流用土運搬	仮置場～現場 L = 0.7 k m	m ³	598	600	
	大型土のう	設置	袋	128	128	
	大型土のう運搬	仮置場～現場 L = 0.7 k m	袋	180	180	
	盛土撤去	掘削工(大型土のう含む)	m ³	778	780	
	残土運搬	鶴岡市覚岸寺 L = 8.8 k m	m ³	778	780	
	廃プラ処分	大型土のう L = 10.9 k m	t	0.5	0.5	
	敷鉄板	設置・撤去 ヤード	m ²	198	198	
	敷鉄板損料	22 × 1524 × 6096	枚	22.0	22	

上 段 : 当 初
下 段 : 変 更

工 種	種 別	規 格	単位	計算数量	設計数量	摘 要
水替工						
	ポンプ設置・撤去		箇所	1	1	
	ポンプ運転		式	1	1	
交通管理工						
	交通誘導員	交通誘導員B	式	1	1	
共通仮設費						
運搬費						
仮設材運搬						
	敷鉄板	1.604 t /枚 22枚	t	35.3	35.3	
重建設機械分解・組立運搬						
	三点支持式杭打機	55 kW 60tを超え100t以下	回	1	1	PHC杭打込時
技術管理費						
試験費						
	六価クロム試験		回	2	2	

見 積 参 考 資 料

工 事 名 寿橋線寿橋 A2 橋台工事

- 1) この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工方法、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
- 2) この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。
- 3) 原則として、各種補正や単価等の金額に関する質問には回答できません。

鶴岡市建設部土木課

[illegible]

第 2号		1㎡当たり					単価表
基面整正							
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
基面整正		㎡	1				
計							

[illegible]

第 4号		土砂等運搬					1m ³ 当たり	単価表
礫質土 L=8.8km DID有								
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
土砂等運搬	標準、ハックホ山積0.8m3(平積0.6m3) 、土砂(岩塊・玉石混	m ³	1					
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:ハックホ山積0.8m3(平積0.6m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)							
	DID区間の有無:有り 運搬距離:11.0km以下							
計								

第 6号		プレボーリング工法による既製Co杭打込(単杭) φ 8 0 0mm、L=4. 0m					10本当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
土木一般世話役		人	1. 945					
特殊作業員		人	1. 945					
とび工		人	1. 945					
普通作業員		人	1. 945					
Co杭	φ 8 0 0 (PHC 強化杭)	本	10					
セメント	高炉(B種), パラ	t	21. 8					
クロー式アースオーガ(3点支持式)杭打機 運転費		日	1. 945			第 1号運転費		
ラフテレンクレーン(油圧伸縮ジブ)賃料	25 t 吊	日	1. 945					
バックホウ(クロー型)運転費	標準型・超低騒音型 排出ガス対策型	日	1. 945			第 2号運転費		
諸雑費		式	1					
計								
1本当たり								

第 7号		杭頭補強 φ 800					1箇所当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
鉄筋工	一般構造物	t	0.107			第 8号単価表		
鉄筋工	一般構造物	t	0.029			第 9号単価表		
吊り型枠	PHC杭 φ 800	個	1					
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、人力打設、24-8-25(高炉)、特殊養生	m³	0.55					
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:人力打設 コンクリート規格:24-8-25(20)(高炉)							
	養生工の種類:特殊養生(練炭、ジェットヒータ) 現場内小運搬の有無:無し							
計								

第 8号		鉄筋工 一般構造物					1 t 当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
異形棒鋼	SD345 D25～D16	t	1.03					
鉄筋工	一般構造物	t	1					
諸雑費		式	1					
計								

第 9号		鉄筋工 一般構造物					1 t 当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
異形棒鋼	SD345 D13	t	1.03					
鉄筋工	一般構造物	t	1					
計								

[illegible]

第 11号				1㎡当たり			単価表
躯体型枠 鉄筋構造物							
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物	㎡	1				
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:鉄筋・無筋構造物						
計							

第 12号		横変位拘束構造型枠 鉄筋構造物					1㎡当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
型枠	一般型枠、小型構造物	㎡	1					
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:小型構造物							
計								

[illegible]

第 14号		鉄筋工 加工・組立 SD345 D13					1 t 当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
鉄筋工	一般構造物 SD345 D13	t	1			第 15号単価表		
計								

第 15号		鉄筋工 一般構造物 SD345 D13					1 t 当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
鉄筋コンクリート棒鋼	SD345 D13	t	1.03					
鉄筋工	一般構造物	t	1					
諸雑費		式	1					
計								

第 16号		鉄筋工 加工・組立 SD345 D16～D25					1 t 当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
鉄筋工	一般構造物 SD345 D13	t	1			第 17号単価表		
計								

第 17号

鉄筋工

一般構造物 SD345 D13

1 t 当たり

单価表

[illegible]

第 18号		均しコンクリート					1m ³ 当たり	単価表
人力打設 18-8-40								
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、人力打設、18-8-40(高炉)、特殊養生	m ³	1					
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:人力打設 コンクリート規格:18-8-40(20)(高炉)							
	養生工の種類:特殊養生(練炭、ジェットヒータ) 現場内小運搬の有無:無し							
計								

第 19号		躯体コンクリート					1m ³ 当たり	単価表
明細書		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物、コンクリートポンプ車打設、24-8-25	m ³	1				
		構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:コンクリートポンプ車打設 コンクリート規格:24-8-25(20)(高炉)						
		設計日打設量:10m3以上100m3未満 養生工の種類:特殊養生(練炭、ジェットヒータ) 圧送管延長距離区分:延長無し						
計								

第 20号

1m³当たり

単価表

横変位拘束構造

ポンプ車打設 24-8-25

明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、コンクリートポンプ車打設、24-8-25	m ³	1			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:コンクリートポンプ車打設 コンクリート規格:24-8-25(20)(高炉)					
	設計日打設量:10m3以上100m3未満 養生工の種類:特殊養生(練炭、ジェットヒータ) 圧送管延長距離区分:延長無し					
計						

第 22号				100掛㎡当たり			単価表
手摺先行型枠組足場工 (安全ネットあり)							
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役		人	1.6				
とび工		人	8.5				
普通作業員		人	1.3				
ラフテレンスレン(油圧伸縮ゾブ)賃料	25 t 吊	日	1.4				
諸雑費		式	1				
計							
1 掛㎡当たり							

第 23号		支保工 くさび結合支保工					1空m ³ 当たり	単価表
くさび結合支保工 h ≤30m, 40 k N<f ≤80 k N								
明 細 書		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
くさび結合支保工		40<支保耐力≤80kN/m ² 120< C o 厚≤250cm		空m ³	1			第 24号単価表
計								

第 24号				100空m ³ 当たり			単価表
くさび結合支保工 40＜支保耐力≤80kN/m ² 120＜C o 厚≤250cm							
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	2.1				
型わく工		人	2.7				
とび工		人	4.2				
普通作業員		人	6				
ラフテレンクレーン(油圧伸縮ｼﾌﾞ)賃料	25 t 吊	日	1.2				
諸雑費		式	1				
計							
1 空m ³ 当たり							

第 26号		コンクリート塗装 CC-B					1㎡当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
下地処理	時間制約なし、高所作業車無し	㎡	1					
プライマー塗布 CC-B	時間制約なし、高所作業車無し	㎡	1					
下地調整 CC-B	時間制約なし、高所作業車無し	㎡	1					
塗装 中塗り CC-B	時間制約なし、高所作業車無し	㎡	1					
塗装 上塗り CC-B	時間制約なし、高所作業車無し	㎡	1					
計								

第 27号		コンクリートブロック張 控35 c m					1㎡当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
間知ブロック張	150kg/個未満 各種、再生砕石 RC-40 、1.0m3を超え3.0	㎡	1					
	間知ブロック規格:150kg/個未満 各種 裏込材規格:再生砕石 RC-40 裏込材10m2当り使用量:1.0m3を超え3.0m3以下							
	胴込・裏込コンクリート規格:18-8-40(高炉) 胴込・裏込コンクリート10m2当り使用量:2.1m3を超え2.3m3以下 遮水シート規格:不要							
計								

第 28号		目地材					1㎡当たり	単価表
明 細 書		規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
目地板		30m2未満	㎡	1				
		1工事当り使用量:30m2未満						
計								

第 29号		1㎡当たり					単価表
コンクリートブロック積工 昼間		150kg/個未満 制約無, 裏込Co施工する, 空積でない					
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
生コンクリート (胴込Co)	18-8-40 W/C≤60 高炉 ロス率含む	㎡	0.213				
生コンクリート (裏込Co)	18-8-40 W/C≤60 高炉 ロス率含む	㎡	0.112				
コンクリートブロック積工 昼間(手間のみ)	制約無	㎡	1				
コンクリートブロック		個	10				
諸雑費		式	1				
計							

第 31号				1㎡当たり			単価表
目地材							
瀝青繊維質 t=10mm							
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
瀝青繊維質目地板	厚10mm	㎡	1				
計							

第 32号				1㎡当たり			単価表
吸出防止材 t=10mm							
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
吸出し防止材設置		㎡	1				
計							

第 33号		天端コンクリート 18-8-40高炉					10m当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
現場打天端コンクリート	18-8-40(高炉)、特殊養生(練炭)	m³	0.84					
	生コンクリート規格:18-8-40(高炉) 養生工の種類:特殊養生(練炭)							
計								
1 m当たり								

第 34号		基礎コンクリート					10m当たり	単価表						
18-8-40高炉														
明	細	書	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
現場打基礎コンクリート			18-8-40(高炉)、無し、一般養生・特殊養生(練炭)		m³		1.14							
			生コンクリート規格:18-8-40(高炉) 基礎碎石の有無:無し 養生工の種類:一般養生・特殊養生(練炭)											
計														
1 m当たり														

第 35号		張コンクリート					1.9㎡当たり	単価表
18-8-40高炉 t=10cm								
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、人力打設、18-8-40(高炉)、特殊養生	㎡	0.19					
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:人力打設 コンクリート規格:18-8-40(高炉)							
	養生工の種類:特殊養生(練炭、ジェットヒータ) 現場内小運搬の有無:無し							
計								
1㎡当たり								

第 36号		嵩上コンクリート 18-8-40高炉					1m ³ 当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
コンクリート	小型構造物、人力打設、18-8-40(高炉)、特殊養生(練炭)	m ³	1					
	構造物種別:小型構造物 打設工法:人力打設 コンクリート規格:18-8-40(高炉)							
	養生工の種類:特殊養生(練炭) 現場内小運搬の有無:無し							
計								

第 37号				1㎡当たり			単価表
嵩上コンクリート型枠 小型構造物							
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
型枠	一般型枠、小型構造物	㎡	1				
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:小型構造物						
計							

[illegible]

第 39号				1㎡当たり			単価表
下層路盤 RC-40 t=17cm							
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
下層路盤（車道・路肩部）	実数入力、1層施工	㎡	1				
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工						
計							

第 40号		上層路盤					1㎡当たり	単価表
M-40 t=15cm 1.4m以上3.0m以下								
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
上層路盤（車道・路肩部）	再生粒度調整碎石 M-40、実数入力、 1層施工	㎡	1					
	材料：再生粒度調整碎石 RM-40 全仕上り厚：実数入力 施工区分：1層施工							
計								

第 41号		表層工					1㎡当たり	単価表
再生密粒度As(20) 1.4m以上3.0m以下								
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
表層（車道・路肩部）	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、密粒度アスコン(20)	㎡	1					
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:密粒度アスコン(20)							
	瀝青材料種類:フーライムコート PK-3							
計								

[illegible]

第 43号

1m³当たり

単価表

構造物とりこわし工(機械施工) 昼間

鉄筋構造物 制約無, 低騒音・低振動対策不要

明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし工 昼間	鉄筋構造物 機械施工 制約無	m ³	1			
諸雑費		式	1			
計						

[illegible]

第 45号

1m³当たり

単価表

構造物とりこわし工(機械施工) 昼間

無筋構造物 制約無, 低騒音・低振動対策不要

明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし工 昼間	無筋構造物 機械施工 制約無	m ³	1			
計						

第 47号

1m³当たり

单価表

構造物とりこわし工(人力施工) 昼間

無筋構造物 制約無

[illegible]

第 48号		1m ³ 当たり					単価表
明 細 書		規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬		コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、5.7km以下	m ³	1			
		殻発生作業:コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:無し					
		運搬距離:5.7km以下					
コンクリート塊処分費		鉄筋	m ³	1			
計							

第 49号		1m ³ 当たり					単価表
明 細 書		規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬		コンクリート(無筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、5.7km以下	m ³	1			
		殻発生作業:コンクリート(無筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:無し					
		運搬距離:5.7km以下					
コンクリート塊処分費		無筋	m ³	1			
計							

[illegible]

[illegible]

第 52号		汚泥水処理 強力吸引車					1m ³ 当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
吸引車運搬工（10t 使用）	D I D 区間（その他の場合）、運搬距離 28km	m ³				第 1号単価表		
建設汚泥処分費	バキューム車による搬入 含水率85%以上のもの	m ³	1					
計								

[illegible]

第 54号		流用土運搬					1m ³ 当たり	単価表
仮置場～現場 L=0.7km								
明細書		規格		単位	数量	単価	金額	摘要
積込（ルーズ）		土砂、土量50,000m3未満		m ³	1			
		土質:土砂 作業内容:土量50,000m3未満						
土砂等運搬		標準、バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)、土砂(岩塊・玉石混		m ³	1			
		土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)						
		DID区間の有無:無し 運搬距離:1.0km以下						
計								

第 56号		大型土のう設置 作業半径6m以下					10袋当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
土木一般世話役		人	0.116					
特殊作業員		人	0.116					
普通作業員		人	0.116					
バックホ運転費(クロー型)-設置	クレーン機能付 標準型排	日	0.116			第 3号運転費		
諸雑費		式	1					
計								
1 袋当たり								

第 57号		大型土のう運搬 仮置場～現場 L=0.7km					1袋当たり	単価表
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋	1			第 58号単価表		
土砂等運搬	標準、バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 、土砂(岩塊・玉石混	m³	1					
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)							
	DID区間の有無:無し 運搬距離:1.0km以下							
計								

第 58号		大型土のう撤去 作業半径6m以下					10袋当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
土木一般世話役		人	0.069					
特殊作業員		人	0.069					
バックホウ運転費(クローラ型)-撤去	クレーン機能付 標準型排	日	0.069			第 4号運転費		
計								
1 袋当たり								

[illegible]

第 60号		残土運搬 L=8.8km					1m ³ 当たり	単価表						
明	細	書	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
土砂等運搬			標準、バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)、土砂(岩塊・玉石混		m ³	1								
			土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)											
			DID区間の有無:有り 運搬距離:11.0km以下											
計														

第 61号				1 t 当たり		単価表
廃プラ処分 大型土のう袋 L=10.9km						
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	トラックベーストラック2t級、吊能力2.9t	t	1			
	トラック機種:トラックベーストラック2t級、吊能力2.9t					
現場発生品及び支給品運搬	トラックベーストラック2t級、吊能力2.9t、無し	t	1			
	トラック機種:トラックベーストラック2t級、吊能力2.9t DID区間の有無:無し 片道運搬距離(km):11.0km以下					
廃プラスチック処分費		m3	2.5			
産業廃棄物税相当額	最終処分 埋立	t	1			
計						

第 62号		敷鉄板 設置・撤去 作業ヤード					1㎡当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
敷鉄板設置撤去工		㎡	1			第 63号単価表		
計								

第 63号				100㎡当たり		単価表
敷鉄板設置撤去工						
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
＜設 置＞						
土木一般世話役		人	0.152			
とび工		人	0.152			
普通作業員		人	0.152			
バックホウ(クロー型)運転費 標準型・超低騒音型	クレーン機能付 排出ガス	日	0.152			第 5号運転費
＜撤 去＞						
土木一般世話役		人	0.143			
とび工		人	0.143			
普通作業員		人	0.143			
バックホウ(クロー型)運転費 標準型・超低騒音型	クレーン機能付 排出ガス	日	0.143			第 5号運転費
諸雑費		式	1			
計						
1 ㎡当たり						

[illegible]

第 65号		敷鉄板賃料					22枚当たり	単価表
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
敷鉄板(鋼板)賃料(1～90日)	22×1524×3048	枚・日	1,320					
敷鉄板(鋼板)整備費	22×1524×6096	枚	22					
不足分弁償金(敷鉄板・鋼板)	22×1524×6096	t	1.603					
諸雑費		式	1					
計								
1枚当たり								

第 67号		ポンプ 設置・撤去					1箇所当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
土木一般世話役		人	0.5					
特殊作業員		人	0.1					
普通作業員		人	2					
バックホウ(クローラ型) 運転費(クレーン機能付)	標準型 排出ガス対策型	日	0.5			第 6号運転費		
諸雑費		式	1					
計								

第 68号		ポンプ運転					1式当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
ポンプ運転工(作業時)	0≦排水量<40m³/h	日	12			第 69号単価表		
計								

第 69号		ポンプ運転工(作業時) 0≦排水量<40m³/h					1日当たり	単価表
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
特殊作業員		人	0.14					
工事用水中ポンプ運転費(作業時排水)	普通型(潜水ポンプ)	日	1			第 7号運転費		
発動発電機運転費(作業時排水)	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型	日	1			第 8号運転費		
諸雑費		式	1					
計								

第 71号

1 t 当たり

单価表

仮設材の運搬費(鋼矢板・H形鋼・覆工板・敷鉄板等)

(A) 長12m以内, 距離10kmまで、往復

[illegible]

第 72号				1回当たり			単価表
重建設機械分解・組立運搬							
三点支持式杭打機 オーガ出力55 k w							
明細書	規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
アースオーガ（分解・組立及び輸送）	質量 60t超え100t以下	回	1			第 73号単価表	
計							

第 73号		アースオーガ（分解・組立及び輸送） 質量 60t超え100t以下					1回当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
特殊作業員		人	15.5					
ラッペンクレーン（油圧伸縮ジブ）賃料	50 t 吊	日	3.7					
運搬費等		式	1					
諸雑費		式	1					
計								